

平成20年度

乳幼児健康診査報告書

平成21年6月

社団法人沖縄県小児保健協会

## はじめに

本協会が県下全市町村の乳幼児健康診査を実施し、36年が経過いたしました。健康診査から得られる結果や情報を冊子として作成し、本報告書「平成20年度乳幼児健康診査報告書」で、12冊目となります。その間報告書作成も、関係機関や母子保健活動に携わる関係者にご活用いただけるようにと編纂に努めてまいりました。

乳幼児健康診査は時代のニーズに対応すべく目的も徐々に変化し、昨今は子育て支援の一環に位置付けられ、乳幼児期から正しい生活習慣を身に付けさせることや虐待予防対策等に重点がおかれるようになってきました。また、身体的及び行動異常なども、健診で早期に、その兆候を見つけ、早期療育支援に結びつけることが求められます。以上の事を踏まえて、健康診査に携わるスタッフも自己研鑽に日々努力しているところです。

健康診査の最終目的は、子ども達が心身ともに健康に育つことを目指していると思われませんが、健康診査の実施方法によりその効果に大きな違いが生じてくることが考えられます。健康診査の実施主体は市町村ですが、本協会といたしましても、健康診査に携わるスタッフ、小児科医・歯科医師・保健師・検査技師・看護師・栄養士・歯科衛生士・母子保健担当者・母子保健推進員などを対象とした研修会の開催や健診項目の再検討、子どもに関する情報提供など、市町村母子保健事業の基盤整備に微力ながらお役に立てるように努力していく所存でございます。

健康診査が継続推進できますことは、市町村はじめ、関係機関など多くの関係者のご支援とご協力によるものでございます。心より感謝申し上げますとともに、今後とも益々のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

本報告書も子どもに関する情報提供の一環となりますが、健康診査から得られる情報としては、まだ充分ではございません。皆様の忌憚ないご意見やご要望が寄せられることを期待しております。

平成21年6月

社団法人沖縄県小児保健協会長 玉那覇榮一

# 目 次

平成20年度乳幼児健康診査から	1
-----------------	---

## < 乳児一般健康診査の部 >

1	実施状況	3
2	乳児一般健康診査受診状況（回数・月齢別）	3
3	乳児の栄養法（2回目受診時）	
3-1	月齢別栄養法と離乳食の開始	6
3-2	月齢別離乳食回数	7
4	出生直後の状況	8
5	健診同伴者（前期 生後6か月まで）	9
6	育児環境	
6-1	保育状況	10
6-2	妊娠中の喫煙（1回目受診時）	11
6-3	子育てについて（1回目受診時）	12
6-4	チャイルドシート使用状況（後期 生後7～12か月）	16
7	乳児の発達について	17
8	健診結果の内訳	18
8-1	検査結果の内訳	
	①尿検査結果	19
	②貧血検査結果	20
8-2	診察による有所見（診察所見について）	23
9	総合判定（ICD-10分類）	30
9-1	要助言について	31
9-2	要経過観察について	32
9-3	要精密検査について	33
9-4	要治療について	34
9-5	現在治療中について	35
9-6	現在観察中について	36

## < 1歳6か月児健康診査の部 >

### I 一般健診の部

1	実施状況	37
2	受診状況	37
3	健診同伴者	39
4	育児環境	
4-1	保育状況	40
4-2	両親の喫煙	41
4-3	子育てについて	42
5	運動・発達について	46
6	生活習慣について	47
7	予防接種の状況	48
8	健診結果の内訳	50
8-1	検査結果の内訳	
	①尿検査結果	51
	②貧血検査結果	52
8-2	診察による有所見（診察所見について）	53

9	総合判定（ICD-10分類）	56
9-1	要助言について	57
9-2	要経過観察について	57
9-3	要精密検査について	58
9-4	要治療について	58
9-5	要心理相談について	59
9-6	現在治療中について	59
9-7	現在観察中について	60

## II 歯科健診の部

	受診状況	61
1	う蝕有病者率とう蝕の型別分類	62
2	歯の状況	63
3	歯口清掃状態	64
4	軟組織の疾患	65
5	不正咬合	66
6	口腔習癖	66
7	その他の異常	67
8	指示事項	68
9	歯科保健相談	69
10	1歳6か月児う蝕有病者率	70

## < 3歳児健康診査の部 >

### I 一般健診の部

1	実施状況	71
2	受診状況	71
3	健診同伴者	73
4	育児環境	
4-1	保育状況	74
4-2	両親の喫煙	75
4-3	子育てについて	76
5	発育（やせと肥満）について	80
6	発達について	81
7	生活習慣について	
7-1	食習慣について	82
7-2	睡眠について	84
7-3	その他の習慣	85
8	予防接種の状況	86
9	健診結果の内訳	88
9-1	視力聴力検査結果	89
9-2	尿検査結果	90
9-3	診察による有所見（診察所見について）	91
10	総合判定（ICD-10分類）	100
10-1	要助言について	101
10-2	要経過観察について	101
10-3	要精密検査について	102
10-4	要治療について	102
10-5	要心理相談について	103
10-6	現在治療中について	103
10-7	現在観察中について	104

## II 歯科健診の部

受診状況	105
1 う蝕有病者率とう蝕の型別分類	106
2 う蝕有病歯率	107
3 歯口清掃状態	108
4 軟組織の疾患	109
5 不正咬合	110
6 口腔習癖	111
7 その他の異常	112
8 母親のむし歯や抜いた歯について	112
9 指示事項	113
10 歯科保健相談	114
11 3歳児う蝕有病者率	115
12 フッ素塗布経験率	116
(付録) う蝕(むし歯)についての主な用語	117

## < 平成20年度統計資料 >

### 乳児一般健康診査《対象外除く実績》

乳児一般健康診査月齢別統計(診察所見分類)	No.1	119
乳児一般健康診査市町村別統計(診察有所見分類)	No.2	120
乳児一般健康診査月齢別統計(ICD-10分類)	No.3	122
乳児一般健康診査市町村別統計(ICD-10分類)	No.4	124
乳児総合判定(ICD-10分類)結果その他に分類された内容	No.5	126
乳児一般健康診査における血色素値分類(県統計)	No.6	127
乳児一般健康診査における血色素値分類(市町村別統計)	No.7	128
育児環境		
保育状況(主な保育者)	No.8,9	130
両親の喫煙(1回目受診時)	No.10	134
子育てについて(1回目受診時)(1)~(3)	No.11~13	136
チャイルドシートの使用状況(後期受診時)	No.14	141

### 1歳6か月児健康診査

1歳6か月児健康診査市町村別統計(診察有所見分類)	No.15	142
1歳6か月児健康診査市町村別統計(ICD-10分類)	No.16	144
1歳6か月児総合判定(ICD-10分類)結果その他に分類された内容	No.17	146
1歳6か月児健康診査における血色素値分類(県統計)	No.18	147
1歳6か月児健康診査における血色素値分類(市町村別統計)	No.19	148
1歳6か月児健康診査の市町村別受診月齢	No.20	150
1歳6か月児健康診査市町村別統計(歯科)	No.21~23	152
育児環境		
保育状況(主な保育者)	No.24	158
両親の喫煙	No.25	160
子育てについて(1)~(2)	No.26,27	162

### 運動・発達

運動機能	No.28	166
視聴覚	No.29	168
言葉	No.30	170

精神発達（１）～（２）	No.31, 32	172
社会性（１）～（２）	No.33, 34	176
生活習慣（１）～（４）	No.35～38	180
1歳6か月児の予防接種実施状況（１）～（３）	No.39～41	188

### 3歳児健康診査

3歳児健康診査市町村別統計（診察有所見分類）	No.42	194
3歳児健康診査市町村別統計（ICD-10分類）	No.43	196
3歳児総合判定（ICD-10分類）結果その他に分類された内容	No.44	198
3歳児健康診査の市町村別受診月齢	No.45	200
3歳児健康診査市町村別統計（歯科）	No.46～48	202
3歳児健康診査のフッ素塗布経験率	No.49	207
育児環境		
保育状況（主な保育者）	No.50	208
両親の喫煙	No.51	210
子育てについて（１）～（２）	No.52, 53	212
発育		
3歳児の市町村別肥満度並びにBMI	No.54	216
発達		
運動機能	No.55	218
ことば・言語理解（１）～（２）	No.56, 57	220
精神発達（１）～（２）	No.58, 59	224
社会性・自立性	No.60	227
その他	No.61	228
生活習慣		
食欲と偏食の有無	No.62	230
よく飲んでいる飲み物	No.63	232
おやつの時間を決めている	No.63	233
食事はよく噛んで食べる	No.64	234
歯磨きは仕上げみがきをしている	No.64	234
ほとんど自分で食事、手洗いができる	No.64	235
ファーストフードを利用する	No.65	236
就寝時間	No.66	238
起床時間	No.67	240
睡眠時間	No.68	242
排尿／排便は自立している	No.69	244
テレビ／ビデオ 1日分	No.70	246
チャイルドシートを使用していますか	No.71	248
3歳児の予防接種実施状況（１）～（５）	No.72～76	250

### < 参考資料《実績》 >

乳児一般健康診査月齢別統計（診察所見分類）	No.1	259
乳児一般健康診査市町村別統計（診察有所見分類）	No.2	260
乳児一般健康診査月齢別統計（ICD-10分類）	No.3	262
乳児一般健康診査市町村別統計（ICD-10分類）	No.4	264
乳児一般健康診査における血色素値分類（県統計）	No.5	266

### < 5年間の統計資料 >・・・年次資料

乳幼児健康診査年次受診率	No.1	267
乳児一般健康診査市町村別受診率推移	No.2	268

乳児一般健康診査受診率推移（概算出生数による算出）	No.3	270
乳児の母乳栄養法の年次推移（2回目受診時）	No.4	271
乳児の光線療法の有無（1回目受診時）の年次推移	No.5	272
乳児の健診同伴者（前期 生後6か月まで）の年次推移	No.6	272
乳児の主な保育者（昼間）状況年次推移	No.7	273
乳児の両親の年齢別喫煙状況年次推移（1回目受診時）	No.8	274
乳児の子育ての状況年次推移（1回目受診時の保護者対象）	No.9	275
乳児の総合判定の年次推移	No.10	276
1歳6か月児健康診査市町村別受診率推移（一般）	No.11	278
1歳6か月児の総合判定の年次推移	No.12	280
1歳6か月児健康診査市町村別受診率推移（歯科の部）	No.13	282
1歳6か月児健康診査市町村別う蝕有病者率の推移	No.14	284
1歳6か月児の健診同伴者の年次推移	No.15	286
1歳6か月児の主な保育者（昼間）状況年次推移	No.16	286
1歳6か月児の両親の年齢別喫煙状況年次推移	No.17	287
1歳6か月児の子育ての状況年次推移	No.18	288
1歳6か月児健康診査時における		
麻疹接種率状況	No.19	290
風疹接種率状況	No.20	292
3歳児健康診査市町村別受診率推移（一般）	No.21	294
3歳児の総合判定の年次推移	No.22	296
3歳児健康診査市町村別受診率推移（歯科の部）	No.23	298
3歳児健康診査市町村別う蝕有病者率の推移	No.24	300
3歳児の健診同伴者の年次推移	No.25	302
3歳児の主な保育者（昼間）状況年次推移	No.26	302
3歳児の両親の年齢別喫煙状況年次推移	No.27	303
3歳児の子育ての状況年次推移	No.28	304
3歳児健康診査時の肥満度とBMIの年次推移	No.29	305
3歳児健康診査時における		
BCG接種率状況	No.30	306
ポリオ接種率状況	No.31	308
DPT接種率状況	No.32	310
麻疹接種率状況	No.33	312
風疹接種率状況	No.34	314
日本脳炎接種率状況	No.35	316
3歳児フッ素塗布経験率の推移	No.36	318
乳幼児のチャイルドシート使用の年次推移	No.37	319

## < 添付資料 >

乳児一般健康診査受診票	321
1歳6か月児健康診査受診票	322
3歳児健康診査受診票	323

## < ワンポイント >

（1）乳児、1歳6か月児健康診査時の貧血検査結果	21
（2）乳児健康診査時の貧血検査について	22
（3）歯科健診う蝕有病者	157

## < 平成20年度乳幼児健康診査報告書作成委員名簿 >

## < 編集後記 >

## 平成20年度乳幼児健康診査から

この報告書は、平成20年4月1日から平成21年3月31日までに実施された県内41市町村の乳児、1歳6か月児、3歳児の健康診査結果を「平成20年度乳幼児健康診査報告書」としてまとめたものである。乳幼児の健康と育児環境等について市町村別に集計してある。

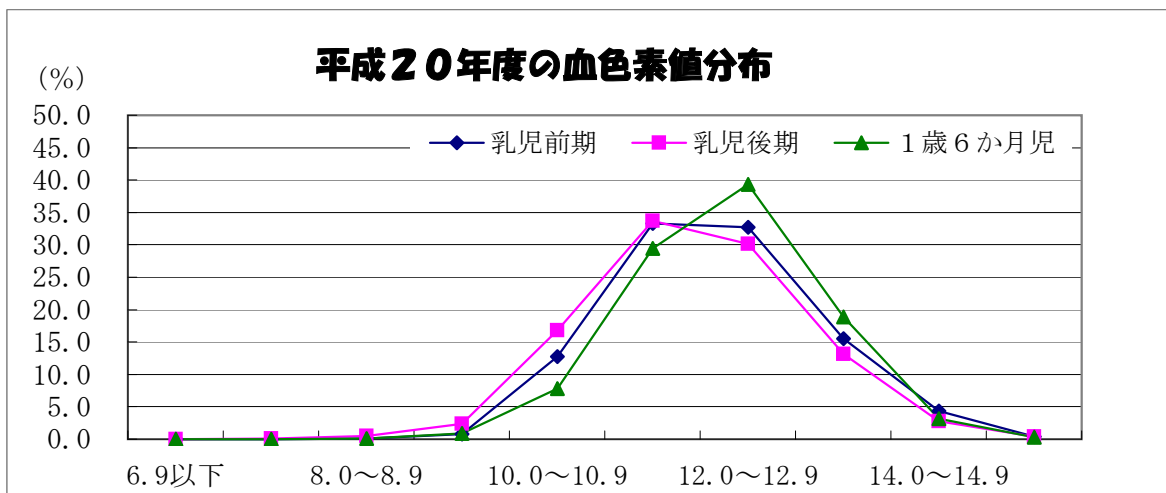
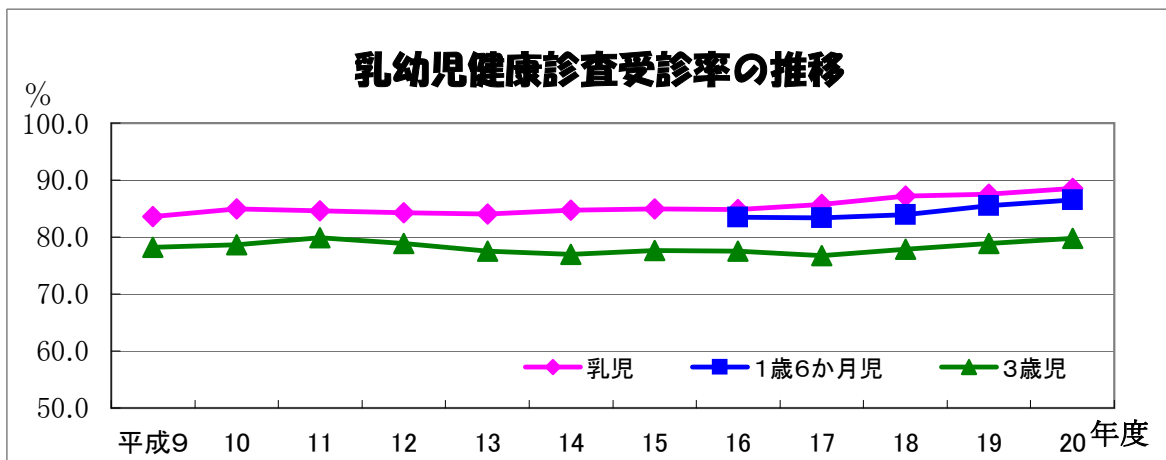
### (1) 一般健康診査の受診状況について

全市町村とも健康診査の対象者数は、健診連絡者数としている。それを基に平成20年度の各々受診率を算出すると、乳児は88.4%、1歳6か月児は86.6%、3歳児は79.8%となっている。乳幼児健康診査が市町村移譲された平成9年度からの受診率を以下の表に示す。

乳児と1歳6か月児は80%台で、3歳児は70%台であるが、わずかに上昇傾向が見られる。各健康診査の受診月齢をみると、乳児は1回目が3～4か月の頃に2回目が9～10か月の頃に受診し、1歳6か月児は6～7か月頃に多く受診している。3歳児はこれまで受診月齢6か月が多かったが、20年度は7か月に多くなっている。

### (2) 乳児と1歳6か月児の貧血検査について

貧血検査結果のHb値を、乳児前期（3～4か月）と後期（9～10か月）、1歳6か月児で比較した。乳児前期に比較し後期には貧血の傾向がみられるが、1歳6か月頃には改善がみられる。





### (3) 乳幼児の育児環境

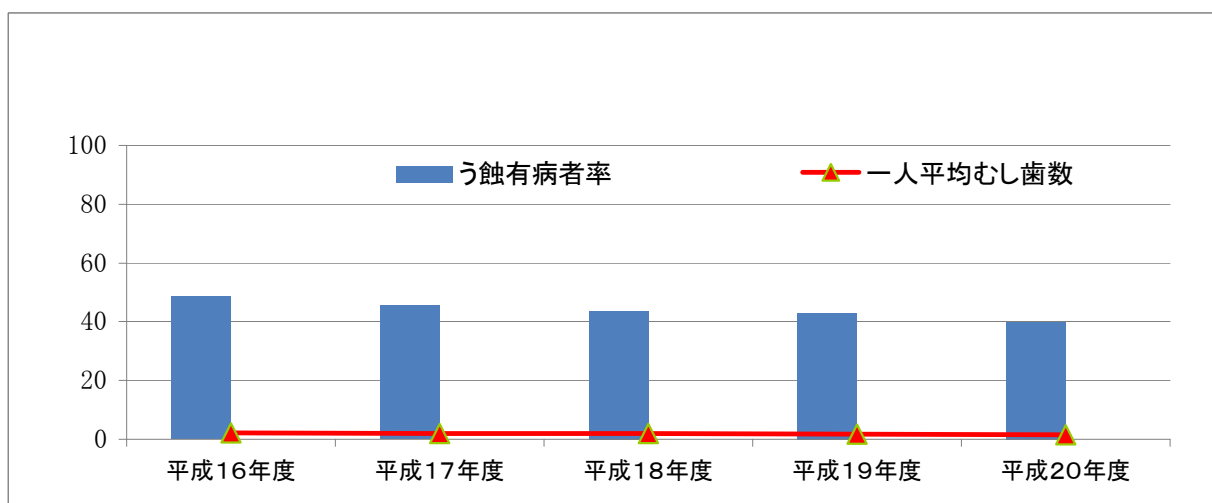
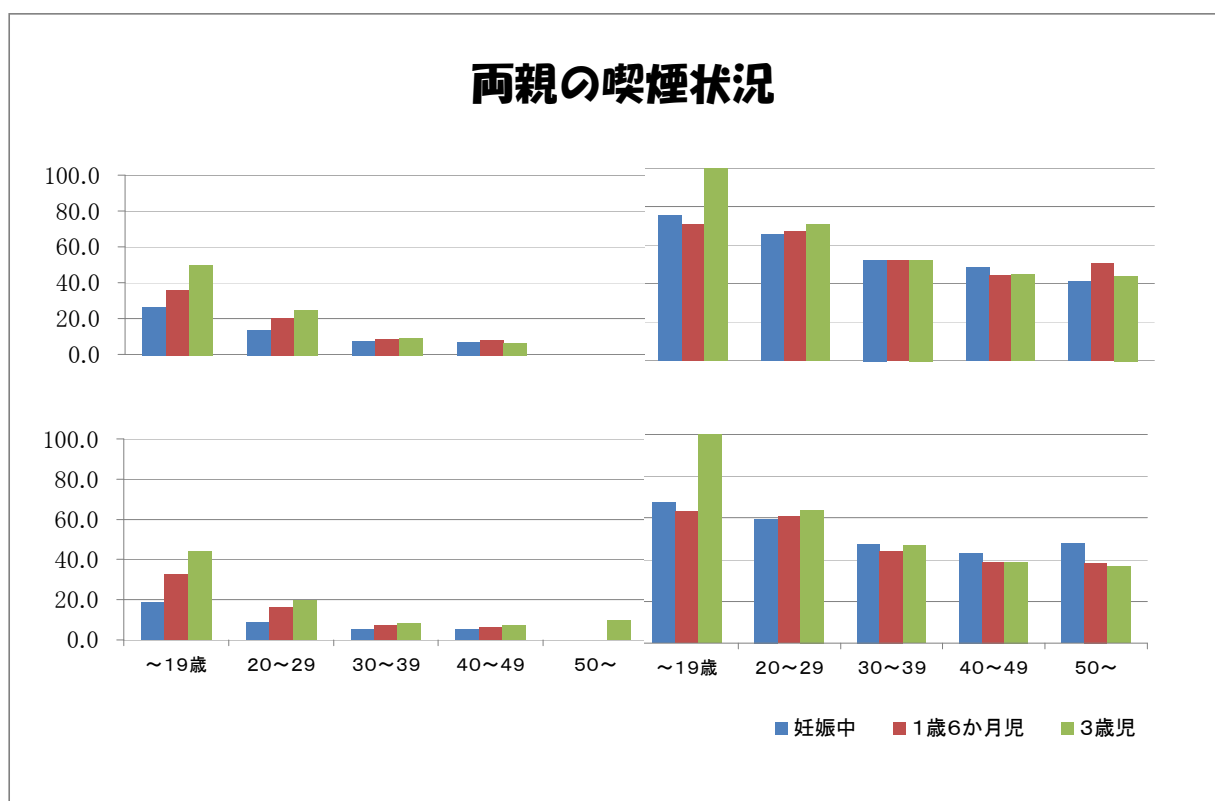
両親の喫煙率を、乳幼児の健康診査時でみると、両親ともに若い世代ほど喫煙率が高い。母親については、妊娠期間中の喫煙率は低い、子どもが成長するにつれ喫煙する傾向にある。父親については、児の年齢に差はないが、平成16年度と20年度を比較すると減少がみられる。

### (4) 歯科健康診査の受診状況

1歳6か月児と3歳児の歯科健康診査の受診率をみると、一般健診同様わずかながら増加傾向にある。う蝕有病者率は平成16年度が48.6%あったのが、20年度は39.9%と年々減少傾向にある。

#### おわり

平成20年度までの乳幼児健康診査結果一部を紹介したが、詳細については健康診査別に記載した。



〈 乳児一般健康診査の部 〉



## 1 実施状況

沖縄県内41市町村において、平成20年4月1日から平成21年3月31日までに、延べ29,365人が乳児一般健康診査を受けた。

乳児一般健康診査の実施形態としては、町村が土曜日（午後）の半日で年に4～8回の実施、市は主に日曜日（午前・午後）の健診で月に1～3回の実施となっている。

小規模離島町村の健康診査は年2回の実施がほとんどで、健診日の設定により受診月齢1か月～2か月の児や12か月以降になることもある。

対象者とは、乳児期に2回市町村から健診通知された合計数である。市町村により、未受診児に対し再通知しているところも多い。

12か月以上の受診者は21人であるが、離島の児5人(12か月児)は集計に含めることとし、残り16人を対象から除き、29,349人で集計する。

以下に、平成20年度の乳児一般健康診査の結果をまとめる。

(参照) 統計資料No. 1～4、6～7

(参照) 参考資料No. 1～5

注) 12か月以降の対象外児16人(集計から除く)

本部町 3人 金武町 2人 読谷村 2人 北谷町4人  
 渡嘉敷村 3人 豊見城市 1人 南城市 1人

## 2 乳児一般健康診査受診状況

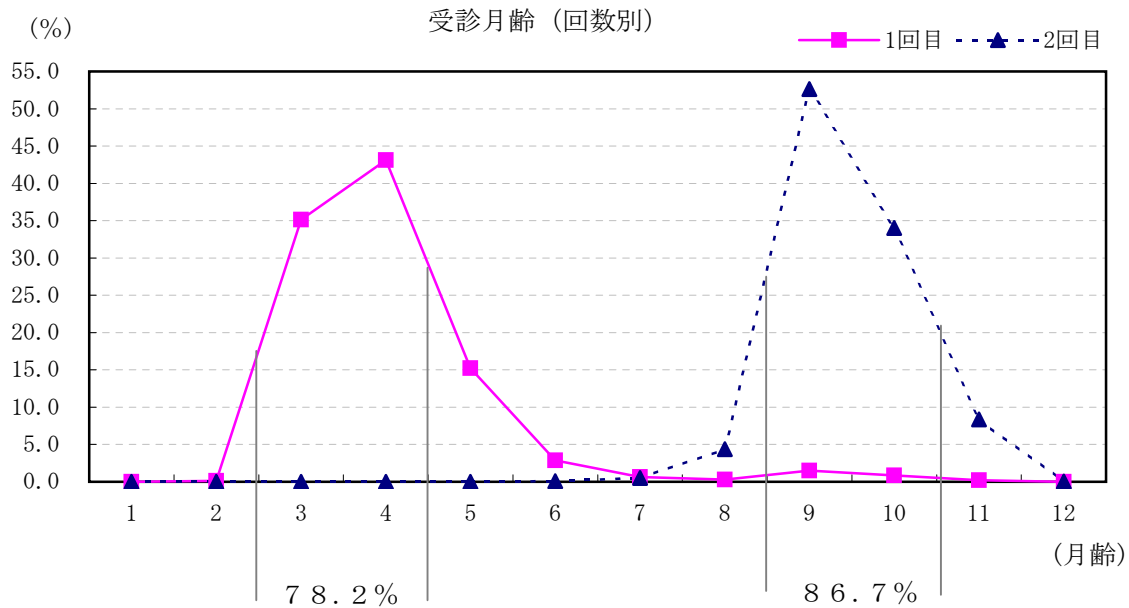
受診状況 (回数・月齢別)

単位：人

月齢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
1 回目	男	1	8	2,866	3,473	1,217	249	54	21	116	67	22	-	8,094
	女	-	9	2,650	3,296	1,177	202	49	24	122	67	14	-	7,610
	小計	1	17	5,516	6,769	2,394	451	103	45	238	134	36	-	15,704
2 回目	男	-	-	-	-	-	2	25	309	3,663	2,407	570	1	6,977
	女	-	-	-	-	-	7	45	288	3,517	2,238	569	4	6,668
	小計	-	-	-	-	-	9	70	597	7,180	4,645	1,139	5	13,645
合計	男	1	8	2,866	3,473	1,217	251	79	330	3,779	2,474	592	1	15,071
	女	-	9	2,650	3,296	1,177	209	94	312	3,639	2,305	583	4	14,278
	総計	1	17	5,516	6,769	2,394	460	173	642	7,418	4,779	1,175	5	29,349
受診数に対する割合(%)	0.0	0.1	18.8	23.1	8.1	1.5	0.6	2.2	25.3	16.3	4.0	0.0	100.0	

乳児一般健康診査の望ましい受診月齢は、1回目3～4か月、2回目が9～10か月とされている。沖縄県全体をみると、1回目3～4か月の受診は12,285人78.2%（H19年度78.2%）、2回目9～10か月は11,825人86.7%（H19年度87.3%）となっており、ほぼ適正な月齢に実施されている。

実施回数の少ない離島や乳児の少ない町村では、実施月齢にばらつきがみられた。受診児（延べ）を性別にみると、男15,071人、女14,278人である。



乳児健康診査の受診率は、市町村の平成20年度連絡者数33,185人で算出すると、全体として88.4%となっている。

ちなみに、沖縄県の平成20年（H20.1.1～H20.12.31）概算出生数16,736人（男8,663人、女8,073人）の単純対象数で算出すると、1回目が93.8%で、2回目が81.5%となる。

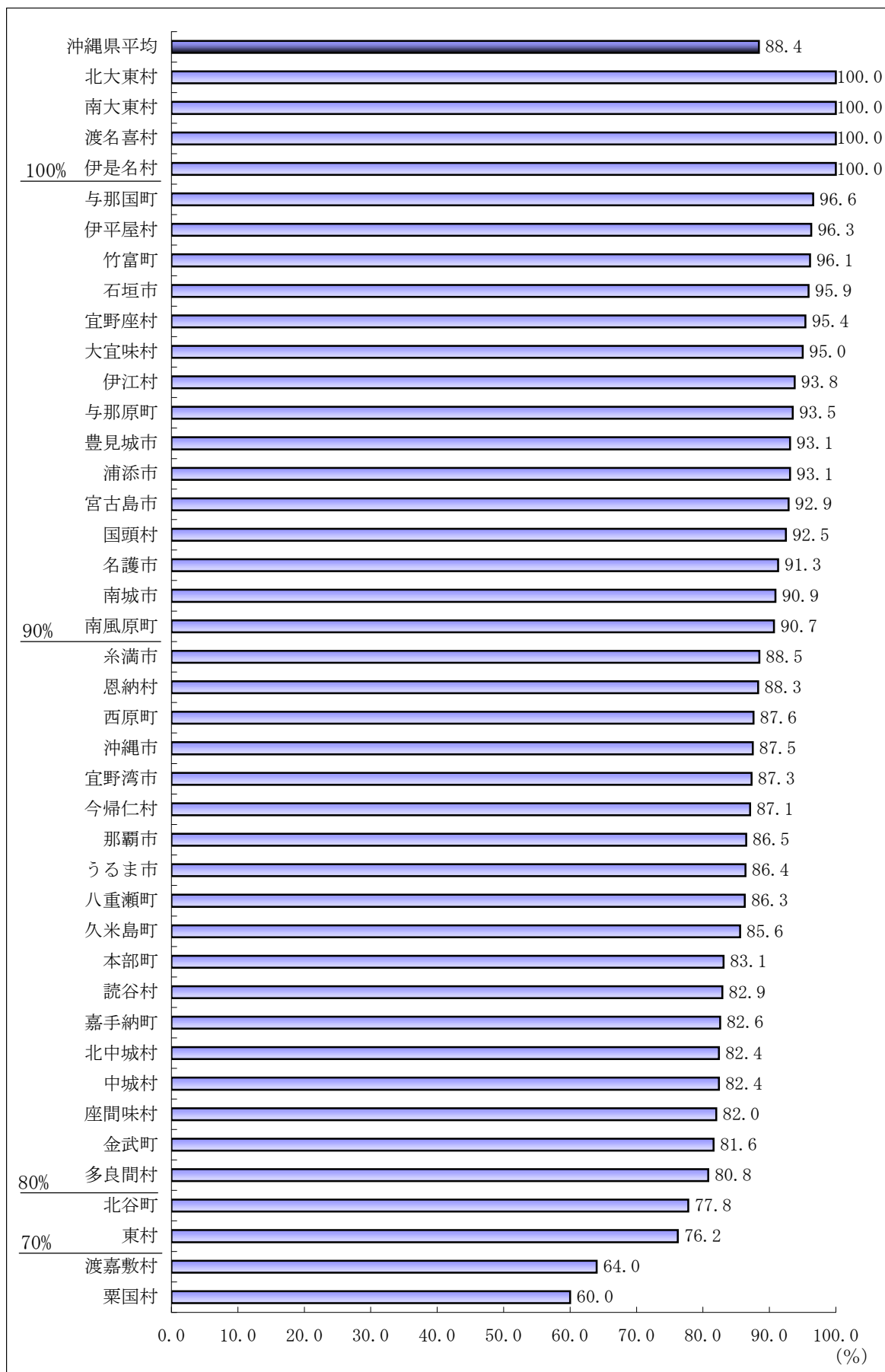
乳児一般健康診査受診率（回数別）

	対象者数 (概算出生数)	受診者数	受診率 (%)
1回目	16,736	15,704	93.8
2回目	16,736	13,645	81.5
計	33,472	29,349	87.7

注) 乳児期で、1人2回の受診機会が提供される

(参照) 年次資料No. 1、3

## 20年度 乳児一般健康診査受診率 (0ヶ月児～12ヶ月児)



(参照) 統計資料No. 2

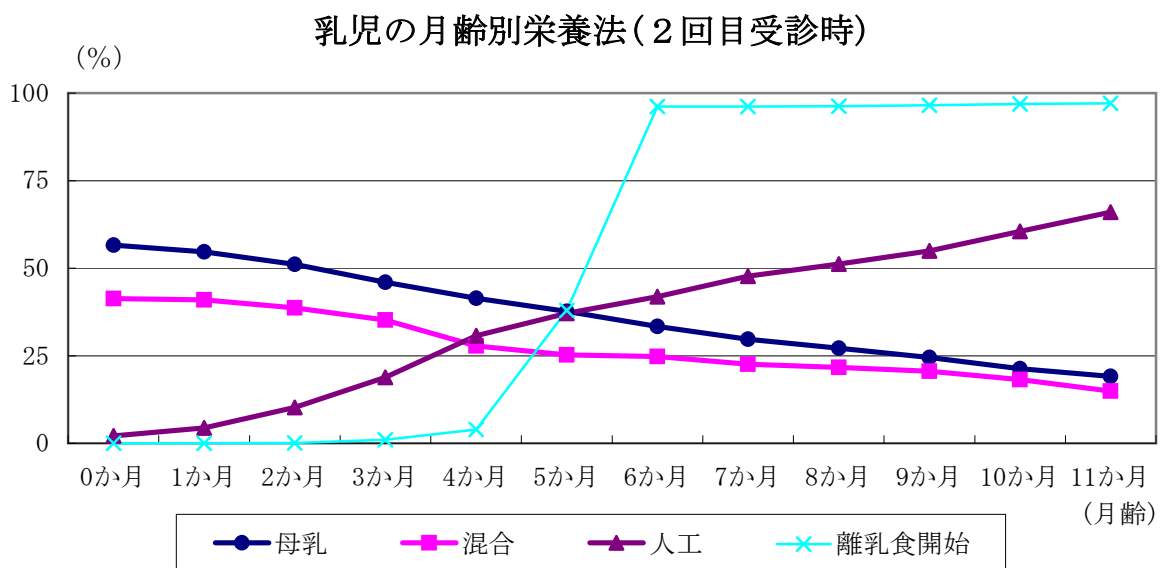
### 3 乳児の栄養法（2回目受診時）

#### 3-1 月齢別栄養法と離乳食の開始

受診2回目の13,645人の乳児を対象に栄養法を分類すると、生後3か月を経過した頃から、母乳栄養から人工栄養への移行傾向がみられる。昨年に比較すると0か月児の母乳栄養の1.1ポイント（H19年度57.7%）の減少はみられるが、全体的に母乳栄養が長く継続し、混合栄養への移行時期が高くなっている傾向にある。

注）月齢別栄養法の分類とは、月齢ごとに栄養法を単純に分類したものである。

月齢（時）	対象数（人）	母乳（%）	混合（%）	人工（%）	離乳食開始（%）
0か月	13,645	56.6	41.3	2.1	0.0
1か月	13,645	54.7	41.0	4.3	0.0
2か月	13,645	51.0	38.7	10.3	0.1
3か月	13,645	46.0	35.2	18.8	1.0
4か月	13,645	41.4	27.8	30.8	3.9
5か月	13,645	37.7	25.2	37.1	37.9
6か月	13,645	33.4	24.7	41.9	96.2
7か月	13,636	29.7	22.6	47.7	96.2
8か月	13,566	27.1	21.7	51.2	96.2
9か月	12,969	24.5	20.5	55.0	96.5
10か月	5,789	21.3	18.2	60.5	96.9
11か月	1,144	19.1	14.9	66.0	97.1
12か月	5	20.0	20.0	60.0	100.0
割合	-	39.4	29.3	31.3	



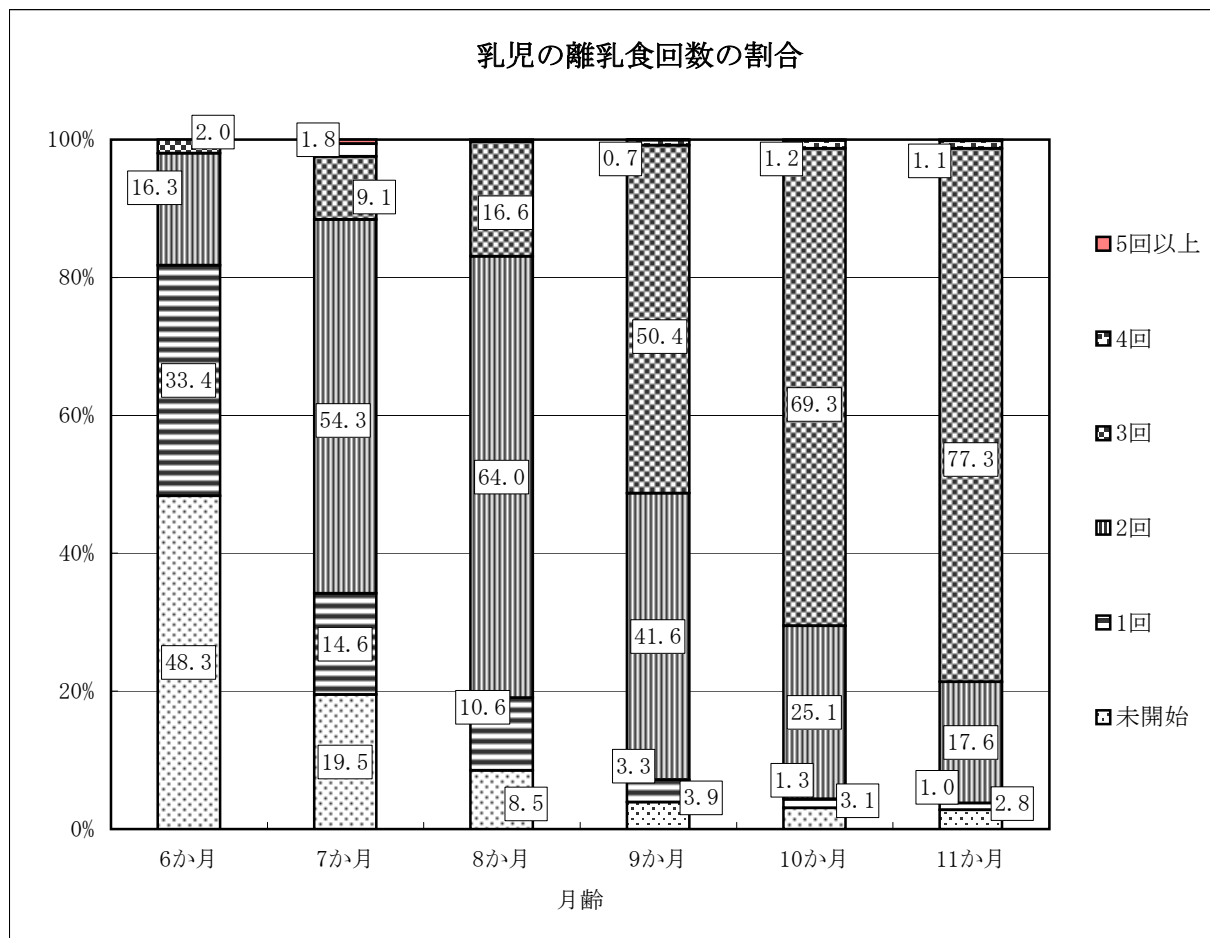
（参照）年次資料No. 4

### 3-2 月齢別離乳食回数

離乳食が開始されるのは4か月からである。その離乳食回数について、6か月から11か月までを示した。

未開始が6か月で48.3%、7か月で19.5%になっている。

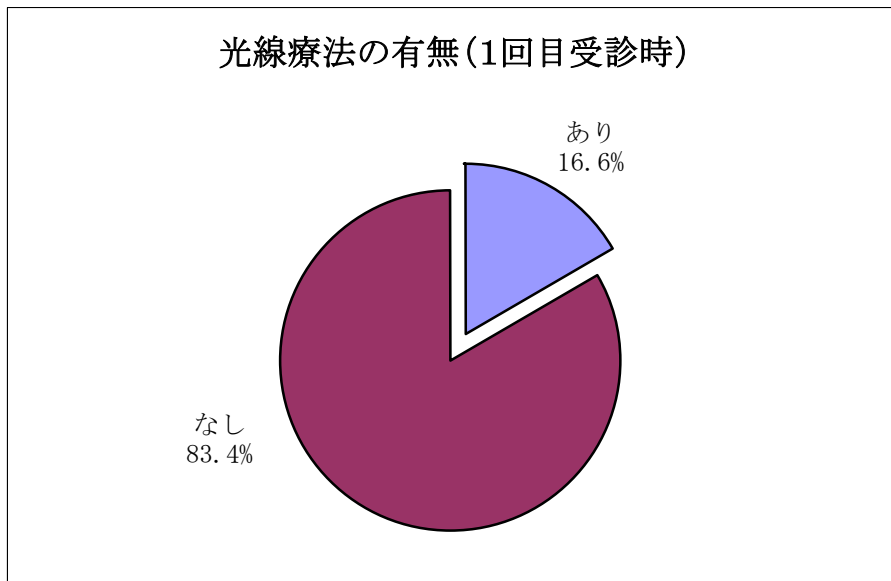
離乳食1回をみると6か月では33.4%、9か月で3.3%、離乳食2回では、6か月で16.3%、9か月で41.6%となっている。月齢が高くなるにつれ離乳食回数は増加している。



#### 4 出生直後の状況

光線療法について「あり」を前年度と比較すると、平成20年度16.6%（H19年度16.9%）と、前年度より0.3ポイント減少している。

光線療法（1回目受診時）			単位：人		
	あり	なし	小計	記入なし	計
	2,350	11,765	14,115	1,589	15,704
%	16.6	83.4	100.0	-	



(参照) 年次資料No. 5



## 5 健診同伴者（前期 生後6か月まで）

乳児健康診査における児の同伴者について、母親の同伴があった児14,852件(98.5%)、父親の同伴があった児4,888件(32.4%)となっている。

(参照) 年次資料No. 6

### 乳児の健診同伴者

単位：人

	母親	父親	祖父母	その他	集計対象数	記入なし	受診総数
					15,078	79	15,157
件数	14,852	4,888	691	1,324			
集計対象数にしめる割合 (%)	98.5	32.4	4.6	8.8	-	-	

同伴内訳	母親	父親	祖父母	その他	記入なし	計
母	<b>8,197</b>	4,752	613	1,290		14,852
父	4,752	<b>118</b>	6	12		4,888
父、祖父母	47			2		49
父、兄弟姉妹	568					568
父、祖父母、兄弟姉妹	2					2
父、祖父母、おじ、おば	2					2
父、おじ、おば	9					9
祖父母	613	6	<b>68</b>	4		691
祖父母、兄弟姉妹	49	2				51
祖父母、おじ、おば等	11					11
祖父母、おじ、おば、兄弟姉妹	2					2
兄弟姉妹	463	10	1	3		477
兄弟姉妹、おじ、おば等	8					8
兄弟姉妹、従兄弟	2					2
おじ、おば等	96		2	8		106
いっこ、親戚等	11					11
施設職員等	1			5		6
その他	19		1			20
記入なし					79	79
計	14,852	4,888	691	1,324	79	21,834

※複数の同伴者あり

## 6 育児環境

### 6-1 保育状況

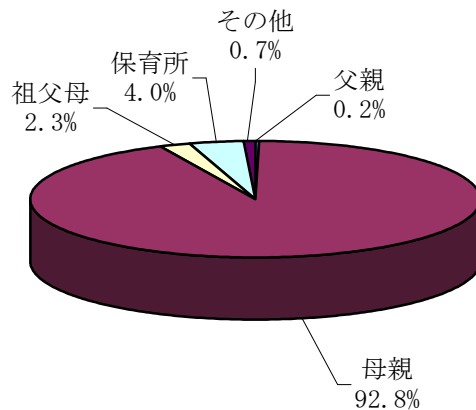
乳児の保育状況において、前期（生後1～6か月児15,157人）における昼間の保育をみると92.8%が母親の保育となっているが、後期（生後7～12か月児14,192人）には、72.3%となり20.5ポイント減少している。

ちなみに、保育所の傾向をみると前期4.0%（H19年度4.3%）、後期には22.3%（H19年度22.5%）となり、平成20年度は減少していることがわかる。

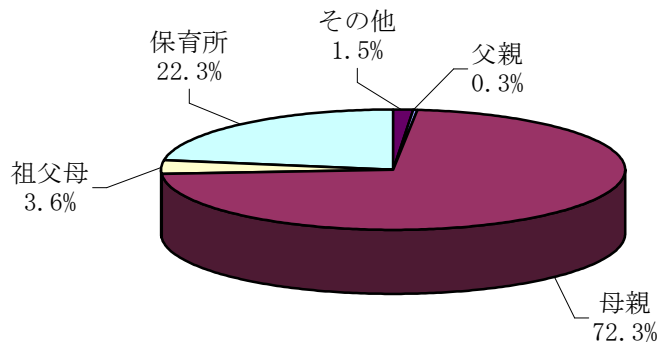
（参照）統計資料No. 8～9 年次資料No. 7

	父親	母親	祖父母	保育所	その他	小計	記入もれ	合計
前期	30	14,039	351	600	113	15,133	24	15,157
%	0.2	92.8	2.3	4.0	0.7	100.0	-	-
後期	38	10,247	510	3,163	208	14,166	26	14,192
%	0.3	72.3	3.6	22.3	1.5	100.0	-	-

前期（生後6か月まで）



後期（生後7～12か月）



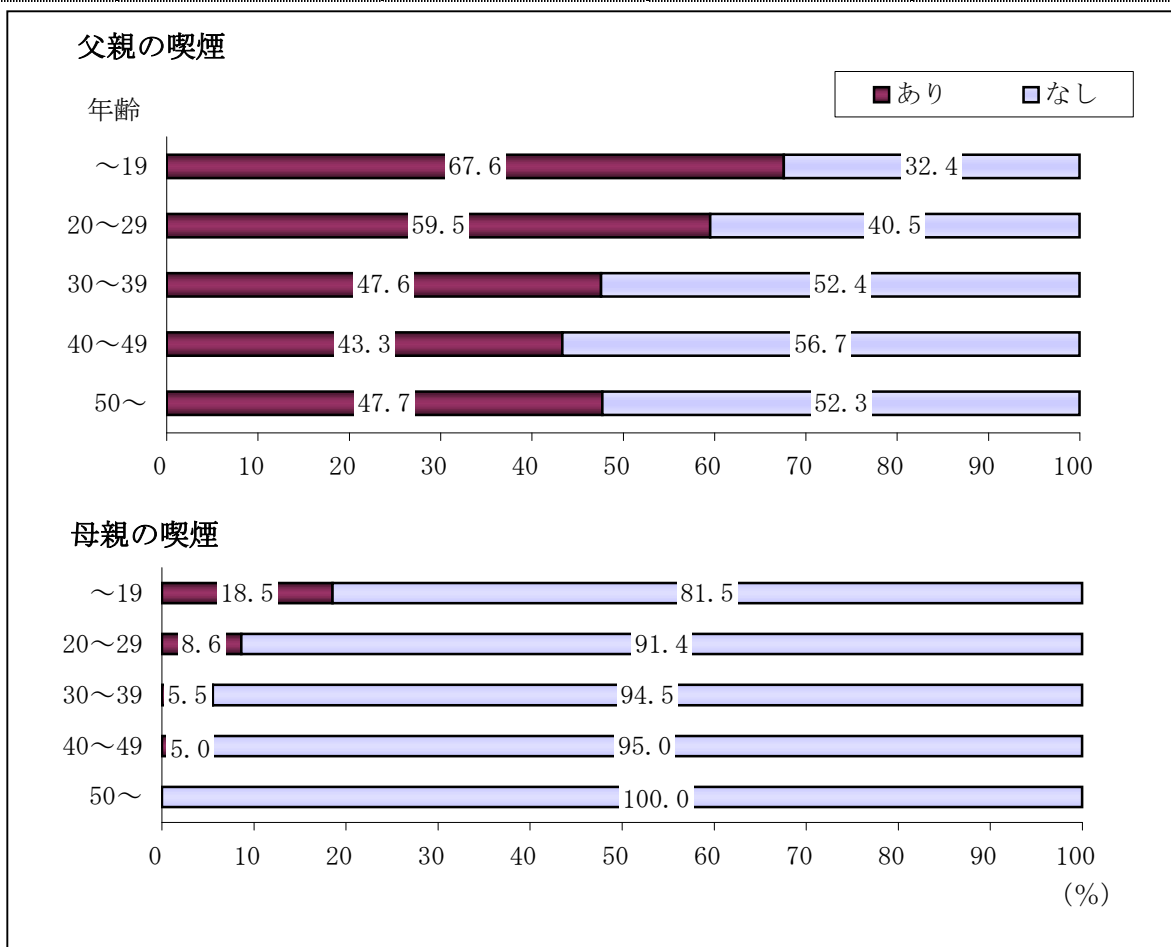
## 6-2 妊娠中の喫煙（1回目受診時）

妊娠中の喫煙率を年齢別に、総計から記入もれを除いた数で算出すると父親51.5%（H19年度51.8%）、母親7.0%（H19年度8.0%）となり、前年度に比較すると母親の喫煙が1.0ポイント減少している。

乳児の両親の妊娠中の喫煙（1回目受診時）

単位：人

年齢	父親の喫煙				母親の喫煙			
	あり	なし	記入もれ	総計	あり	なし	記入もれ	総計
～19	75	36	11	122	45	198	37	280
20～29	2,841	1,933	438	5,212	509	5,399	643	6,551
30～39	3,461	3,816	802	8,079	407	6,955	884	8,246
40～49	605	792	192	1,589	25	478	68	571
50～	62	68	30	160	-	2	1	3
小計	7,044	6,645	1,473	15,162	986	13,032	1,633	15,651
%	51.5	48.5	-	-	7.0	93.0	-	-
記入もれ	84	97	361	542	8	38	7	53
総計	7,128	6,742	1,834	15,704	994	13,070	1,640	15,704



※ 喫煙率は、記入もれを除いて算出

(参照) 統計資料No. 10

(参照) 年次資料No. 8

### 6-3 子育てについて（1回目受診時）

#### ○育児不安の有無と子育ての楽しさとの関係

育児に不安がないと回答した人は、あると回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が22.9ポイント高くなっている。

（参照）統計資料No. 11～12

（参照）年次資料No. 9

育児に不安	回答者数	子育ては (記入もれ除く)		
		計	楽しい、 楽しい・大変の両方	どちらともいえない・ 大変
ある	3,547	3,543	2,124	1,419
	%	100.0	59.9	40.1
ある・ない の両方	70	70	57	13
	%	100.0	81.4	18.6
ない	11,927	11,914	9,864	2,050
	%	100.0	82.8	17.2

注) 1回目受診時に対する割合

#### ○育児不安の有無と育児疲れとの関係

育児に不安があると回答した人は、ないと回答した人より、育児の疲れの割合が高く、特に精神的な面の疲れが高くなっている。

育児に不安	回答者数	育児は疲れが多い (記入もれ除く)				
		計	肉体的	肉体的・ 精神的の両方	精神的	いいえ
ある	3,547	3,502	1,388	691	628	795
	%	100.0	39.6	19.7	17.9	22.7
ある・ない の両方	70	68	27	18	9	14
	%	100.0	39.7	26.5	13.2	20.6
ない	11,927	11,839	4,314	606	643	6,276
	%	100.0	36.4	5.1	5.4	53.0

注) 1回目受診時に対する割合

## ○身近な相談者の有無と子育ての楽しさとの関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が20.5ポイント高くなっている。

(参照) 統計資料No. 11~12

(参照) 年次資料No. 9

身近に相談者	回答者数	計	子育ては (記入もれ除く)	
			楽しい、 楽しい・大変 の両方	どちらともいえない ・大変
いる	14,945	14,927	11,703	3,224
	%	100.0	78.4	21.6
いない	692	692	401	291
	%	100.0	57.9	42.1

注) 1回目受診時に対する割合

※ 身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

## ○身近な相談者の有無と育児不安との関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育てに不安を感じている割合が29.8ポイント低くなっている。

身近に相談者	回答者数	計	育児に不安 (記入もれ除く)		
			ある	ある・ない両方	ない
いる	14,945	14,815	3,181	63	11,571
	%	100.0	21.5	0.4	78.1
いない	692	684	345	7	332
	%	100.0	50.4	1.0	48.5

注) 1回目受診時に対する割合

※ 身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

## ○育児不安有無と育児疲れ、子育ての楽しさについて

子育てについて、育児に不安があるかないかを基に、育児の疲れと楽しさがどうかについて分類した。

育児に不安	育児は疲れが多い	回答者数	子育ては (記入もれ除く)				
			計	楽しい	楽しい・大変の両方	どちらともいえない	大変
ある	肉体的	1,388	1,388	739	181	232	236
	肉体的・精神的の両方	691	691	119	176	145	251
	精神的	628	628	197	46	163	222
	いいえ	795	793	580	62	102	49
	記入もれ	45	43	18	6	10	9
	小計	3,547	3,543	1,653	471	652	767
	%	22.6	100.0	46.7	13.3	18.4	21.6
ある・ない両方	肉体的	27	27	19	6	1	1
	肉体的・精神的の両方	18	18	3	11	3	1
	精神的	9	9	2	4	1	2
	いいえ	14	14	9	3	2	-
	記入もれ	2	2	-	-	-	2
	小計	70	70	33	24	7	6
	%	0.4	100.0	47.1	34.3	10.0	8.6
ない	肉体的	4,314	4,311	3,038	352	425	496
	肉体的・精神的の両方	606	606	196	139	119	152
	精神的	643	642	265	62	141	174
	いいえ	6,276	6,270	5,614	140	341	175
	記入もれ	88	85	54	4	14	13
	小計	11,927	11,914	9,167	697	1,040	1,010
	%	76.0	100.0	76.9	5.9	8.7	8.5
不明	肉体的	60	59	22	15	12	10
	肉体的・精神的の両方	22	22	2	7	4	9
	精神的	15	15	5	2	6	2
	いいえ	27	27	21	1	4	1
	記入もれ	36	20	10	4	5	1
	小計	160	143	60	29	31	23
	%	1.0	100.0	41.9	20.3	21.7	16.1
合計		15,704	15,670	10,913	1,221	1,730	1,806
%		100.0	100.0	69.7	7.8	11.0	11.5

注) 回答者の率は1回目受診児15,704件に対する割合

(参照) 統計資料No. 11~12

## ○身近に相談者の有無と子育て支援センターの認知、 子育ての楽しさについて

子育てについて、身近に相談者がいるかいないかを基に、子育ては楽しいかについて分類した。

身近に 相談者	子育て支援セ ンターを知っ ている	回答者数	子育ては (記入もれ除く)				
			計	楽しい	楽しい・ 大変の両方	どちらとも 言えない	大変
いる	はい	11,822	11,806	8,391	914	1,222	1,279
	いいえ	3,003	3,002	2,084	219	344	355
	記入もれ	120	119	81	14	14	10
	小計	14,945	14,927	10,556	1,147	1,580	1,644
	%	95.2	100.0	70.7	7.7	10.6	11.0
いない	はい	448	448	218	47	80	103
	いいえ	238	238	113	21	57	47
	記入もれ	6	6	2	-	1	3
	小計	692	692	333	68	138	153
	%	4.4	100.0	48.1	9.8	20.0	22.1
不明	はい	29	28	14	4	3	7
	いいえ	12	11	2	2	6	1
	記入もれ	26	12	8	-	3	1
	小計	67	51	24	6	12	9
	%	0.4	100.0	47.1	11.8	23.5	17.6
合計		15,704	15,670	10,913	1,221	1,730	1,806
%		100.0	100.0	69.7	7.8	11.0	11.5

注) 回答者の率は1回目受診児15,704件に対する割合

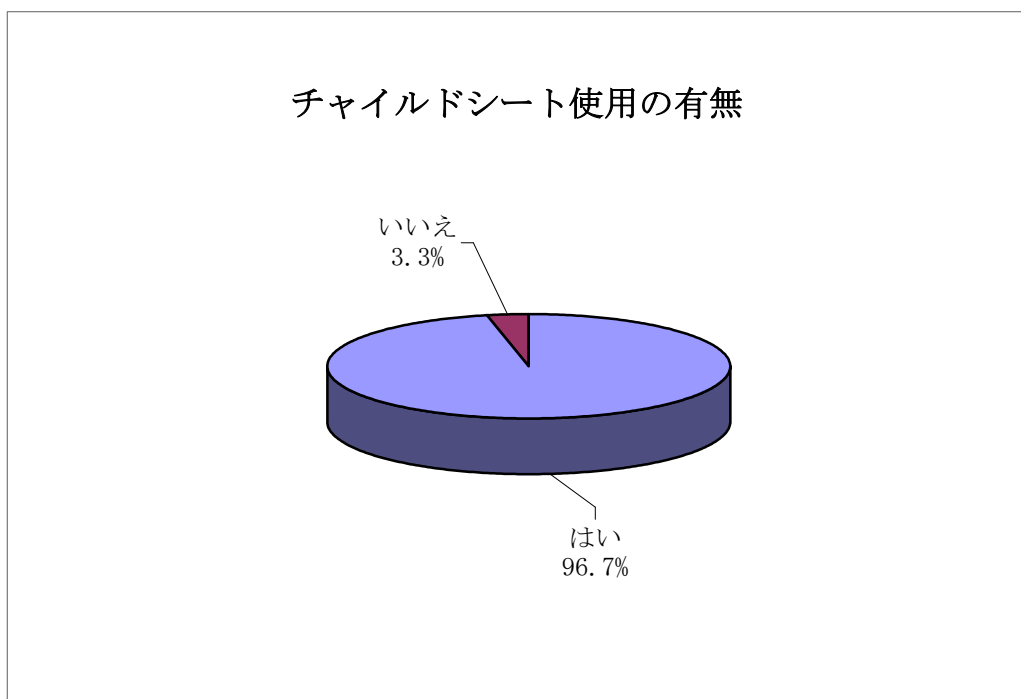
※ 身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

(参照) 統計資料No. 11~13

## 6-4 チャイルドシート使用状況（後期 生後7～12か月）

チャイルドシート使用については、使用している96.7%（H19年度96.3%）となり、0.4ポイントの増加がみられる。

チャイルドシート 使用	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	13,662	459	14,121	71	14,192
%	96.7	3.3	100.0	-	-



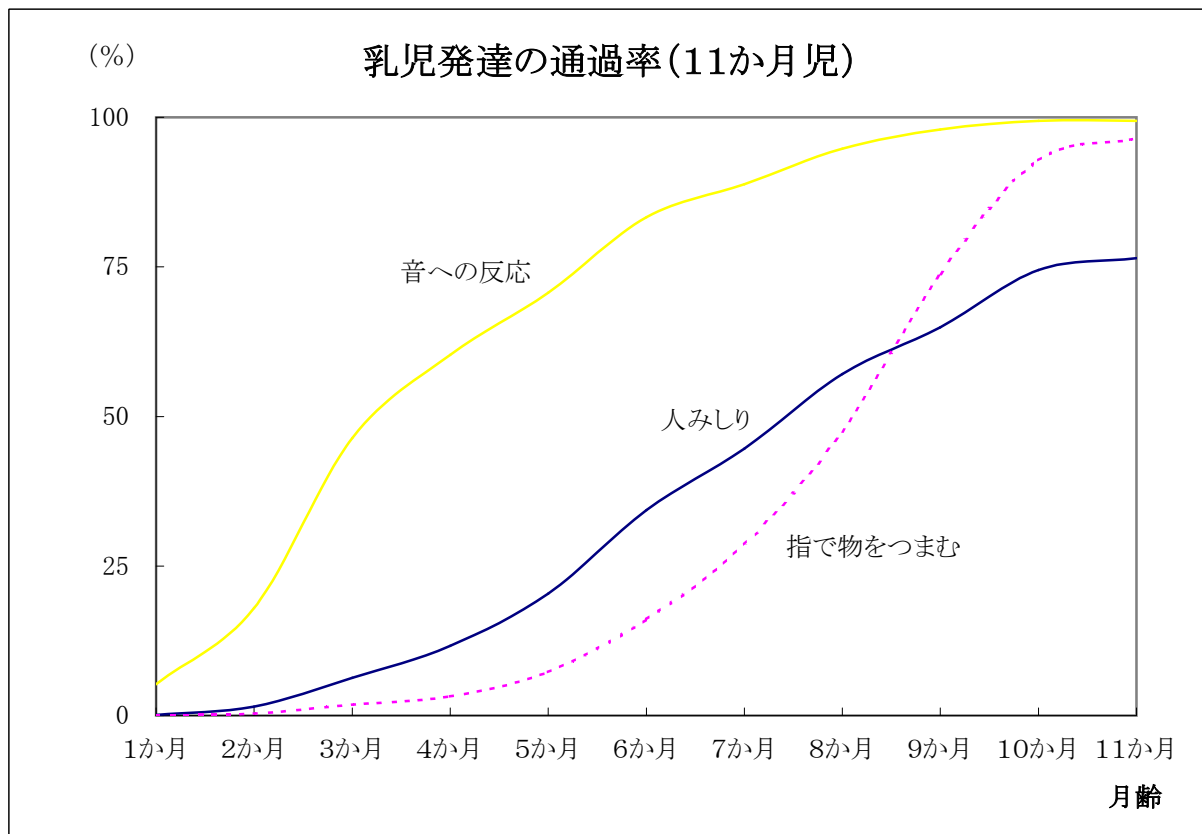
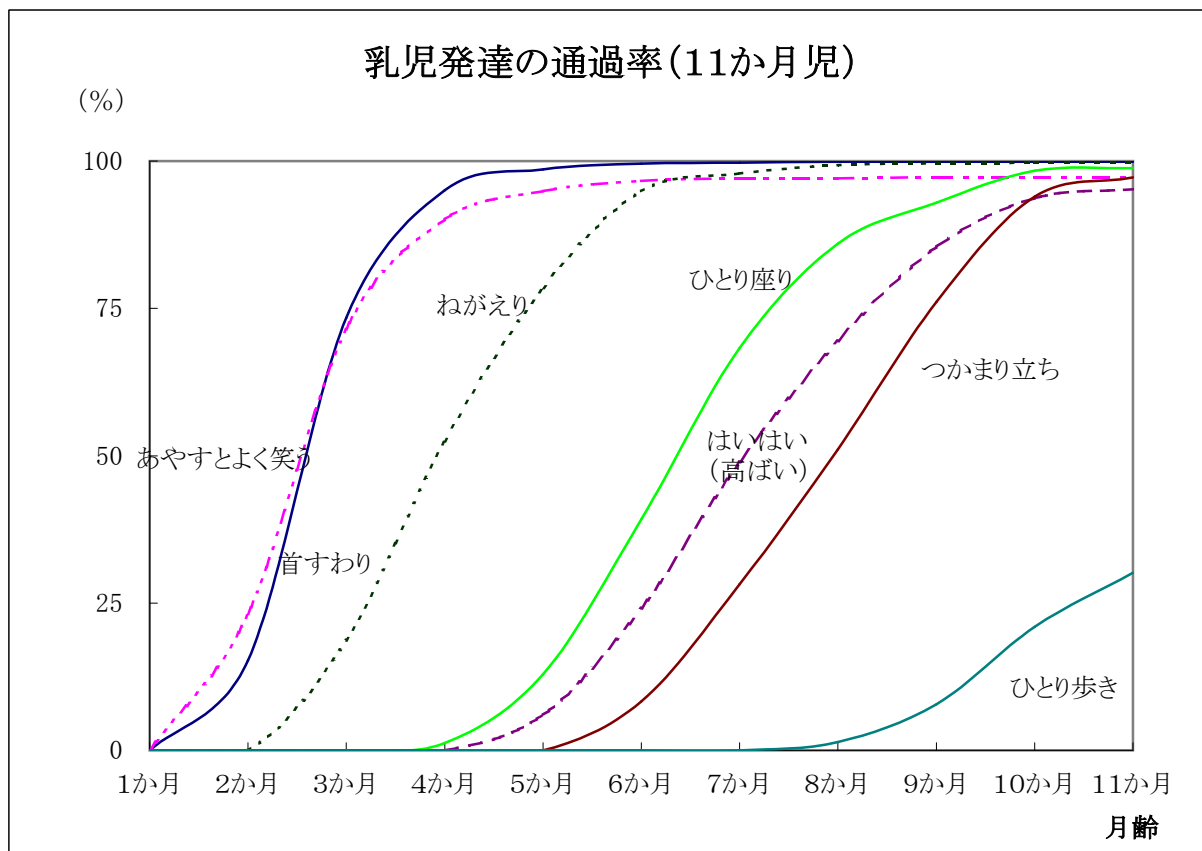
（参照）統計資料No. 14

（参照）年次資料No. 37



## 7 乳児の発達について

乳児の発達について、受診時の月齢が11か月児1,175名を対象に分類した。



## 8 健診結果の内訳

平成20年度の乳児一般健康診査の受診総数は29,365人となっているが、12か月以降等の統計対象外児16人を除く、29,349人について総合判定を分類したものを以下に示す。

(総合判定)								単位:人
	受診総数	問題なし	要助言	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中
平成20年度受診総数	29,365	20,671	4,513	1,678	1,356	155	412	580
12か月以降の受診児	16	13	3	-	-	-	-	-
統計分類する乳児数	29,349	20,658	4,510	1,678	1,356	155	412	580
	%	70.4	15.4	5.7	4.6	0.5	1.4	2.0

\*実人員

### (検査及び診察所見の内訳)

合計	(1) 検査結果の異常	(2) 診察有所見(延べ)
9,211	5,120	4,091

\*実人員8,691人

(1) 検査結果の異常			*尿蛋白、潜血の項目で+以上 尿糖の項目で±以上の実人員
小計	尿検査	貧血検査	
5,120	246	4,874	

(2) 有所見(延べ件数)		(有所見内訳)				
小計	発育	皮膚	頭頸部	顔面 口腔	眼	耳鼻 咽喉
4,091	531	1,777	133	144	130	87

(有所見内訳)					
胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	発達 神経
453	113	222	46	143	312

(参照) 統計資料No. 2

(参照) 参考資料No. 1、2

## 8-1 検査結果の内訳

### ①尿検査結果

尿検査結果の異常（蛋白・潜血は+以上、糖は±以上）は、合計で270件となるが、実人員は246人である。

前期（生後1～6か月児）、後期（生後7～12か月児）に分けて分類した。

尿蛋白	前期	後期	合計	%
－	13,797	11,493	25,290	86.2
±	190	251	441	1.5
+ 以上	61	57	118	0.4
未検査	1,109	2,391	3,500	11.9
合計	15,157	14,192	29,349	100.0

尿潜血	前期	後期	合計	%
－	13,597	11,302	24,899	84.9
±	111	159	270	0.9
+ 以上	61	85	146	0.5
未検査	1,388	2,646	4,034	13.7
合計	15,157	14,192	29,349	100.0

尿糖	前期	後期	合計	%
－	13,771	11,539	25,310	86.2
±	2	4	6	0.1
+ 以上	－	－	－	－
未検査	1,384	2,649	4,033	13.7
合計	15,157	14,192	29,349	100.0

## ②貧血検査結果

貧血検査においては、要精査は575人、栄養助言が必要な児4,299人で計4,874人がフォローされている。未検査は48人となっている。

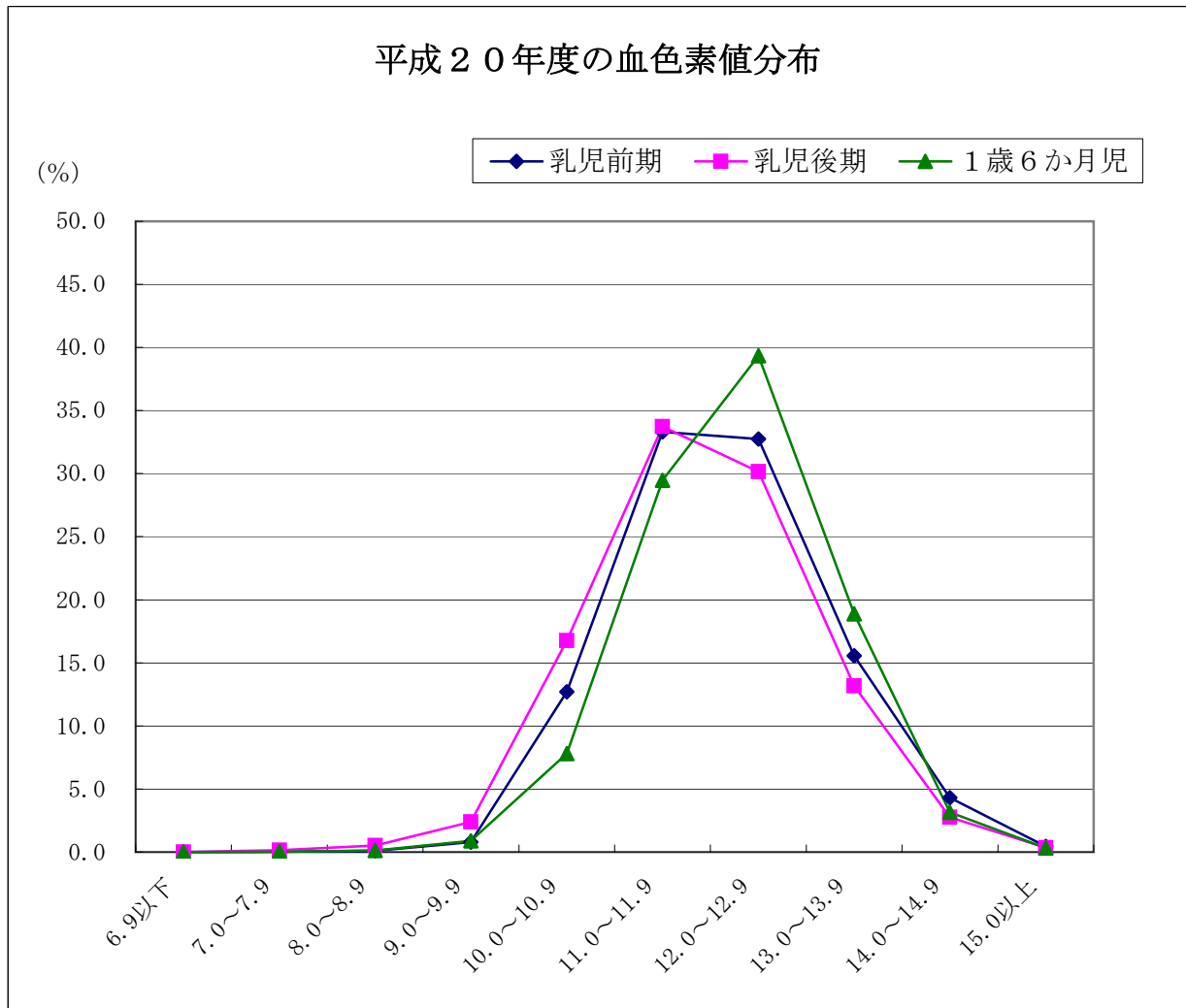
		要精査 9.9 g/dl以下	栄養助言 10.0~10.9 g/dl	正常 11.0 g/dl以上	未検査	計
前期	男	98	1,047	6,651	20	7,816
	女	43	875	6,411	12	7,341
後期	男	273	1,237	5,736	9	7,255
	女	161	1,140	5,629	7	6,937
計	男	371	2,284	12,387	29	15,071
	女	204	2,015	12,040	19	14,278
	全体	575	4,299	24,427	48	29,349
%		2.0	14.6	83.2	0.2	100.0

(参照) 統計資料 No. 6~7



## ワンポイント(1)

### 乳児、1歳6か月児健康診査時の貧血検査結果



乳児健康診査時の乳児貧血は、乳児期前期より後期が貧血傾向が見られた。  
しかし、1歳6か月児健康診査時ではかなり改善されている。

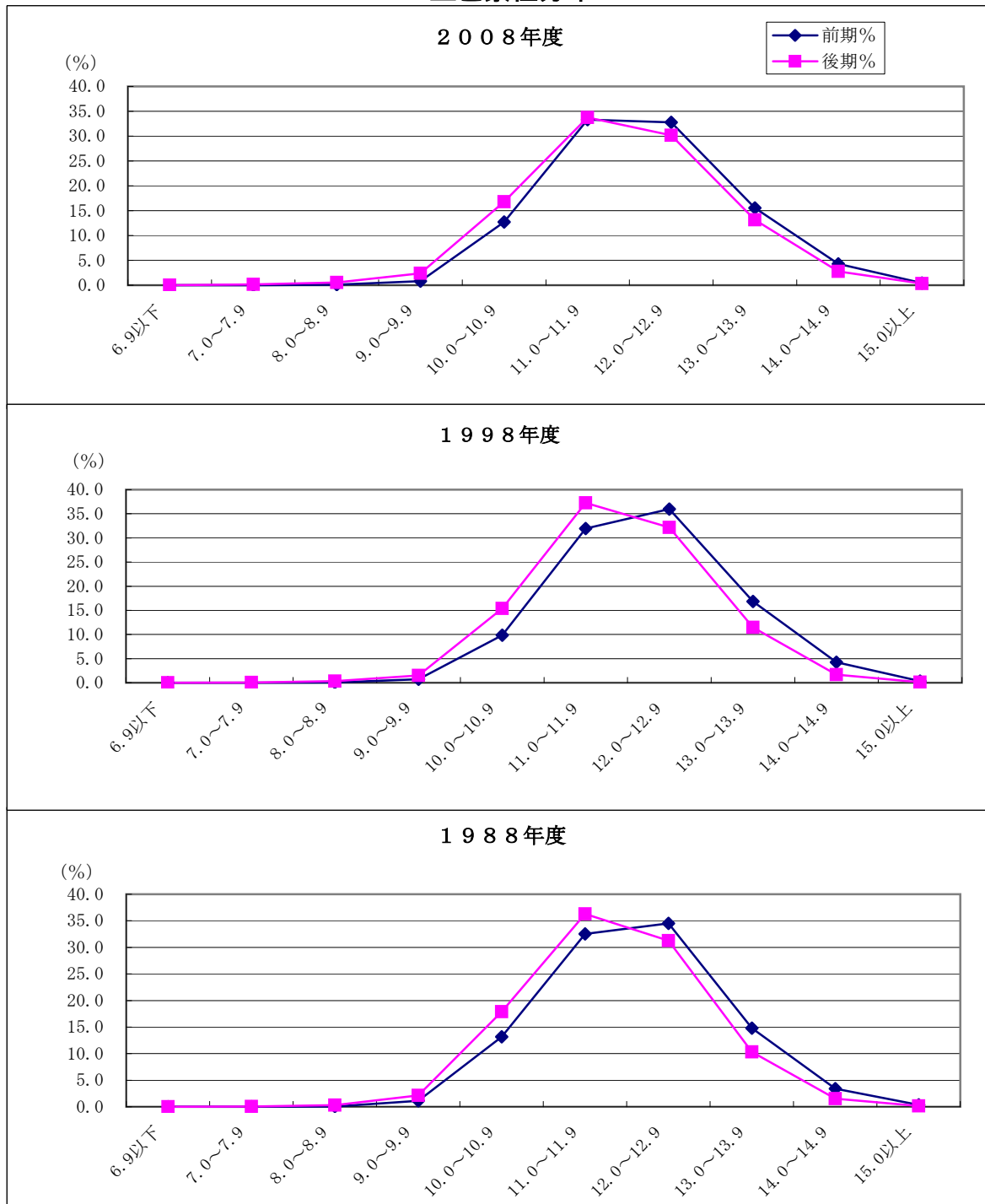


## ワンポイント（２）

### 乳児健康診査時の貧血検査について

乳児の月齢を前期（３か月～６か月）と後期（７か月～１１か月）に分類して、  
 １０年間隔で比較した。

#### 血色素値分布



## 8-2 診察による有所見（診察所見について）

### 有所見の内訳

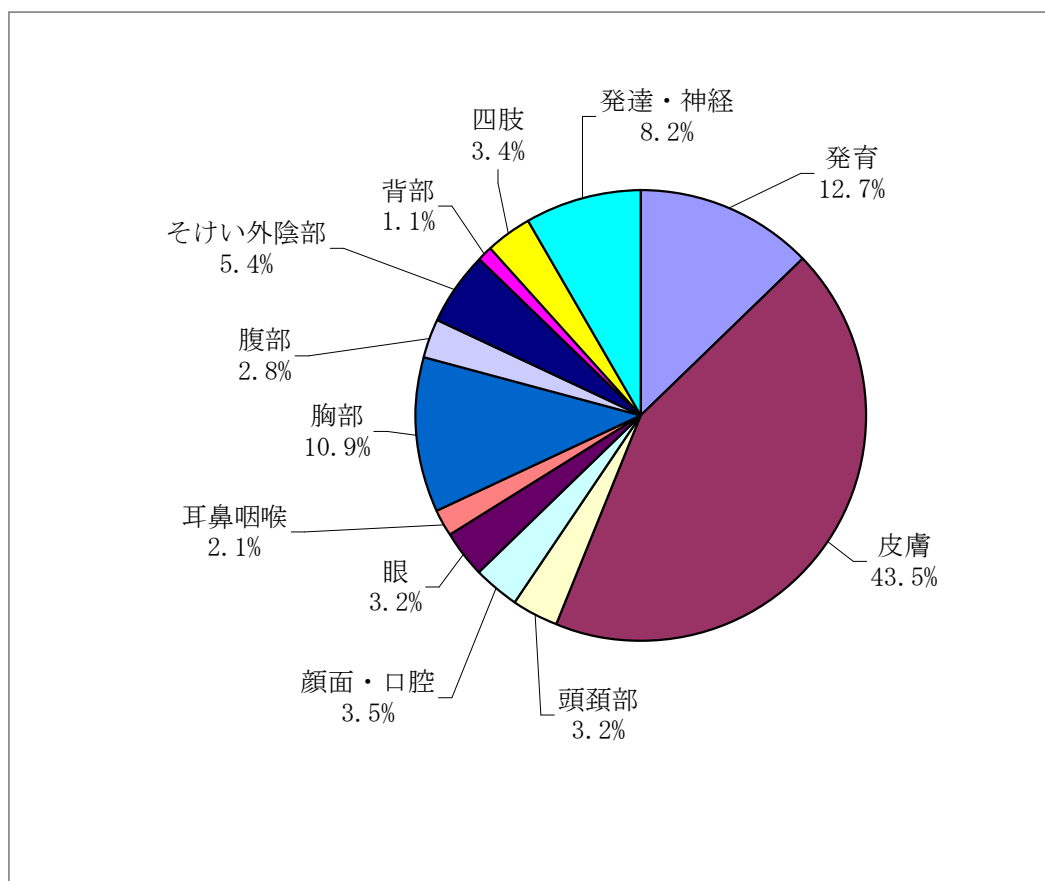
受診実績 29,349 人、うち問題なしが 20,658 人、異常等あり児が 8,691 人となっている。異常等ありのなかで診察有所見は 4,091 件である。

診察所見は複数の記入がある場合、同部位内においては件数にカウントされないが、再分類件数は、部位別・部位内の複数記入も含め分類したものである。

	合計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉
件数	4,091	531	1,777	133	144	130	87
再分類件数	4,180	531	1,818	134	145	132	89
%	100.0	12.7	43.5	3.2	3.5	3.2	2.1

	胸部	腹部	そけい外陰部	背部	四肢	発達・神経
件数	453	113	222	46	143	312
再分類件数	456	115	226	46	144	344
%	10.9	2.8	5.4	1.1	3.4	8.2

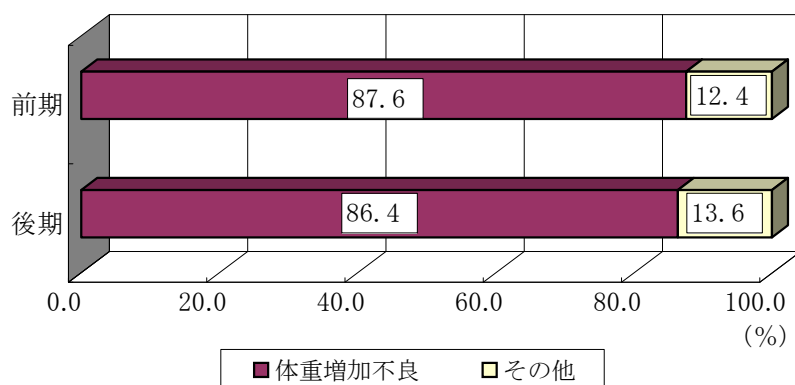
注) 部位内複数記入含め再分類



(参照) 統計資料 No. 2

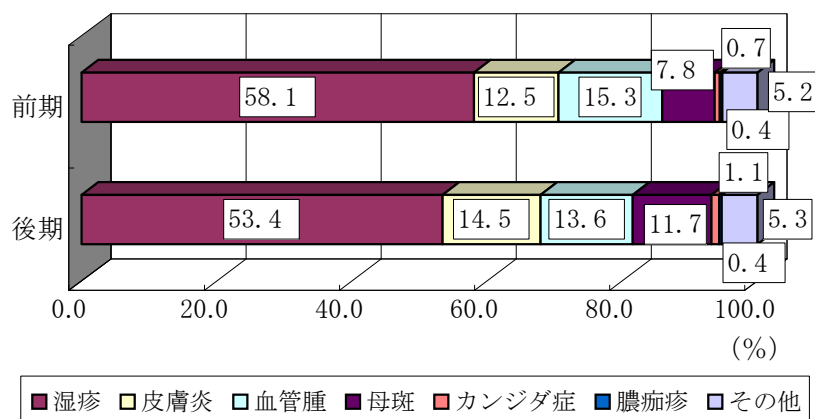
### ①<発育>

内 訳		体重増加 不良	その他
前期	201	176	25
%	100.0	87.6	12.4
後期	330	285	45
%	100.0	86.4	13.6
合計	531	461	70



### ②<皮膚>

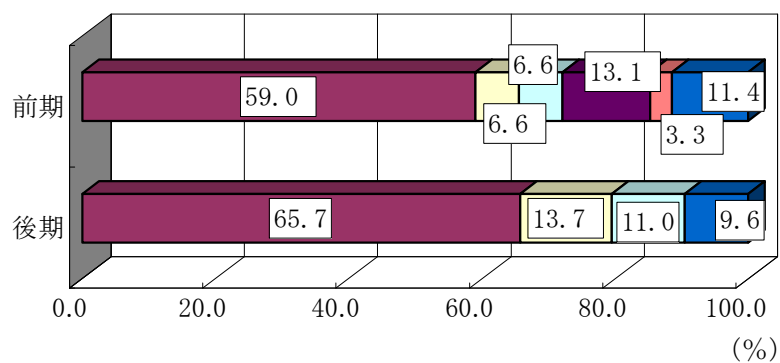
内 訳		湿疹	皮膚炎	血管腫	母斑	カンジダ症	膿痂疹	その他
前期	1,114	647	139	171	87	8	4	58
%	100.0	58.1	12.5	15.3	7.8	0.7	0.4	5.2
後期	704	376	102	96	82	8	3	37
%	100.0	53.4	14.5	13.6	11.7	1.1	0.4	5.3
合計	1,818	1,023	241	267	169	16	7	95





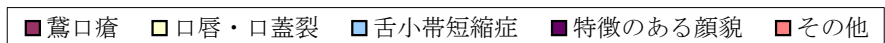
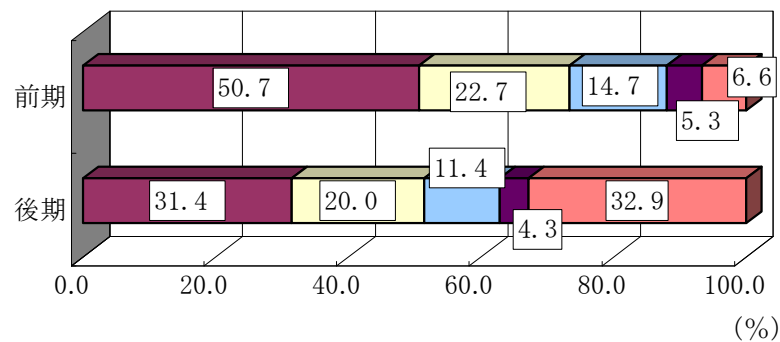
### ③<頭頸部>

内訳		大頭	小頭	大泉門開大	大泉門狭小	斜頸	その他
前期	61	36	4	4	8	2	7
%	100.0	59.0	6.6	6.6	13.1	3.3	11.4
後期	73	48	10	8	-	-	7
%	100.0	65.7	13.7	11.0	-	-	9.6
合計	134	84	14	12	8	2	14



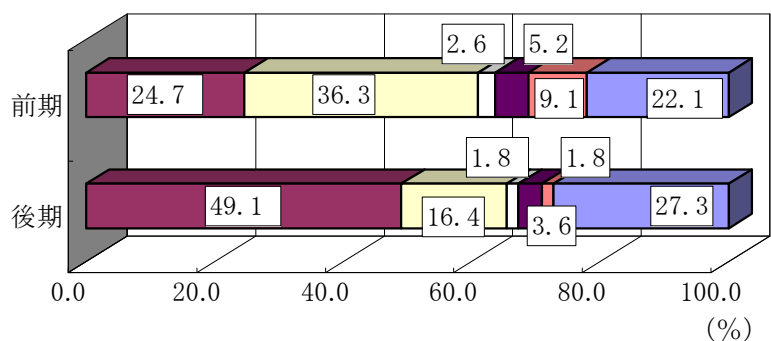
### ④<顔面・口腔>

内訳		鵞口瘡	口唇・口蓋裂	舌小帯短縮症	特徴のある顔貌	その他
前期	75	38	17	11	4	5
%	100.0	50.7	22.7	14.7	5.3	6.6
後期	70	22	14	8	3	23
%	100.0	31.4	20.0	11.4	4.3	32.9
合計	145	60	31	19	7	28



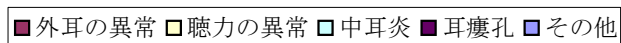
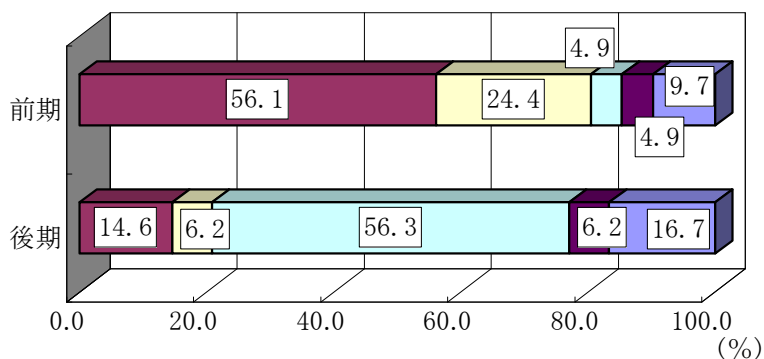
### ⑤<眼>

内訳	斜視	眼脂	白色瞳孔	眼瞼下垂	鼻涙管狭窄症	その他
前期	77	19	28	2	4	7
%	100.0	24.7	36.3	2.6	5.2	9.1
後期	55	27	9	1	2	15
%	100.0	49.1	16.4	1.8	3.6	1.8
合計	132	46	37	3	6	32



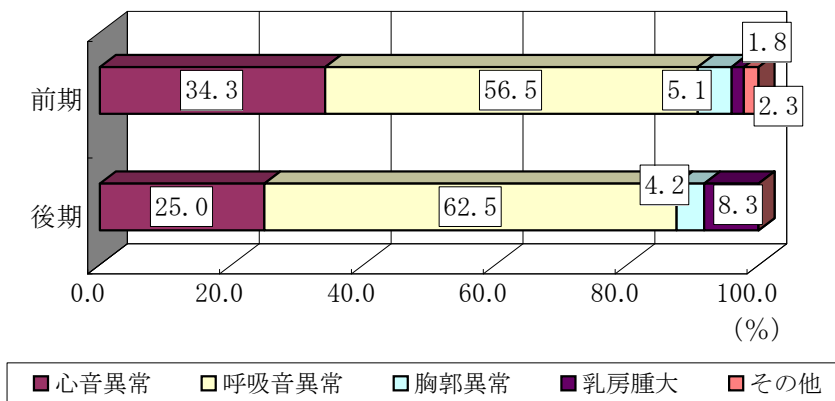
### ⑥<耳鼻咽喉>

内訳	外耳の異常	聴力の異常	中耳炎	耳瘻孔	その他
前期	41	23	10	2	2
%	100.0	56.1	24.4	4.9	4.9
後期	48	7	3	27	3
%	100.0	14.6	6.2	56.3	6.2
合計	89	30	13	29	12



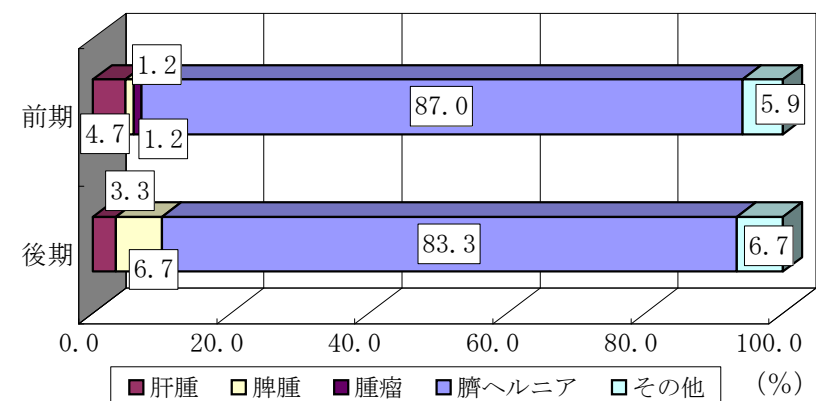
⑦<胸部>

内 訳		心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他
前期	216	74	122	11	4	5
%	100.0	34.3	56.5	5.1	1.8	2.3
後期	240	60	150	10	20	-
%	100.0	25.0	62.5	4.2	8.3	-
合計	456	134	272	21	24	5



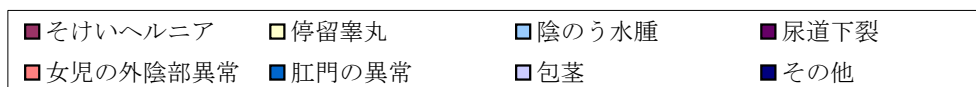
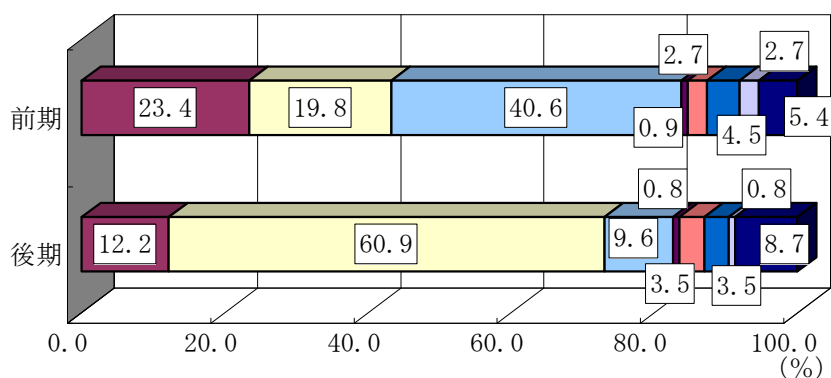
⑧<腹部>

内 訳		肝腫	脾腫	腫瘤	臍ヘルニア	その他
前期	85	4	1	1	74	5
%	100.0	4.7	1.2	1.2	87.0	5.9
後期	30	1	2	-	25	2
%	100.0	3.3	6.7	-	83.3	6.7
合計	115	5	3	1	99	7



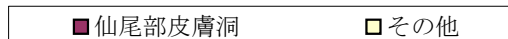
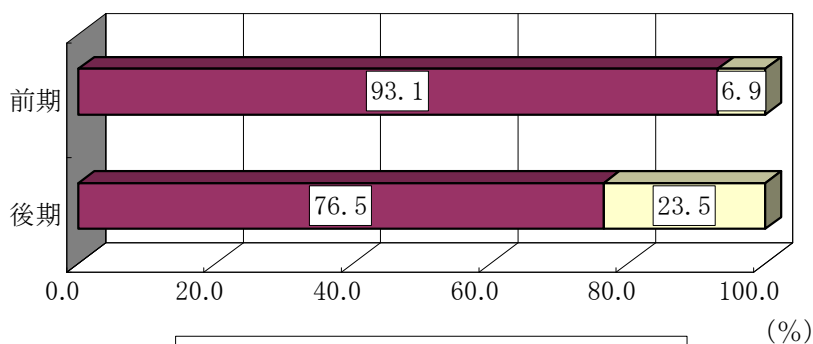
### ⑨<そけい外陰部>

内 訳	そけいヘルニア	停留睾丸	陰のう水腫	尿道下裂	女児の外陰部異常	肛門の異常	包茎	その他
前期	111	22	45	1	3	5	3	6
%	100.0	19.8	40.6	0.9	2.7	4.5	2.7	5.4
後期	115	70	11	1	4	4	1	10
%	100.0	60.9	9.6	0.8	3.5	3.5	0.8	8.7
合計	226	92	56	2	7	9	4	16



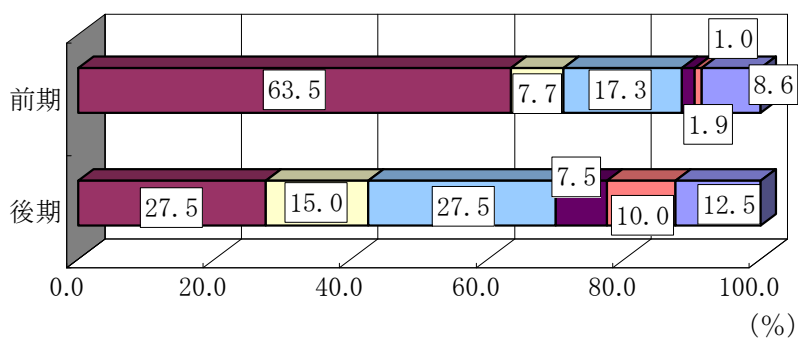
### ⑩<背部>

内 訳	仙尾部皮膚洞	その他
前期	27	2
%	93.1	6.9
後期	13	4
%	76.5	23.5
合計	40	6



⑪<四肢>

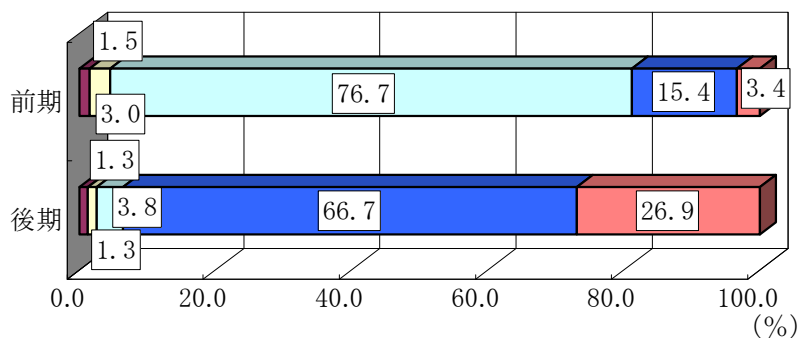
内 訳		股関節 開排制限	手足の 異常	指趾の 異常	内反足	外反足	その他
前期	104	66	8	18	2	1	9
%	100.0	63.5	7.7	17.3	1.9	1.0	8.6
後期	40	11	6	11	3	4	5
%	100.0	27.5	15.0	27.5	7.5	10.0	12.5
合計	144	77	14	29	5	5	14



■ 股関節開排制限 ■ 手足の異常 ■ 指趾の異常 ■ 内反足 ■ 外反足 ■ その他

⑫<発達・神経>

内 訳		追視 (-)	声のする 方を向く (-)	引き起こ し反応 (-)	筋緊張 (低下、 亢進)	運動 (不活発、 左右差)
前期	266	4	8	204	41	9
%	100.0	1.5	3.0	76.7	15.4	3.4
後期	78	1	1	3	52	21
%	100.0	1.3	1.3	3.8	66.7	26.9
合計	344	5	9	207	93	30



■ 追視 (-) ■ 声のする方を向く (-) ■ 引き起こし反応 (-)  
■ 筋緊張 (低下、亢進) ■ 運動 (不活発、左右差)

## 9 総合判定（ICD-10分類）

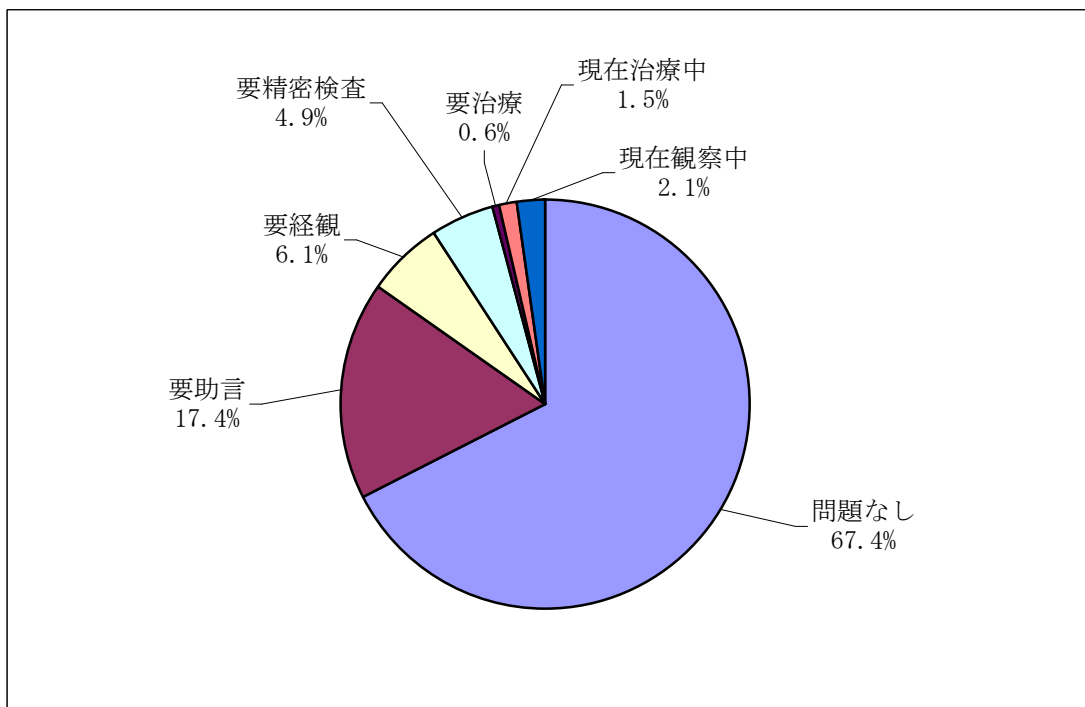
受診総数29,349人、うち問題なし児20,658人、判定結果問題ありの児が8,691人となっている。

判定延べ件数は30,203件で、うち問題なし20,658件と、何らかの問題ありの9,545件となっている。

延べ件数内訳は、複数の記入がある場合、同項目内においては件数にカウントされていない。

項目内の複数記入すべてを含め再度判定結果を分類した。

合 計		問題なし	判 定 結 果						小計	
			要助言	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中		
受診者数	29,349	20,658	4,510	1,678	1,356	155	412	580	8,691	
%	100.0	70.4	15.4	5.7	4.6	0.5	1.4	2.0		
判 定	延べ件数	30,203	20,658	5,241	1,767	1,356	163	419	599	9,545
	前期	15,653	11,294	2,296	815	575	97	218	358	4,359
	後期	14,980	9,364	3,038	1,054	924	76	237	287	5,616
	再分類件数	30,633	20,658	5,334	1,869	1,499	173	455	645	9,975
	%	100.0	67.4	17.4	6.1	4.9	0.6	1.5	2.1	

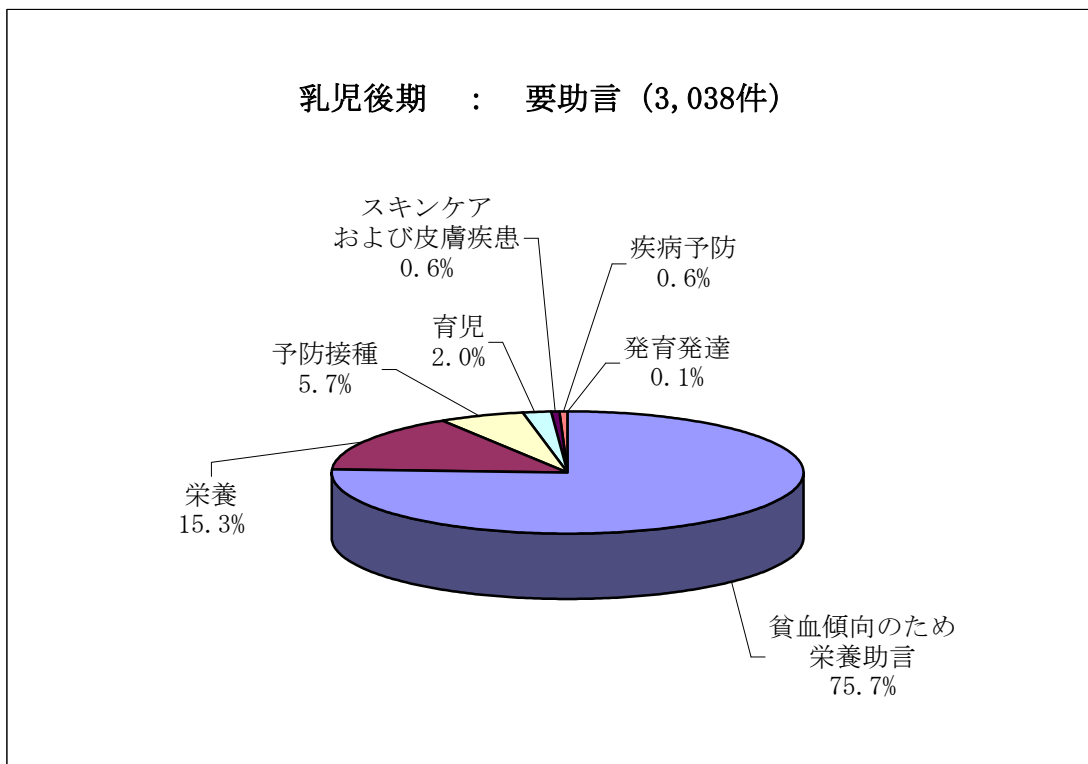
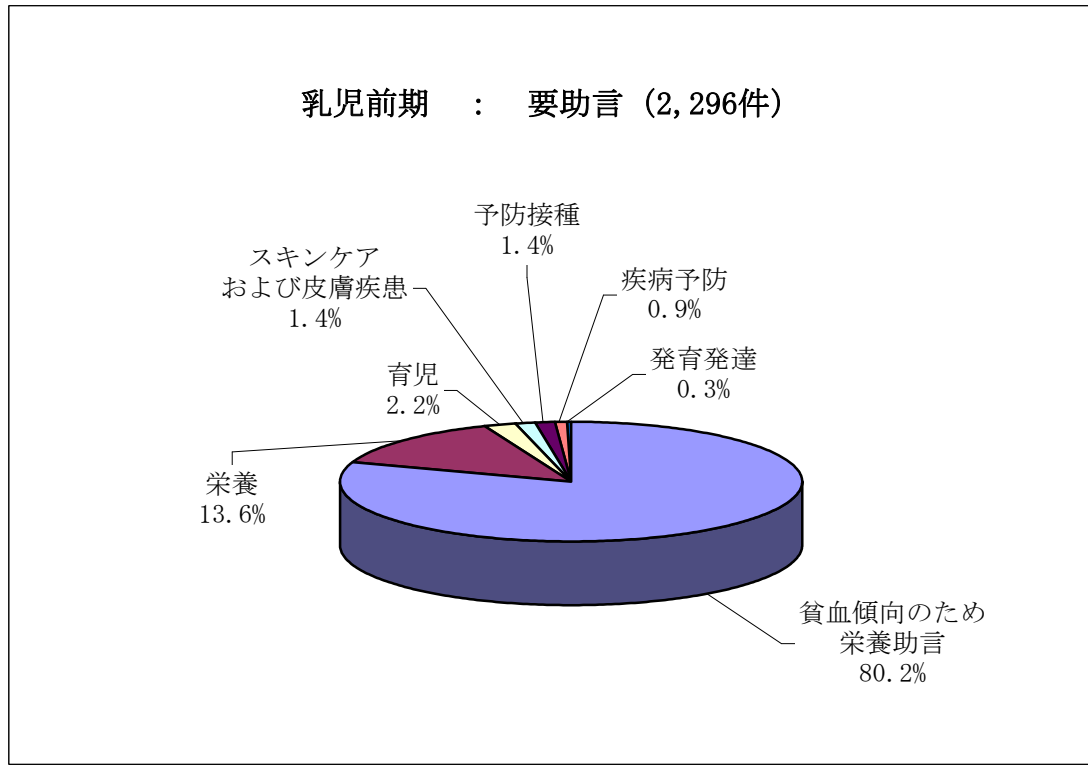


(参照) 統計資料 No. 2、4

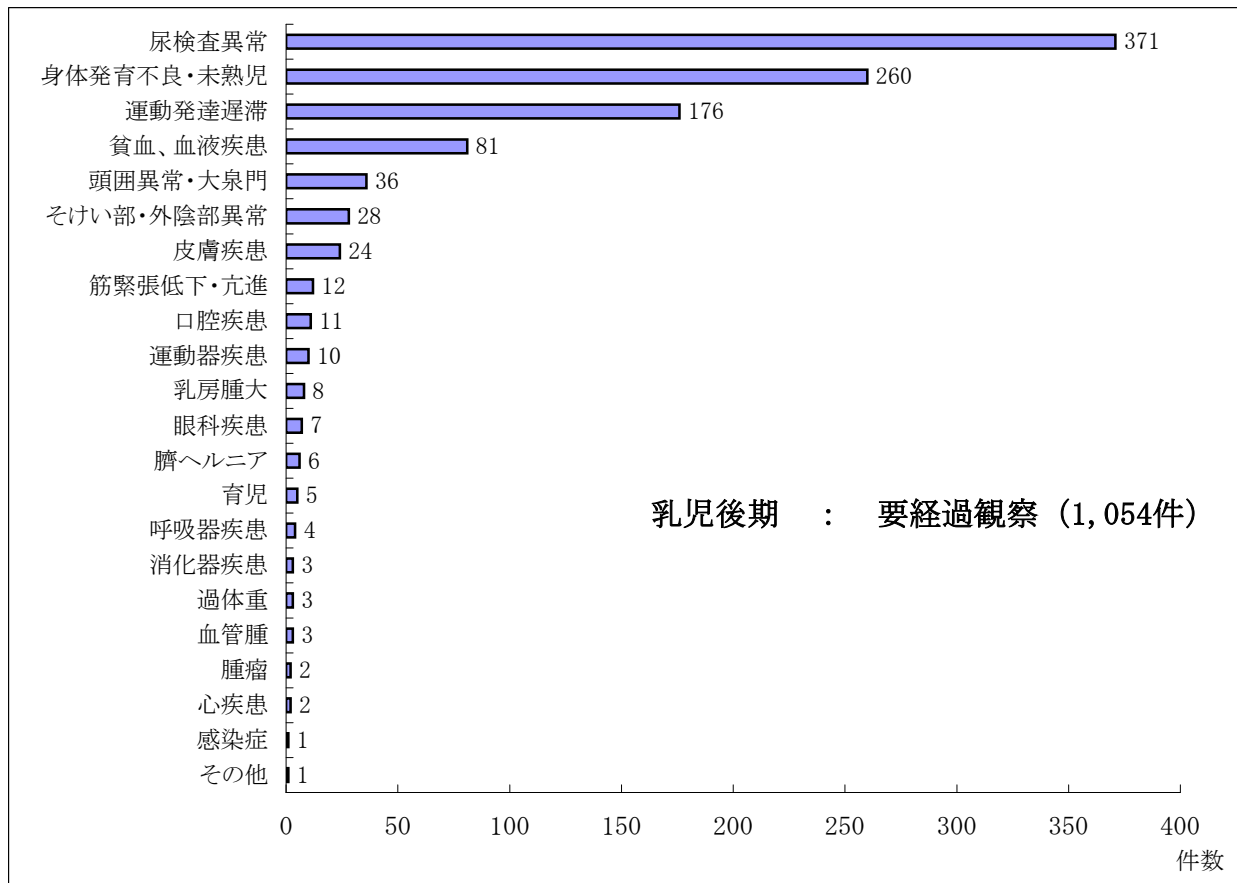
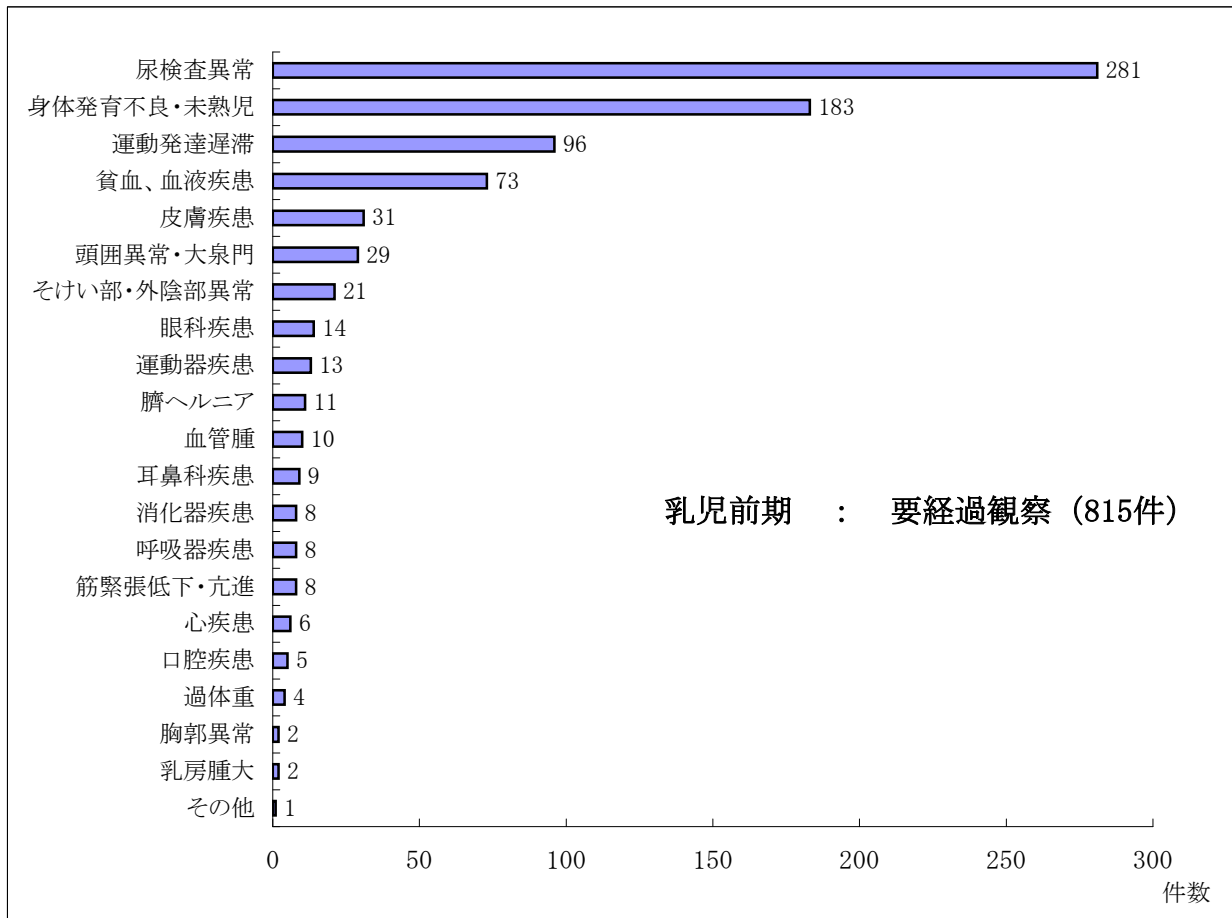
(参照) 年次資料 No. 10

### 9-1 要助言について

要助言の項目において、複数の判定記入があり、それも含め分類した。

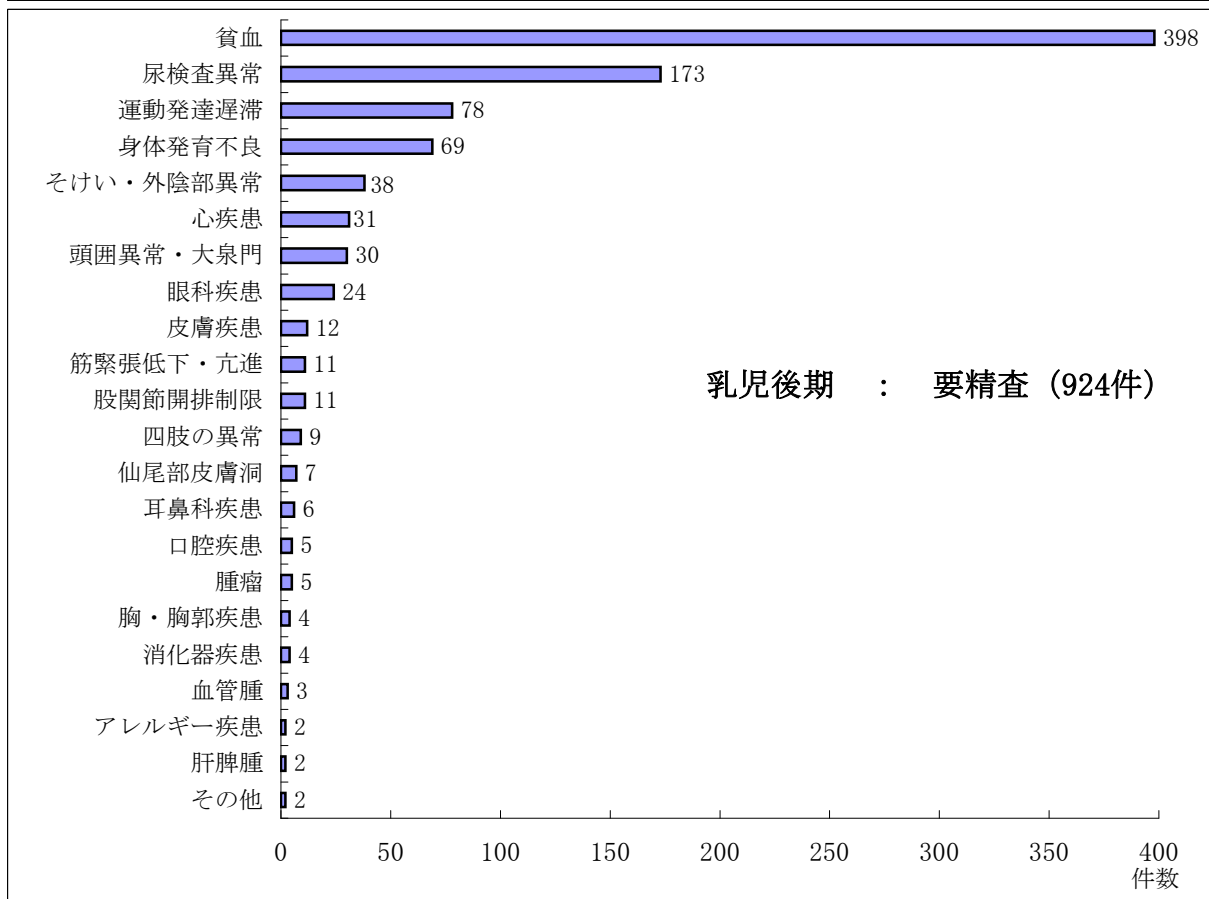
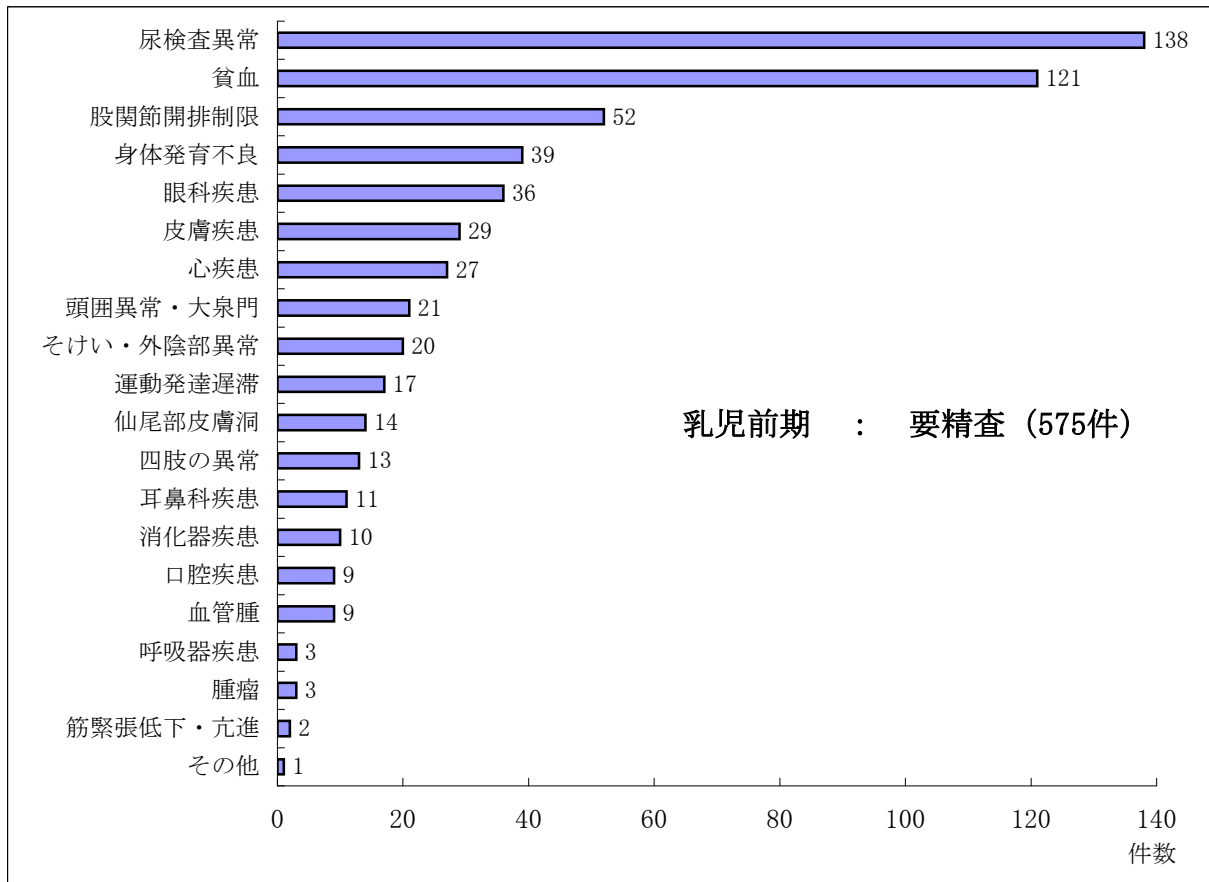


## 9-2 要経過観察について



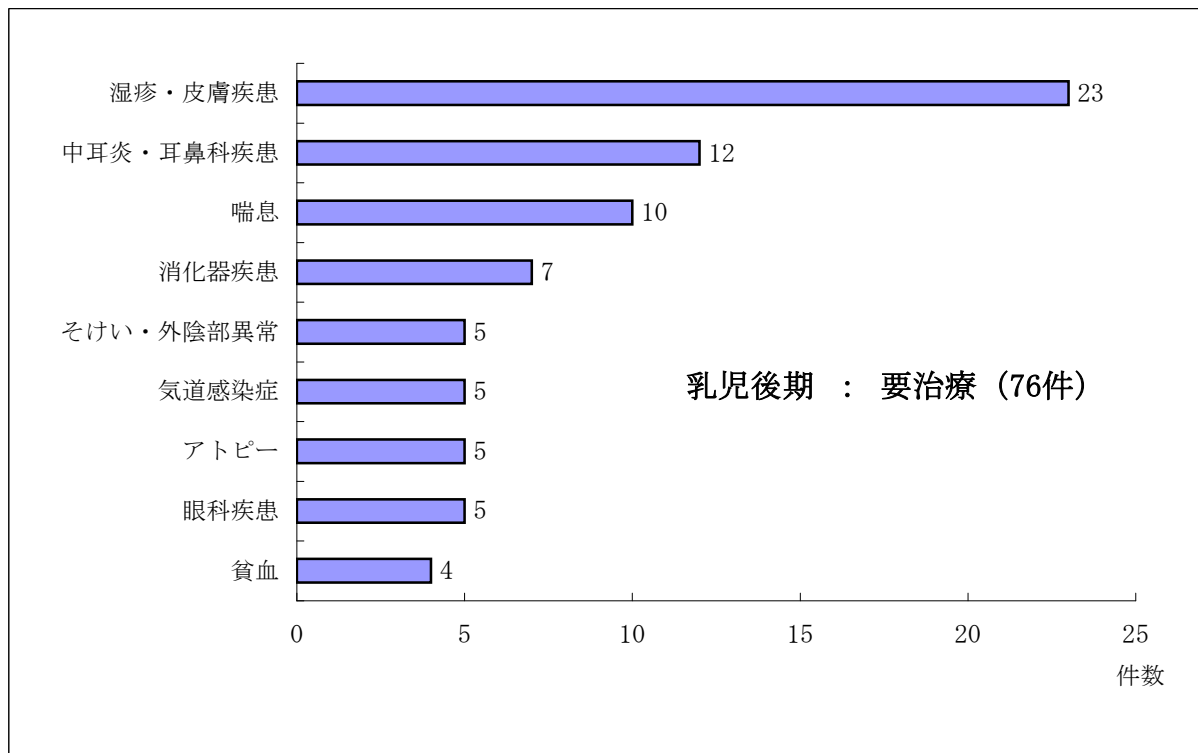
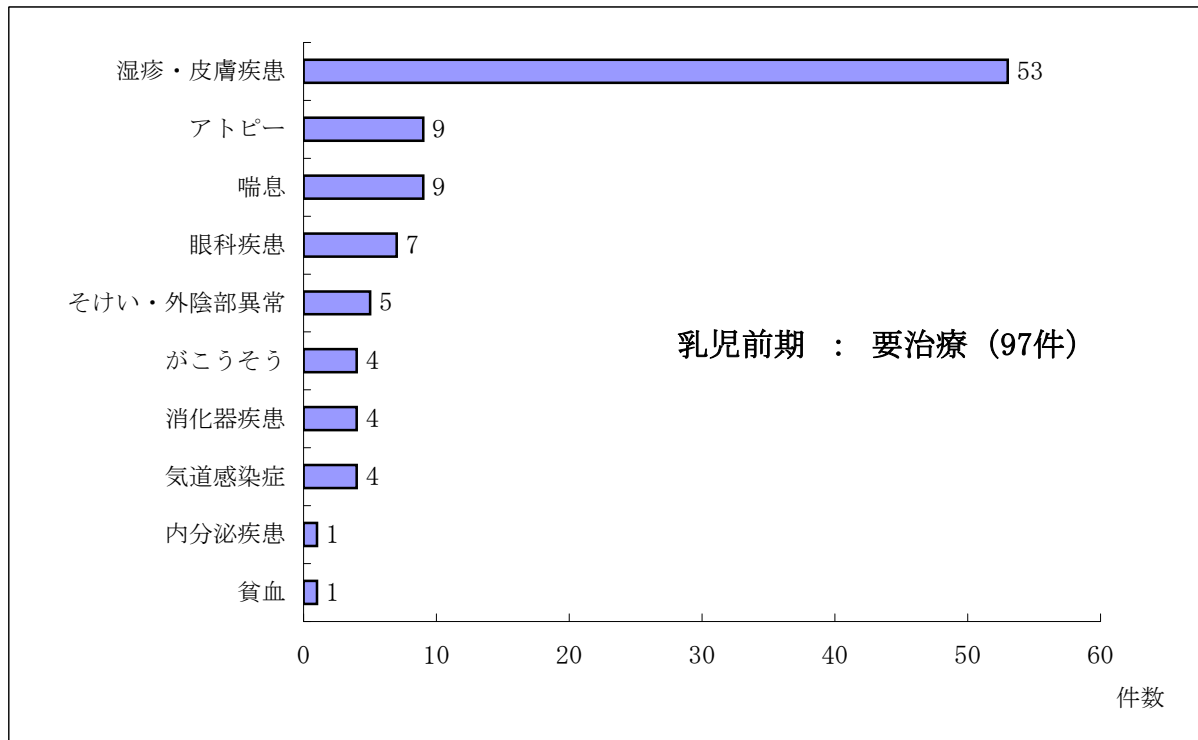


### 9-3 要精密検査について



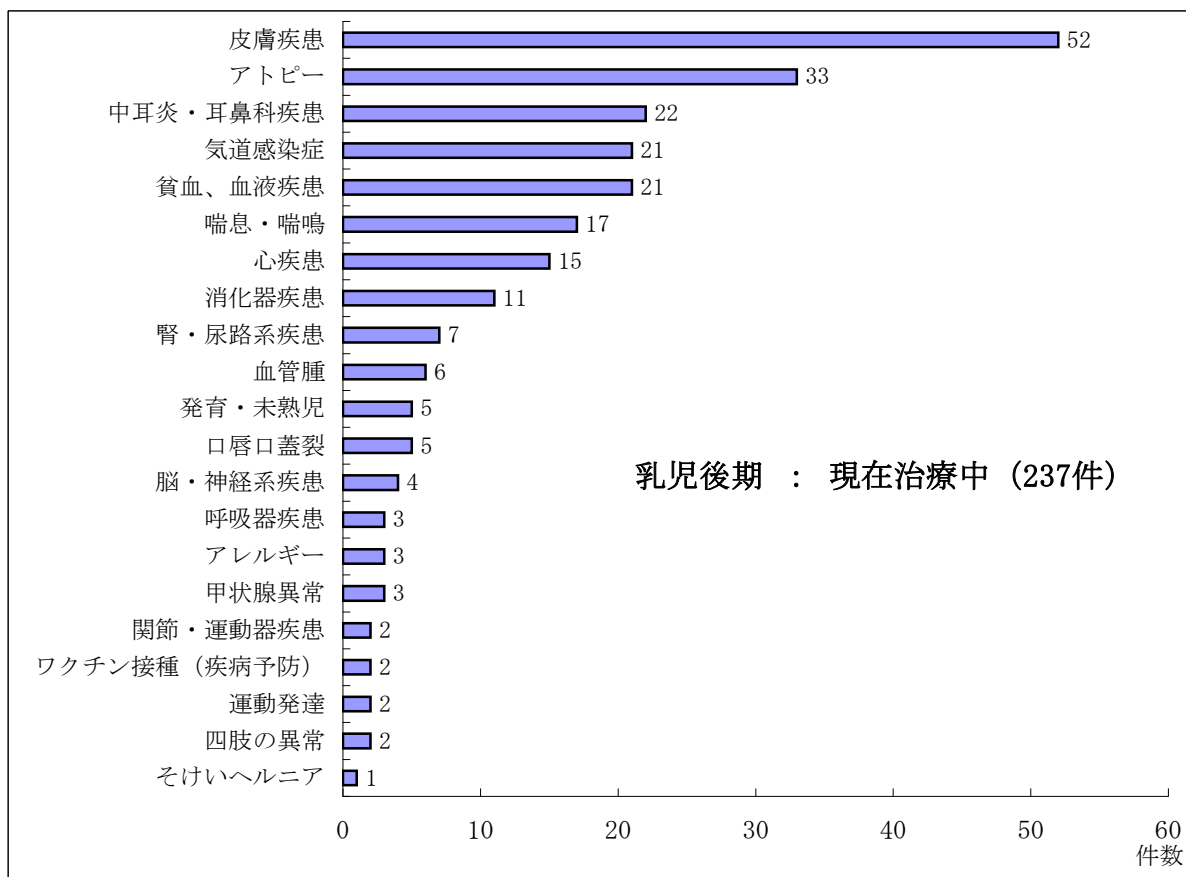
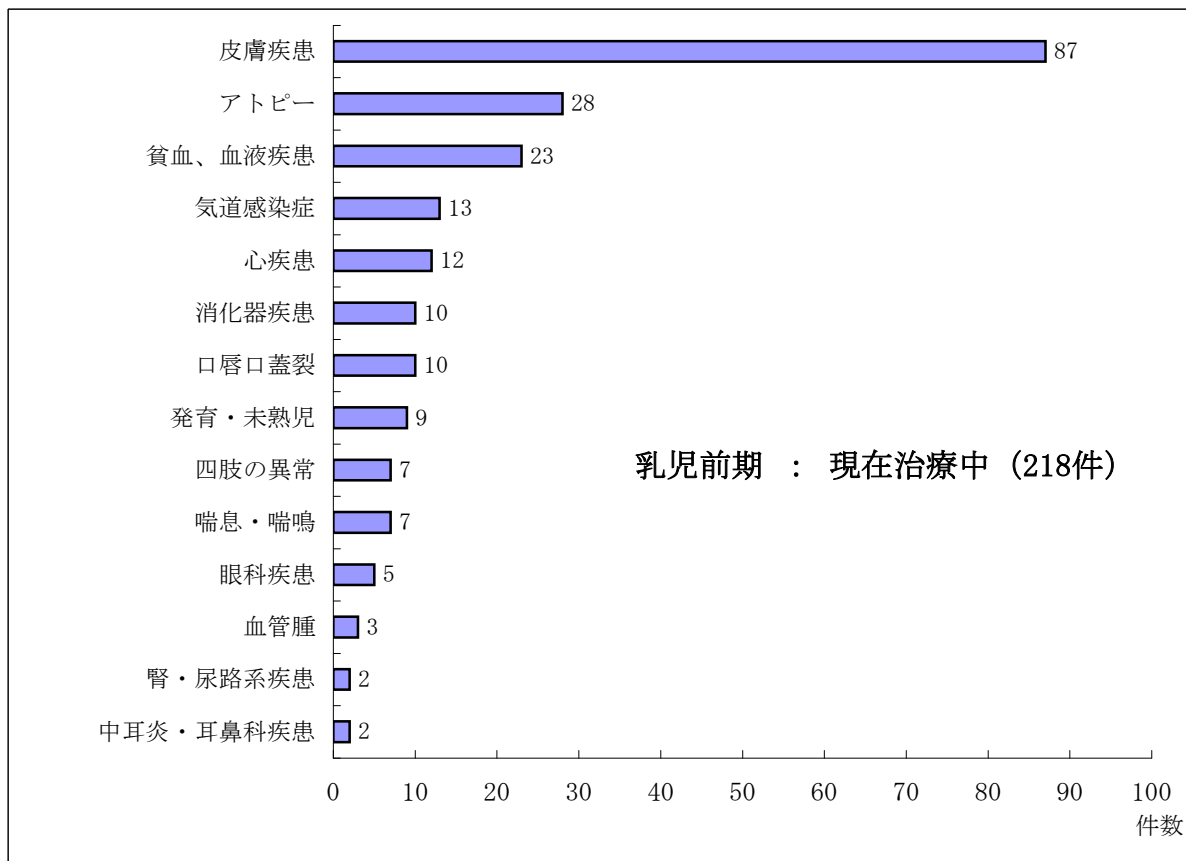
注) その他に含まれる判定内容は、統計資料No. 5を参照

## 9-4 要治療について



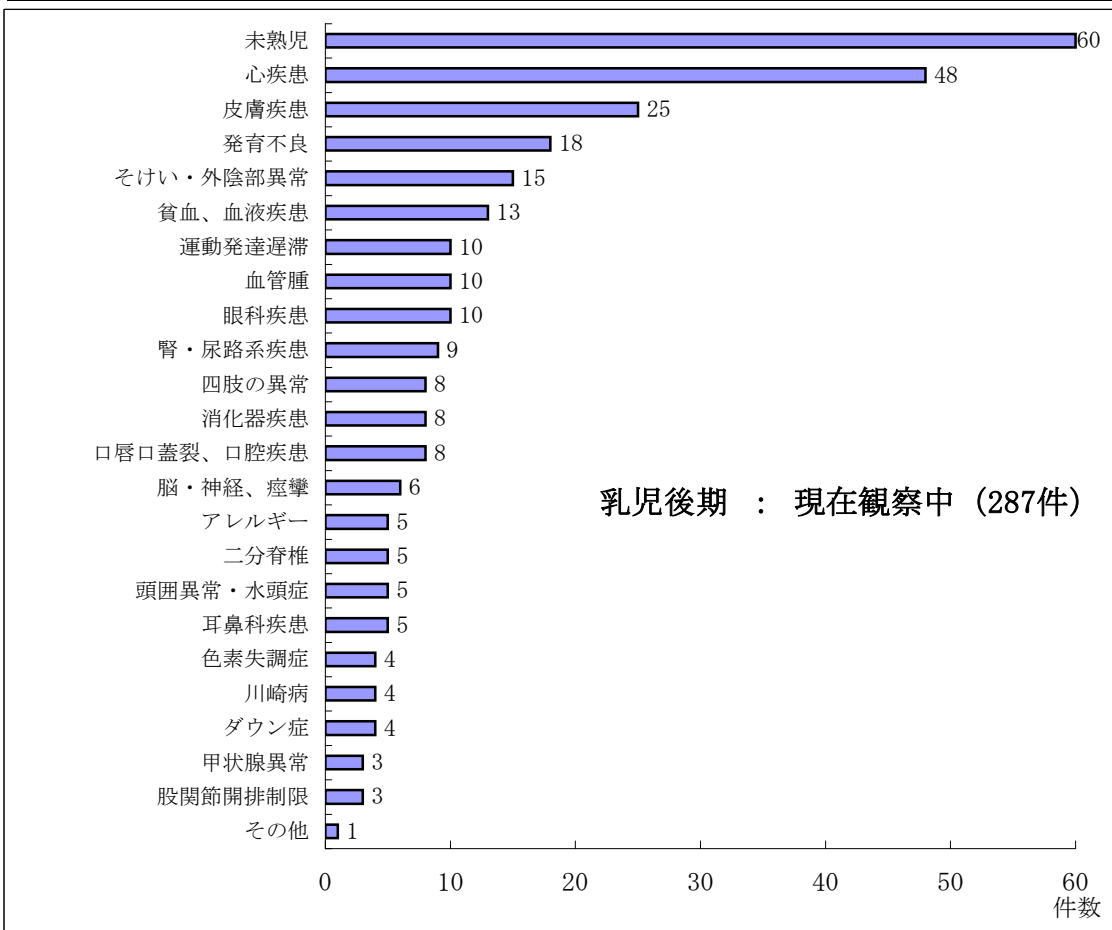
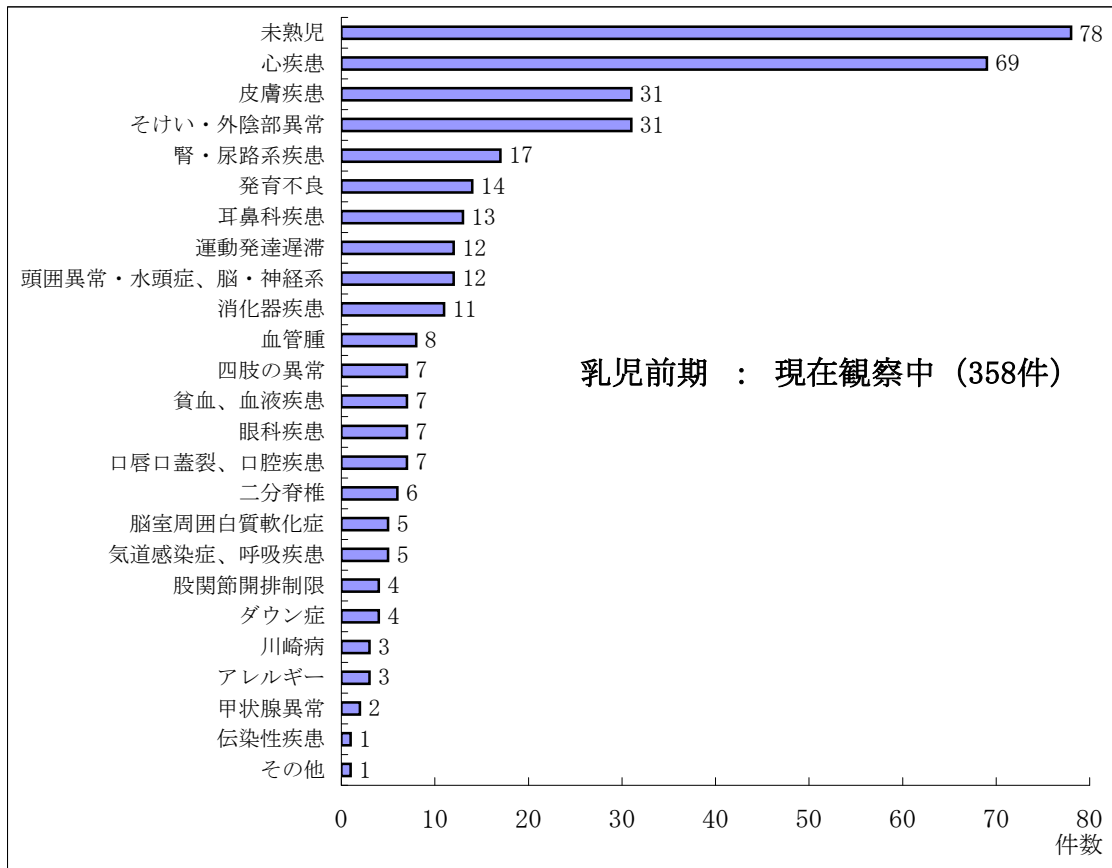
注) その他に含まれる判定内容は、統計資料No. 5を参照

9-5 現在治療中について



注) その他に含まれる判定内容は、統計資料No. 5を参照

## 9-6 現在観察中について



注) その他に含まれる判定内容は、統計資料No. 5を参照

〈 1歳6か月児健康診査の部 〉



# I 一般健診の部

## 1 実施状況

1歳6か月児健康診査を実施した29市町村で、平成20年4月1日から平成21年3月31日までに、4,919人の児が受診した。それに情報処理業務受託12市町村の受診件数、9,191件を加えた14,110件の健康診査結果についてまとめた。

地区	健康診査の受託29市町村	情報処理の受託12市町村
北部	国頭村 大宜味村 東村 今帰仁村 本部町 名護市 伊江村 伊平屋村 伊是名村	
中部	恩納村 宜野座村 うるま市 嘉手納町	金武町 沖縄市 読谷村 北谷町 北中城村 中城村 宜野湾市
那覇南部	久米島町 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 南大東村 北大東村 糸満市 八重瀬町 南城市 与那原町	那覇市 浦添市 西原町 豊見城市 南風原町
宮古	宮古島市 多良間村	
八重山	石垣市 竹富町 与那国町	

(参照) 統計資料No. 15

## 2 受診状況

受診月齢をみると、1歳6か月～1歳8か月児の間に90.8%の児が受診している。

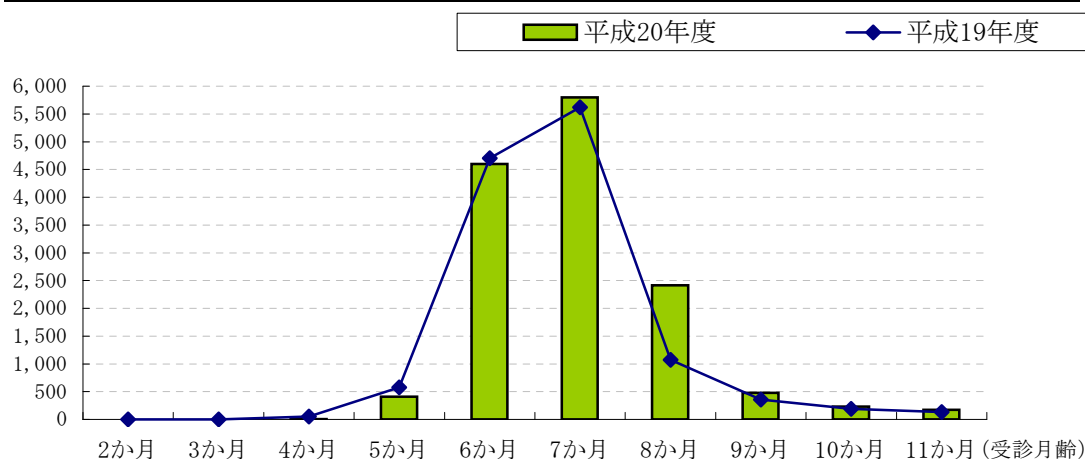
1歳6か月以前に受診した児は3.0%で、これは離島市町村や子どもの少ない町村が、望ましい月齢に健診を設定できなかった理由によるものである。

(参照) 統計資料No. 20 年次資料No. 1、11

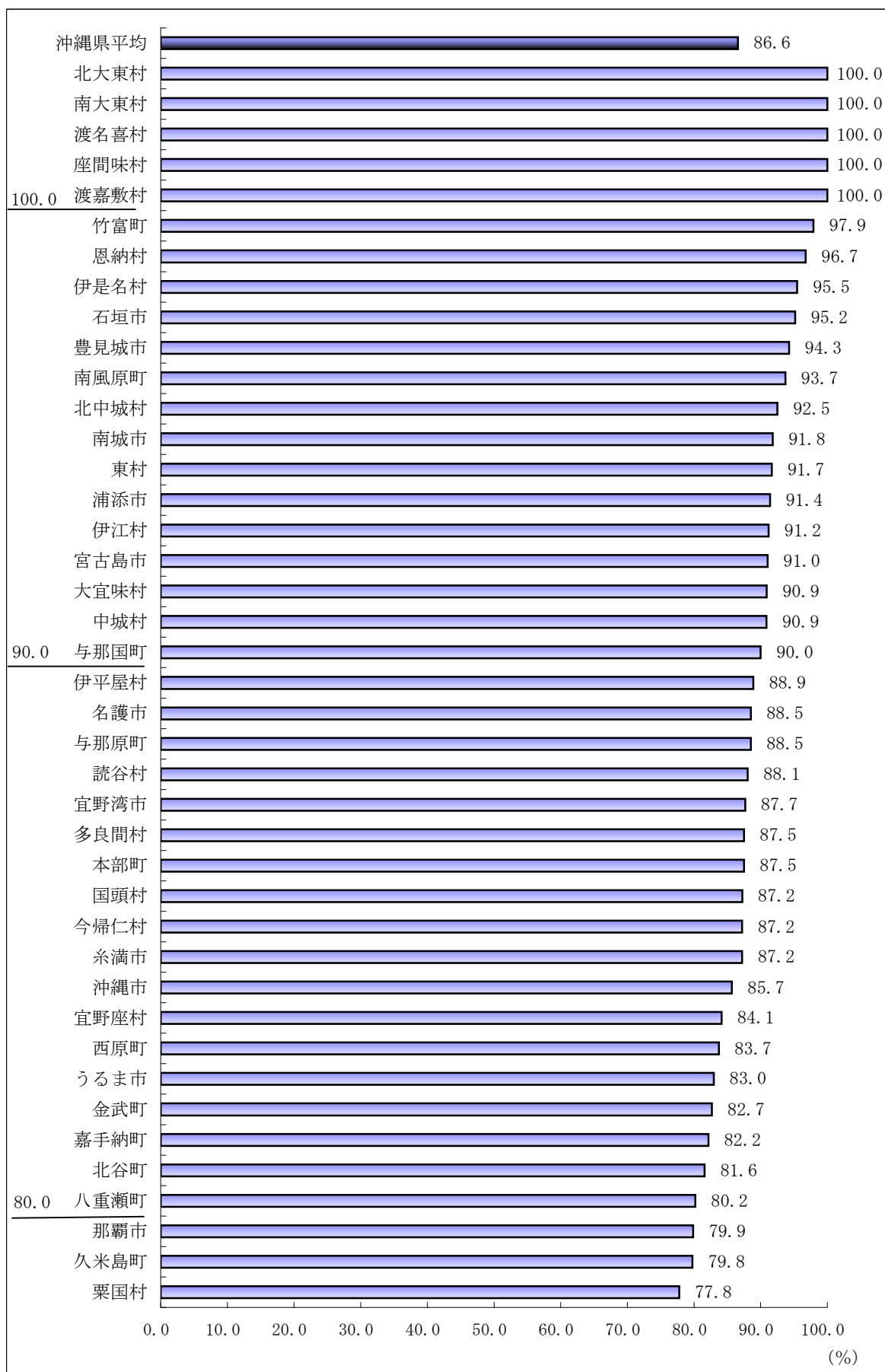
1歳6か月児健康診査受診状況

単位：人

月齢	1歳										
	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	合計
男	-	1	1	216	2,298	3,033	1,272	222	121	82	7,246
女	-	1	3	195	2,304	2,764	1,142	254	110	91	6,864
合計	-	2	4	411	4,602	5,797	2,414	476	231	173	14,110
%	3.0			90.8				6.2			



## 平成20年度 1歳6か月児健康診査受診率



(参照) 統計資料No. 15 年次資料No. 1、11

### 3 健診同伴者

1歳6か月児健康診査における児の同伴者について、母親の同伴は92.7%（H19年度93.1%）で、父親の同伴は14.9%（H19年度14.4%）となっている。

（参照）年次資料No. 15

#### 1歳6か月児の健診同伴者

単位：人

	母親	父親	祖父母	その他	集計対象数	記入もれ	受診総数
件数	12,896	2,069	807	495	13,905	205	14,110
集計対象数にしめる割合（%）	92.7	14.9	5.8	3.6	-	-	-

同伴内訳	母親	父親	祖父母	その他	記入もれ	計
母親	<b>10,592</b>	1,403	490	411		12,896
父親	1,403	<b>620</b>	29	17		2,069
祖父母	490	29	<b>276</b>	12		807
父親、祖父母	8					8
父親、兄弟姉妹	68					68
父親、祖父母、兄弟姉妹	1					1
父親、おじ・おば等	1					1
祖父母、兄弟姉妹	18	1				19
祖父母、おじ・おば	3					3
兄弟姉妹	238	14	3	1		256
兄弟姉妹、親類	5			2		7
おじ・おば等	51	2	6	36		95
親類	3		1	2		6
保育士、施設職員等	1			9		10
友人、知人	11		2			13
その他	3			5		8
記入もれ					205	205
総計	12,896	2,069	807	495	205	16,472

※複数の同伴者あり



## 4 育児環境

### 4-1 保育状況

1歳6か月児における主な保育者について、昼間の保育は保育所等の集団保育が53.4%（H19年度51.8%）、母親が42.4%（H19年度43.7%）となっている。

夜間の保育は母親が96.9%、父親が1.1%、祖父母が0.8%となっている。

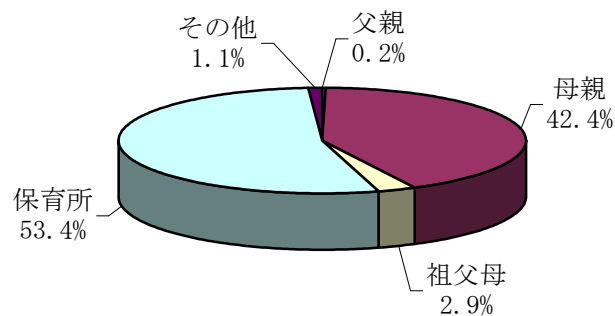
（参照）統計資料No. 24 年次資料No. 16

1歳6か月児の主な保育者

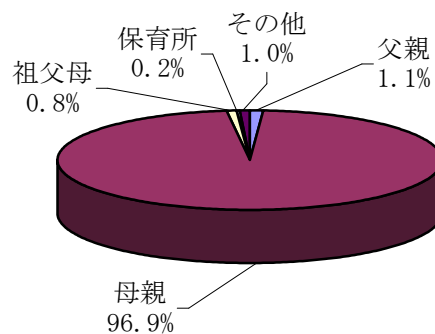
単位：人

	父親	母親	祖父母	保育所	その他	小計	記入もれ	合計
昼間	29	5,977	407	7,521	157	14,091	19	14,110
%	0.2	42.4	2.9	53.4	1.1	100.0	-	-
夜間	149	13,389	109	37	134	13,818	292	14,110
%	1.1	96.9	0.8	0.2	1.0	100.0	-	-

昼間



夜間



## 4-2 両親の喫煙

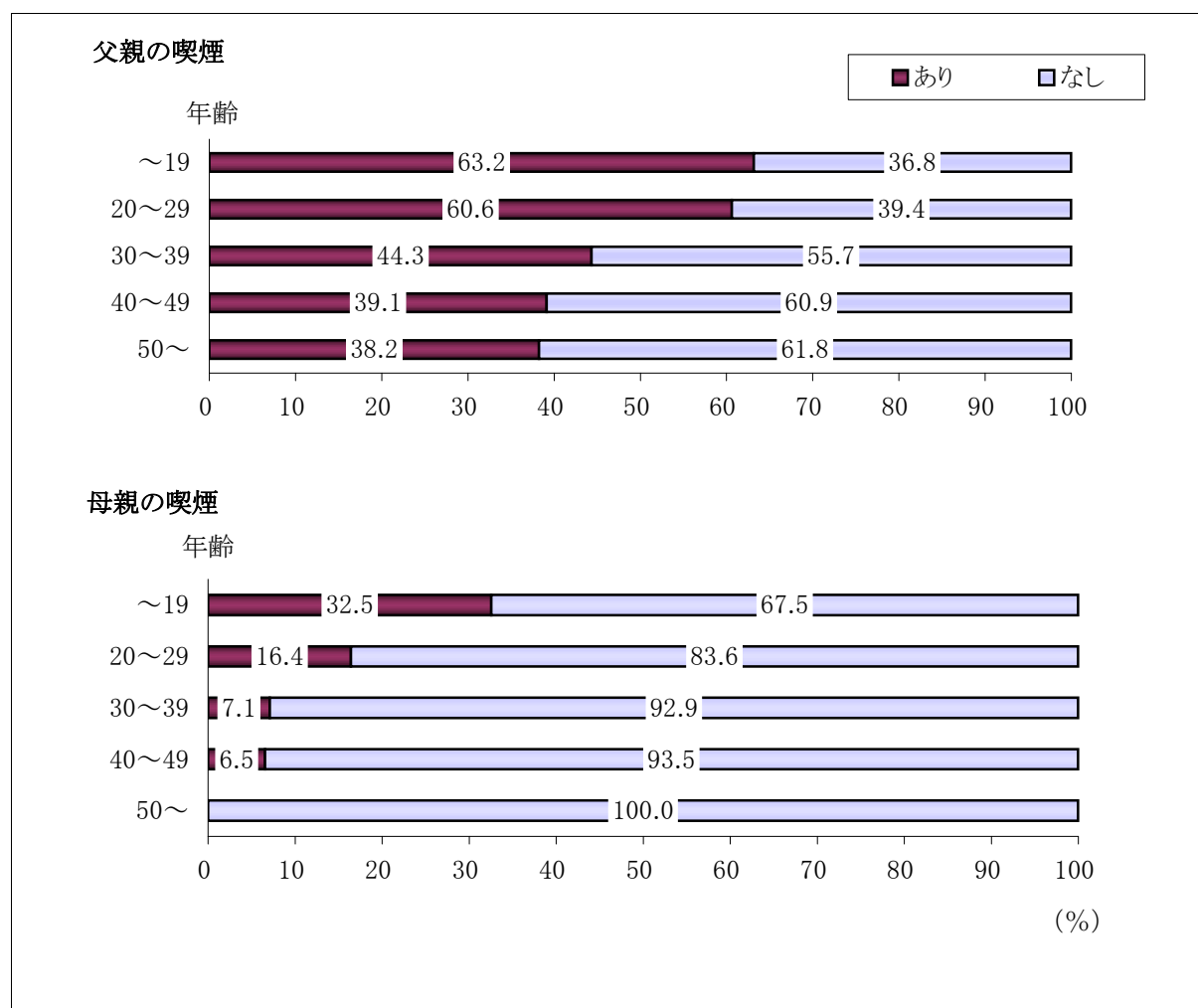
両親の喫煙率を年齢別にみると、父親47.8%（H19年度50.1%）、母親10.4%（H19年度10.8%）と、昨年よりやや減少している。

（参照）統計資料No. 25 年次資料No. 17

1歳6か月児の両親の喫煙

単位：人

年齢	父親の喫煙				母親の喫煙			
	あり	なし	記入もれ	総計	あり	なし	記入もれ	総計
～19	12	7	1	20	27	56	2	85
20～29	2,117	1,376	30	3,523	775	3,944	80	4,799
30～39	3,408	4,280	43	7,731	575	7,551	103	8,229
40～49	740	1,152	15	1,907	58	829	16	903
50～	78	126	4	208	-	3	-	3
小計	6,355	6,941	93	13,389	1,435	12,383	201	14,019
%	47.8	52.2	-	-	10.4	89.6	-	-
記入もれ	29	50	642	721	4	41	46	91
総計	6,384	6,991	735	14,110	1,439	12,424	247	14,110



※ 喫煙率は、記入もれを除いて算出

### 4-3 子育てについて

#### ○育児不安の有無と子育ての楽しさとの関係

育児に不安がないと回答した人は、あると回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が27.9ポイント高くなっている。

(参照) 統計資料No. 26~27 年次資料No. 18

育児に不安	回答者数	子育ては (記入もれ除く)		
		計	楽しい、 楽しい・大変の両方	どちらとも言えない・ 大変
ある	2,981	2,966	1,527	1,439
	%	100.0	51.5	48.5
ある・ない の両方	75	74	61	13
	%	100.0	82.4	17.6
ない	10,764	10,716	8,507	2,209
	%	100.0	79.4	20.6

#### ○育児不安の有無と育児疲れとの関係

育児に不安があると回答した人は、ないと回答した人より育児の疲れの割合が高く、特に精神的疲れの方が高いことがわかる。

育児に不安	回答者数	育児は疲れが多い (記入もれ除く)				
		計	肉体的	肉体的・ 精神的の両方	精神的	いいえ
ある	2,981	2,941	1,105	726	651	459
	%	100.0	37.6	24.7	22.1	15.6
ある・ない の両方	75	72	22	32	6	12
	%	100.0	30.6	44.4	8.3	16.7
ない	10,764	10,632	4,374	694	670	4,894
	%	100.0	41.2	6.5	6.3	46.0

### ○身近な相談者の有無と子育ての楽しさとの関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が27.2ポイント高くなっている。

身近に相談者	回答者数	子育ては (記入もれ除く)		
		計	楽しい、 楽しい・大変の両方	どちらとも言えない・ 大変
いる	13,483	13,417	9,957	3,460
	%	100.0	74.2	25.8
いない	537	532	250	282
	%	100.0	47.0	53.0

※身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

### ○身近な相談者の有無と育児不安との関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育てに不安を感じている割合が23.0ポイント低くなっている。

身近に相談者	回答者数	育児に不安 (記入もれ除く)			
		計	ある	ある・ない の両方	ない
いる	13,483	13,265	2,738	69	10,458
	%	100.0	20.7	0.5	78.8
いない	537	522	228	5	289
	%	100.0	43.7	1.0	55.3

※身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

(参照) 統計資料No. 26~27 年次資料No. 18

## ○育児不安の有無と育児疲れ、子育ての楽しさについて

子育てについて、育児に不安があるかないかを基に、育児の疲れと子育ての楽しさがどうかについて分類した。

育児不安	育児は 疲れが多い	回答数	計	子育ては (記入もれ除く)			
				楽しい	楽しい・ 大変の両方	どちらとも いえない	大変
ある	肉体的	1,105	1,103	469	174	201	259
	肉体的・ 精神的の両方	726	720	91	199	153	277
	精神的	651	647	148	88	155	256
	いいえ	459	456	295	42	80	39
	記入もれ	40	40	12	9	13	6
	小計	2,981	2,966	1,015	512	602	837
	%	21.1	100.0	34.2	17.3	20.3	28.2
ある・ ない両方	肉体的	22	22	7	12	2	1
	肉体的・ 精神的の両方	32	32	5	22	2	3
	精神的	6	6	1	1	2	2
	いいえ	12	12	9	2	1	-
	記入もれ	3	2	-	2	-	-
	小計	75	74	22	39	7	6
	%	0.5	100.0	29.7	52.7	9.5	8.1
ない	肉体的	4,374	4,354	2,774	487	450	643
	肉体的・ 精神的の両方	694	687	182	193	128	184
	精神的	670	668	275	58	157	178
	いいえ	4,894	4,880	4,235	199	303	143
	記入もれ	132	127	85	19	13	10
	小計	10,764	10,716	7,551	956	1,051	1,158
	%	76.3	100.0	70.5	8.9	9.8	10.8
記入もれ	肉体的	100	98	37	27	11	23
	肉体的・ 精神的の両方	46	46	6	10	8	22
	精神的	23	23	7	1	6	9
	いいえ	33	31	20	3	6	2
	記入もれ	88	48	25	6	13	4
	小計	290	246	95	47	44	60
	%	2.1	100.0	38.6	19.1	17.9	24.4
合計		14,110	14,002	8,683	1,554	1,704	2,061
%		100.0	100.0	62.0	11.1	12.2	14.7

(参照) 統計資料No. 26~27

## ○身近な相談者の有無と子育て支援センターの認知、 子育ての楽しさについて

子育てについて、身近に相談者がいるかいないかを基に、子育て支援センターの認知と、子育ては楽しいかについて分類した。

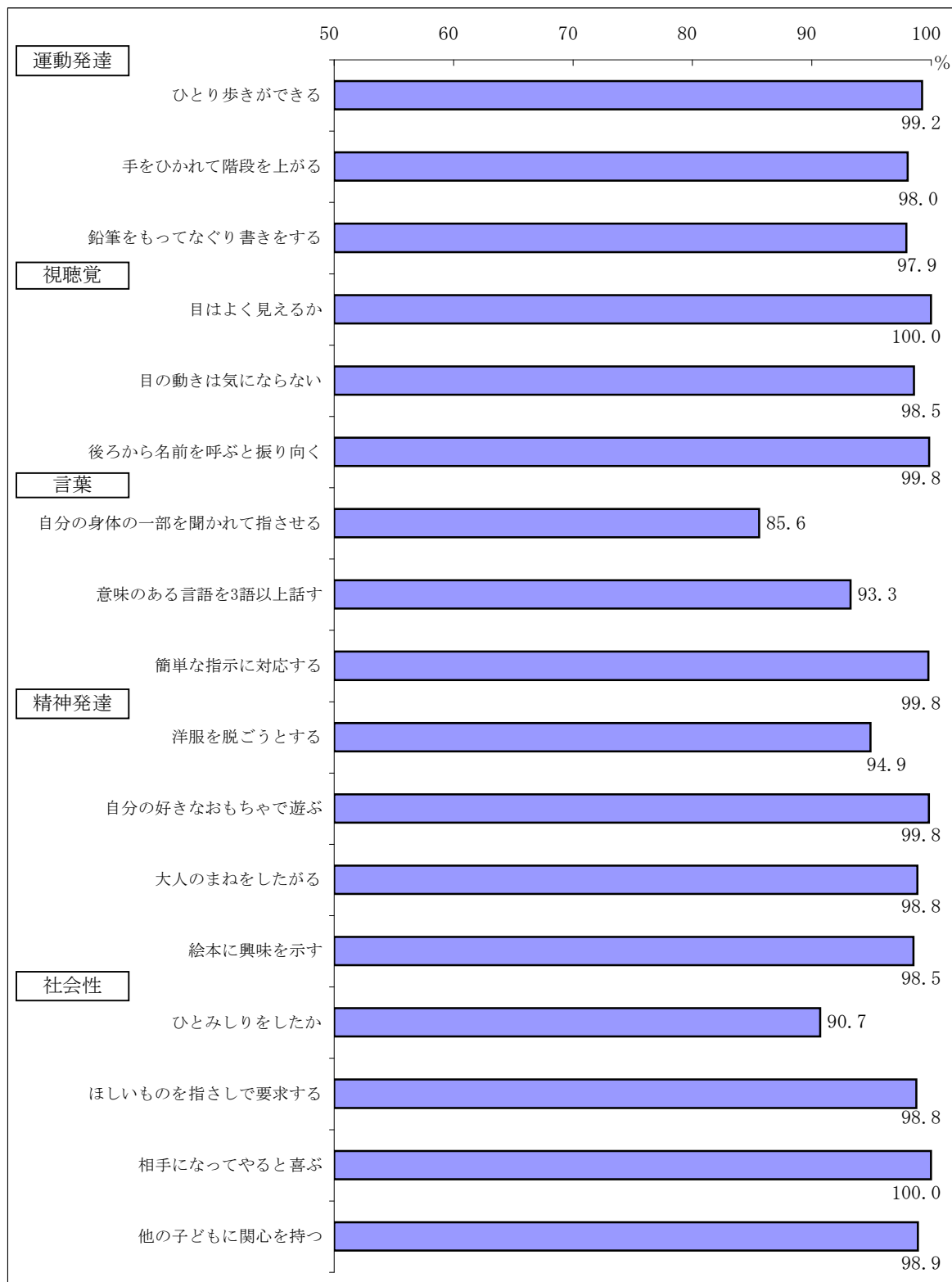
身近に 相談者	子育て 支援センター を知っている	回答数	計	子育ては (記入もれ除く)			
				楽しい	楽しい・ 大変の両方	どちらとも いえない	大変
いる	はい	12,263	12,203	7,787	1,340	1,419	1,657
	いいえ	1,135	1,130	642	140	139	209
	記入もれ	85	84	37	11	16	20
	小計	13,483	13,417	8,466	1,491	1,574	1,886
	%	95.6	100.0	63.1	11.1	11.7	14.1
いない	はい	431	427	161	47	94	125
	いいえ	103	102	33	9	24	36
	記入もれ	3	3	-	-	1	2
	小計	537	532	194	56	119	163
	%	3.8	100.0	36.5	10.5	22.4	30.6
記入もれ	はい	26	24	6	5	6	7
	いいえ	7	7	1	1	4	1
	記入もれ	57	22	16	1	1	4
	小計	90	53	23	7	11	12
	%	0.6	100.0	43.4	13.2	20.8	22.6
合計		14,110	14,002	8,683	1,554	1,704	2,061
%		100.0	100.0	62.0	11.1	12.2	14.7

※身近に相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

(参照) 統計資料No. 26~27

## 5 運動・発達について

下の図は、1歳6か月児の運動・発達の通過率である。対象は、健康診査受診時の月齢が1歳6か月児と7か月児(受診総数の73.7%)とし、発達に関する問診に対し、回答が「はい」の割合である。  
(参照) 統計資料No. 28～34



## 6 生活習慣について

1歳6か月児健康診査受診時（14,110人）の生活習慣について集計した。

（参照）統計資料No. 35～38 年次資料No. 37

単位：人						
食事やおやつの 時間は規則正しい (%)	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計	
	10,591	3,364	13,955	155	14,110	
	75.9	24.1	100.0	-	-	

単位：人						
食欲は (%)	ある	普通	少ない	小計	記入もれ	総計
	10,217	3,086	706	14,009	101	14,110
	72.9	22.0	5.1	100.0	-	-

単位：人					
食事は (%)	楽しそう	いやいや 食べる	小計	記入もれ	総計
	13,217	553	13,770	340	14,110
	96.0	4.0	100.0	-	-

* 2項目選択 単位：人						
よく飲んでいる 飲みもの (%)	牛乳・ミルク	ジュース類	イオン飲料	その他	回答者数	総計
	8,951	3,607	1,141	7,517	13,983	14,110
	64.0	25.8	8.2	53.8	-	-

単位：人					
ミルクを 飲んでいる (%)	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	6,475	7,452	13,927	183	14,110
	46.5	53.5	100.0	-	-

単位：人					
哺乳びん (%)	使用する	使用しない	小計	記入もれ	総計
	4,907	9,122	14,029	81	14,110
	35.0	65.0	100.0	-	-

単位：人					
水をコップで 飲める (%)	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	13,726	341	14,067	43	14,110
	97.6	2.4	100.0	-	-

単位：人					
さじを使って 食事ができる (%)	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	12,455	1,460	13,915	195	14,110
	89.5	10.5	100.0	-	-

単位：人						
歯みがきを している (%)	毎日	時々	してない	小計	記入もれ	総計
	9,097	4,651	294	14,042	68	14,110
	64.8	33.1	2.1	100.0	-	-

単位：人					
チャイルドシート を使用している (%)	はい	いいえ	小計	記入もれ	総計
	13,341	690	14,031	79	14,110
	95.1	4.9	100.0	-	-



## 7 予防接種の状況

### BCGの接種状況（1歳6か月児）

	人数	割合（%）
接種	13,863	98.3
未接種	212	1.5
記入もれ	35	0.2
計	14,110	100.0

### ポリオの接種状況（1歳6か月児）

	人数	割合（%）
2回接種	9,034	64.0
1回接種	4,025	28.5
未接種	915	6.5
記入もれ	136	1.0
計	14,110	100.0

### DPT1期の接種状況（1歳6か月児）

	人数	割合（%）	追加接種	
			人数	割合（%）
3回接種	11,762	83.4	1,030	8.8
2回接種	903	6.4	10	1.1
1回接種	672	4.8		
未接種	612	4.3		
記入もれ	161	1.1		
計	14,110	100.0	1,040	-

注) 追加接種

3回終了の追加は第1期3回終了後、6か月以上の間隔をおいて実施

2回終了の追加は第1期2回終了後、3回目を接種せずに実施

(参照) 統計資料No. 39~40

麻疹の接種状況（1歳6か月児）

	人数	割合（%）
接種	12,822	90.9
未接種	1,137	8.1
罹患	2	0.0
接種と罹患	4	0.0
記入もれ	145	1.0
計	14,110	100.0

風疹の接種状況（1歳6か月児）

	人数	割合（%）
接種	12,377	87.7
未接種	1,371	9.7
罹患	13	0.1
接種と罹患	10	0.1
記入もれ	339	2.4
計	14,110	100.0

（参照）統計資料No. 41 年次資料No. 19～20

## 8 健診結果の内訳

平成20年度の1歳6か月児健康診査の受診児は14,110人で、うち問題なし児10,273人、問題等あり児が3,837人となっている。検査結果問題のある児1,143件、診察有所見児2,688件で、延べ3,831件となっている。問題等について分類したものを以下に表す。

(参照) 統計資料No. 15

### (検査及び診察所見内訳)

合計	(1) 検査結果の異常	(2) 診察有所見 (延べ)
3,831	1,143	2,688

\*うち実人員 3,837人

### (1) 検査結果の異常

小計	尿検査	貧血検査	*尿蛋白、尿潜血の項目で+以上、 尿糖の項目で±以上の実人員
1,143	134	1,009	

### (2) 有所見 (延べ件数) (有所見内訳)

小計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔
2,688	684	558	92	46

### (有所見内訳)

眼	耳鼻咽喉	胸部	腹部
95	165	308	40

### (有所見内訳)

そけい外陰部	背部	四肢	神経・運動
103	11	60	70

### (有所見内訳)

精神発達	その他
456	-

## 8-1 検査結果の内訳

### ①尿検査結果

尿検査結果の異常（蛋白・潜血は+以上、糖は±以上）は、合計で147件となるが、実人員は134人である。

受診児の約32.1%が未検査となっている。

尿蛋白	人数	割合 (%)
—	9,338	66.2
±	185	1.3
+以上	52	0.4
未検査	4,535	32.1
合計	14,110	100.0

尿潜血	人数	割合 (%)
—	9,264	65.7
±	225	1.6
+以上	87	0.6
未検査	4,534	32.1
合計	14,110	100.0

尿糖	人数	割合 (%)
—	9,565	67.8
±	5	0.0
+以上	3	0.0
未検査	4,537	32.2
合計	14,110	100.0

## ②貧血検査結果

貧血検査においては、要精査は117人、栄養助言の必要な児892人、計1,009人がフォローされている。未検査は2,686人となっている。

(参照) 統計資料No. 18～19

	要精査 9.9g/dl以下	栄養助言 10.0～10.9g/dl	正常 11.0g/dl以上	未検査	計
男	64	452	5,354	1,376	7,246
女	53	440	5,061	1,310	6,864
計	117	892	10,415	2,686	14,110
%	0.8	6.3	73.8	19.1	100.0

## 8-2 診察による有所見（診察所見について）

### 有所見の内訳

受診総数14,110人、うち問題なしが10,273人、異常等あり児が3,837件となっている。異常等ありのなかで診察有所見は2,688件である。

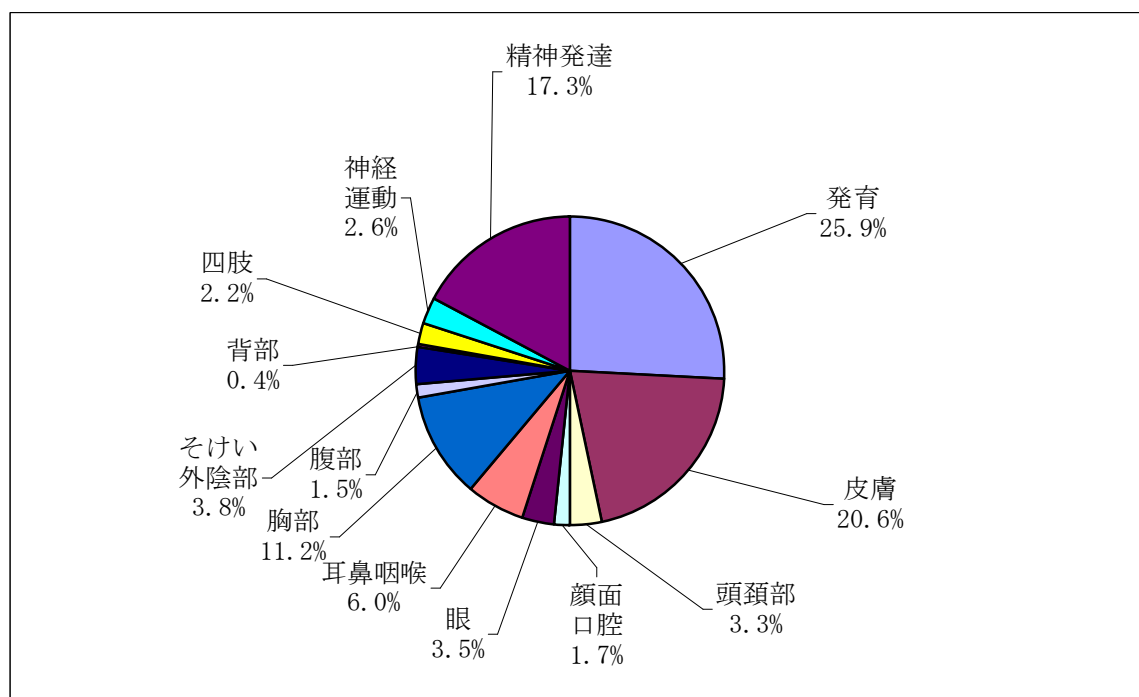
診察所見は複数の記入がある場合、同部位内においては件数にカウントされないが、再分類件数は部位別・部位内の複数記入も含め分類したものである。

単位：件

	合計	発育	皮膚	頭頸部	顔面 口腔	眼	耳鼻咽喉
件数	2,688	684	558	92	46	95	165
再分類件数	2,773	719	572	92	46	96	167
%	100.0	25.9	20.6	3.3	1.7	3.5	6.0

	胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	神経 運動	精神発達
件数	308	40	103	11	60	70	456
再分類件数	310	41	104	11	61	73	481
%	11.2	1.5	3.8	0.4	2.2	2.6	17.3

注) 部位内複数記入も含め分類



(参照) 統計資料No. 15

①<発育> 単位：件

合計 (%)	低身長	やせ	肥満	その他
719	537	123	56	3
100.0	74.7	17.1	7.8	0.4

②<皮膚> 単位：件

合計 (%)	湿疹	アトピー性皮膚炎	皮膚炎	血管腫	母斑	伝染性軟属腫	伝染性膿痂疹	その他
572	219	134	45	27	32	40	18	57
100.0	38.3	23.4	7.9	4.7	5.6	7.0	3.1	10.0

③<頭頸部> 単位：件

合計 (%)	大頭	小頭	大泉門開大	リンパ節腫大	その他
92	29	10	30	19	4
100.0	31.5	10.9	32.6	20.7	4.3

④<顔面・口腔> 単位：件

合計 (%)	舌小帯短縮症	特徴ある顔貌	口唇・口蓋裂	その他
46	6	7	11	22
100.0	13.1	15.2	23.9	47.8

⑤<眼> 単位：件

合計 (%)	斜視	視力の異常	眼瞼下垂	アレルギー性結膜炎	その他
96	58	5	12	5	16
100.0	60.4	5.2	12.5	5.2	16.7

⑥<耳鼻咽喉> 単位：件

合計 (%)	外耳の異常	聴力障害	中耳炎	その他
167	13	11	128	15
100.0	7.8	6.6	76.6	9.0

⑦<胸部> 単位：件

合計 (%)	心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他
310	97	138	23	46	6
100.0	31.3	44.5	7.4	14.9	1.9

⑧<腹部> 単位：件

合計 (%)	肝腫	脾腫	腫瘤	臍ヘルニア	その他
41	1	2	1	28	9
100.0	2.4	4.9	2.4	68.3	22.0

⑨<そけい外陰部> 単位：件

合計 (%)	そけいヘルニア	停留睾丸	尿道下裂	女児の外陰部異常	陰のう水腫	その他
104	11	47	3	2	15	26
100.0	10.6	45.2	2.9	1.9	14.4	25.0

⑩<背部> 単位：件

合計 (%)	脊柱側弯	その他
11	1	10
100.0	9.1	90.9

⑪<四肢> 単位：件

合計 (%)	O脚	X脚	手足の異常	指趾の異常	内反足	外反足	その他
61	26	4	6	7	7	2	9
100.0	42.6	6.6	9.8	11.5	11.5	3.3	14.7

⑫<神経・運動> 単位：件

合計 (%)	歩行の異常	巧緻動作の異常	麻痺	その他
73	62	2	5	4
100.0	84.9	2.7	6.9	5.5

⑬<精神発達> 単位：件

合計 (%)	言葉	知能	多動	自閉傾向	その他
481	424	15	15	8	19
100.0	88.1	3.1	3.1	1.7	4.0



## 9 総合判定（ICD-10分類）

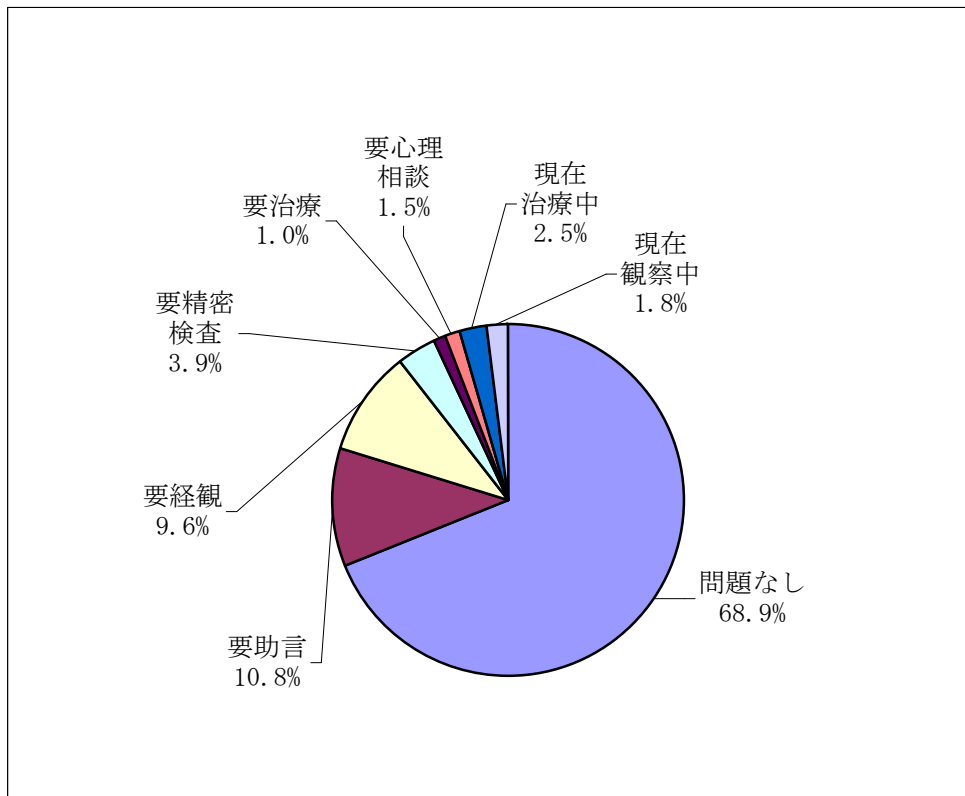
受診総数14,110人、うち問題なし児が10,273人、判定結果問題ありの児が3,837人となっている。

判定延べ件数は、問題なし10,273件と、何らかの判定ありの4,312件とで、14,585件となっている。

延べ件数内訳は複数記入がある場合、同項目内においては件数にカウントされていない。

項目内の複数記入のすべてを含め再度判定結果を分類した。

合計		問題なし	判定結果							小計	
			要助言	要経観	要精密検査	要治療	要心理相談	現在治療中	現在観察中		
受診者数	14,110	10,273	1,193	1,246	533	124	169	340	232	3,837	
%	100.0	72.8	8.5	8.8	3.8	0.9	1.2	2.4	1.6		
判定	延べ件数	14,585	10,273	1,514	1,338	533	133	194	355	245	4,312
	再分類件数	14,902	10,273	1,601	1,437	575	142	222	380	272	4,629
	%	100.0	68.9	10.8	9.6	3.9	1.0	1.5	2.5	1.8	

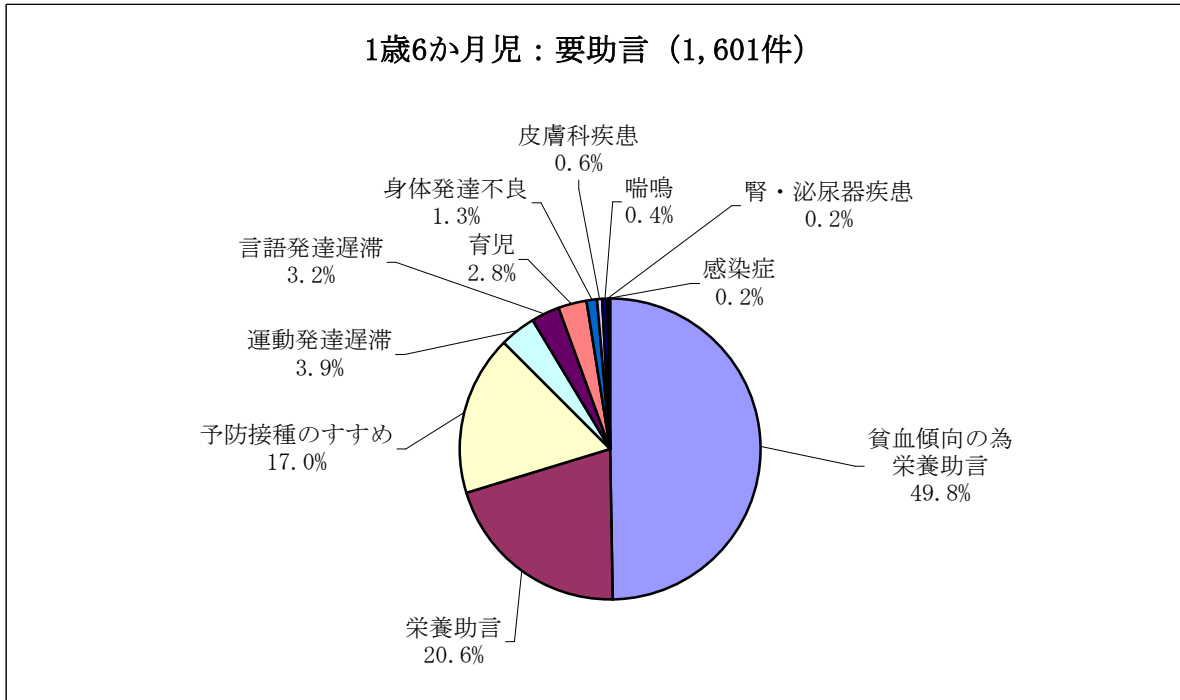


(参照) 統計資料No. 15～16

(参照) 年次資料No. 12

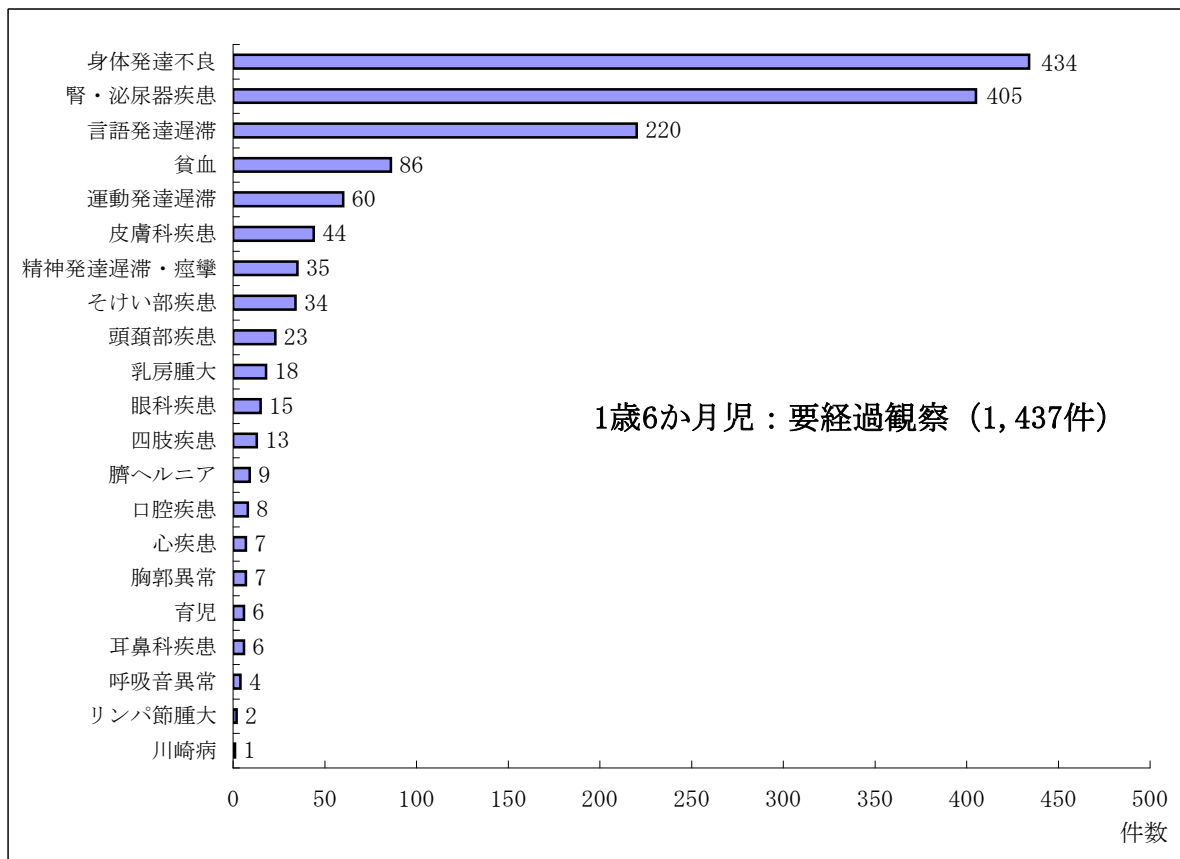
## 9-1 要助言について

貧血傾向の為栄養助言が必要な児が49.8%（H19年度46.0%）、栄養助言20.6%（H19年度18.5%）となっている。

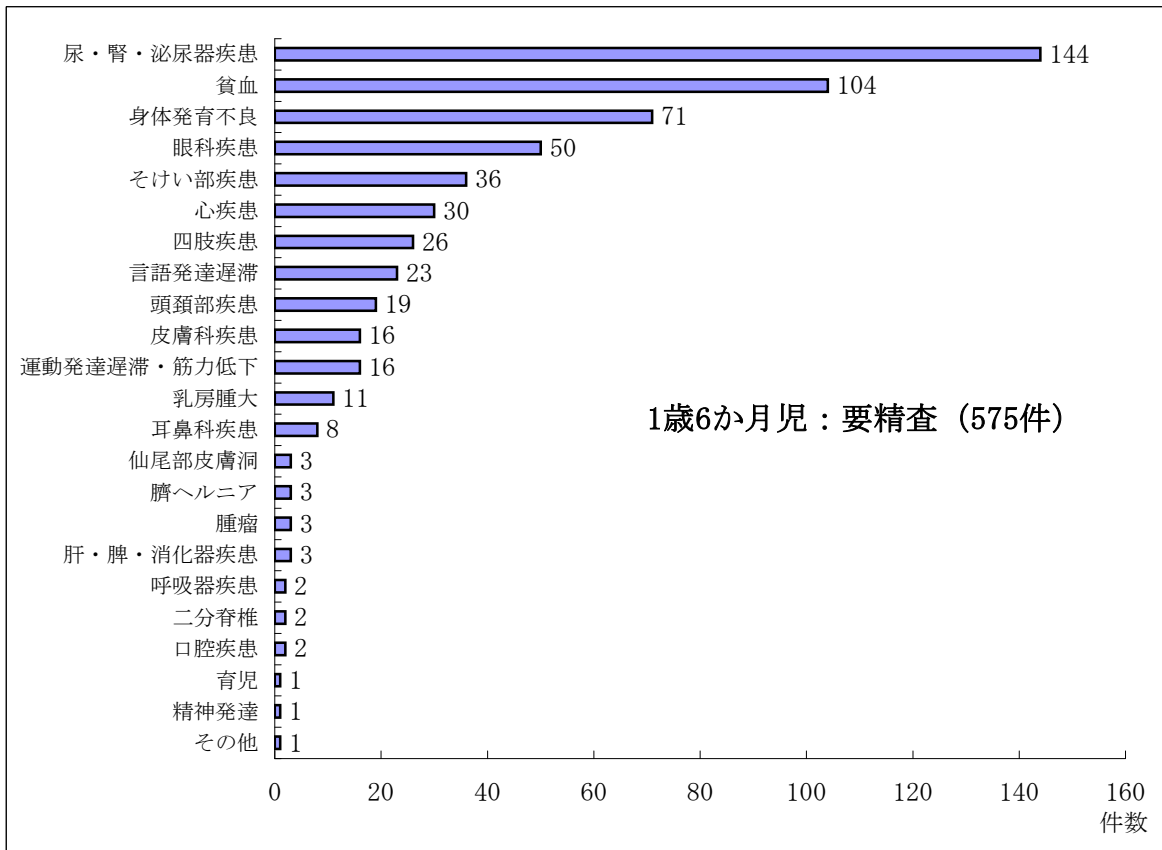


一歳六か月児診察結果

## 9-2 要経過観察について

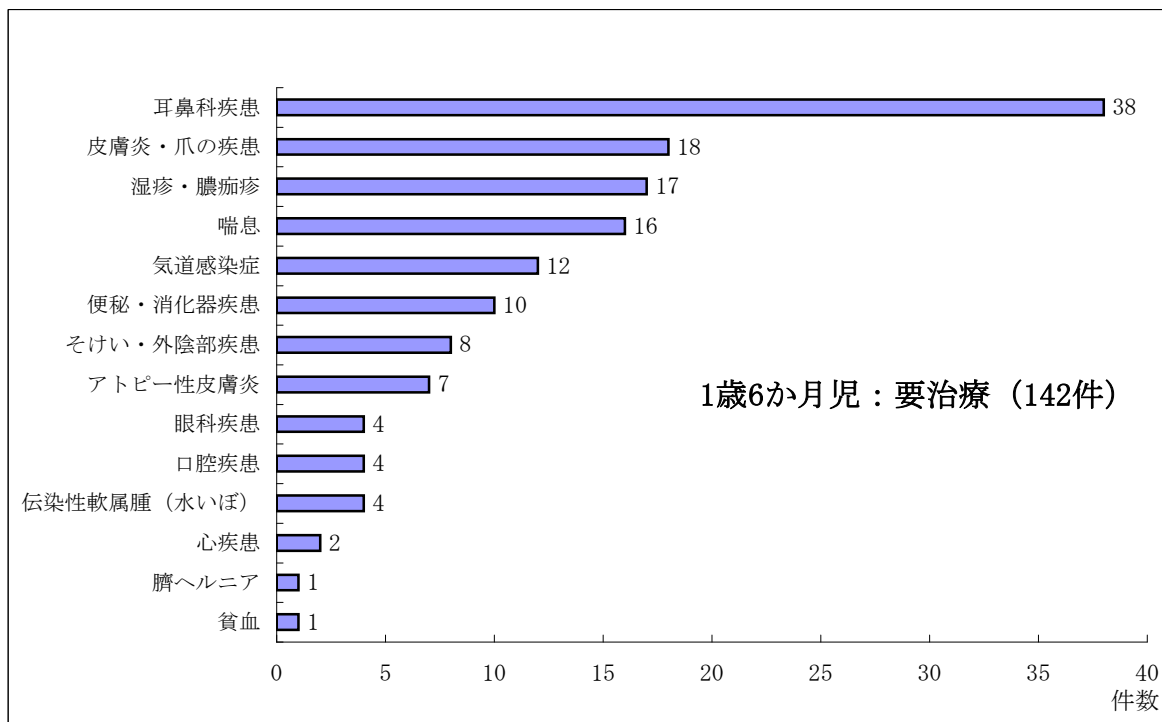


### 9-3 要精密検査について

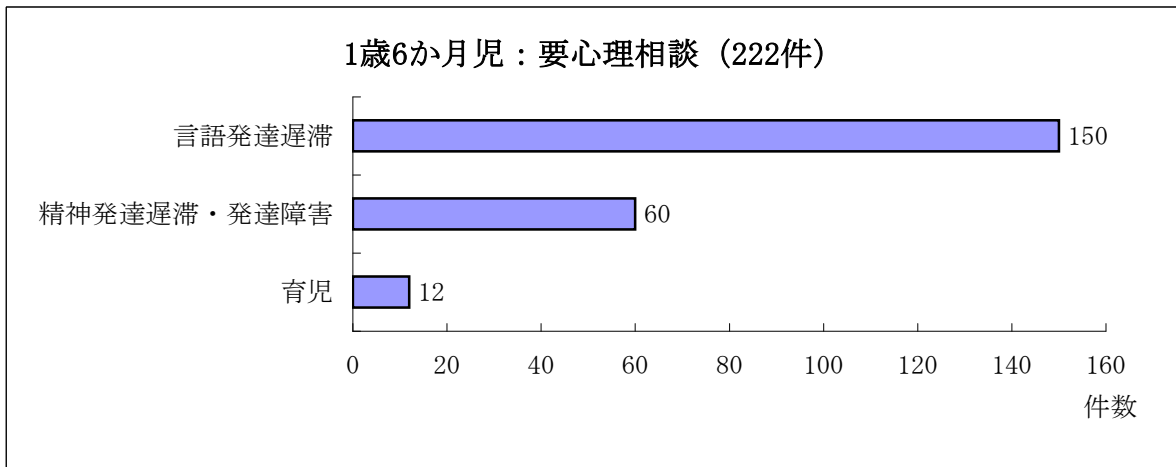


注) その他に含まれる判定内容は、統計資料No. 17を参照

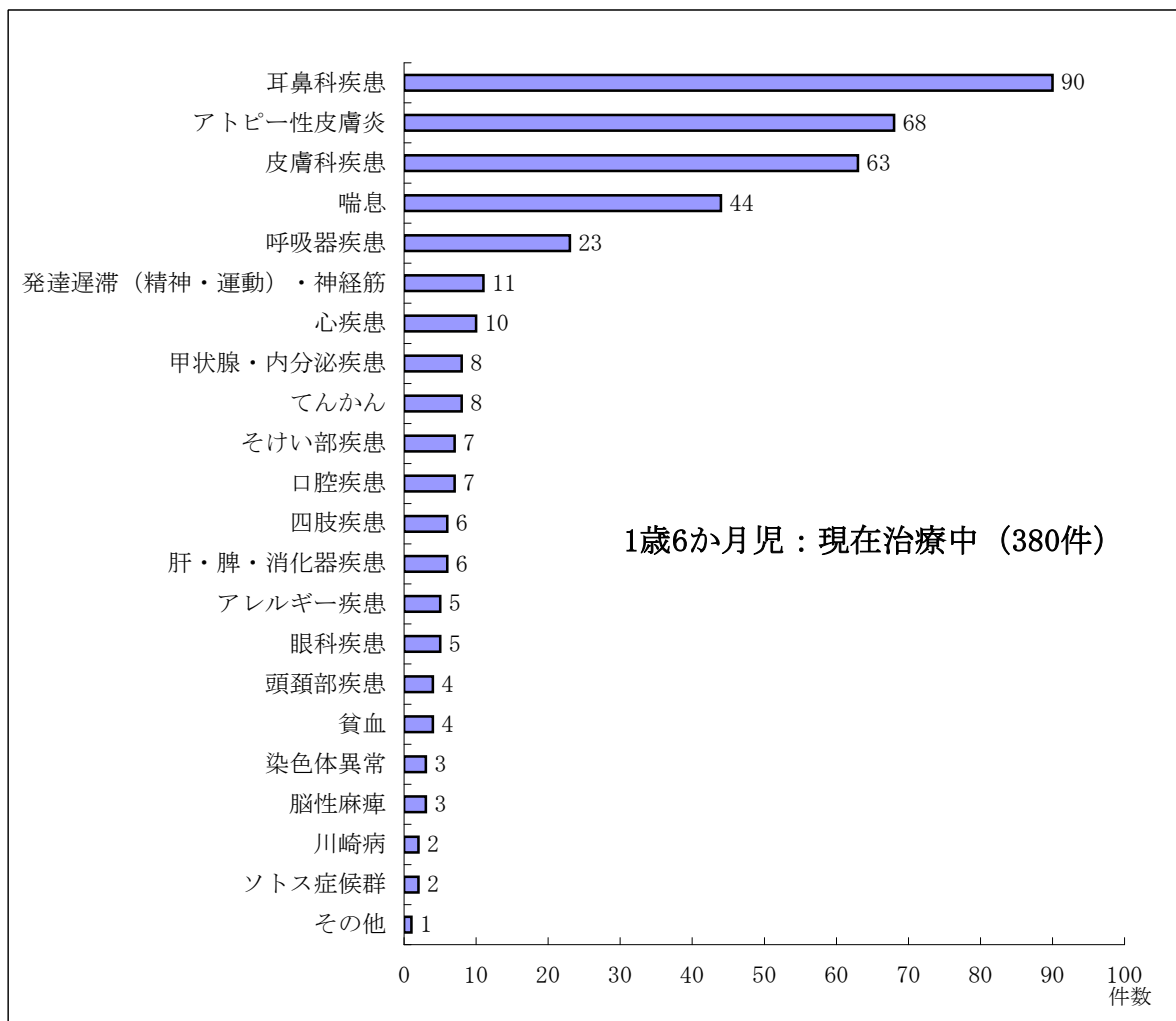
### 9-4 要治療について



## 9-5 要心理相談について

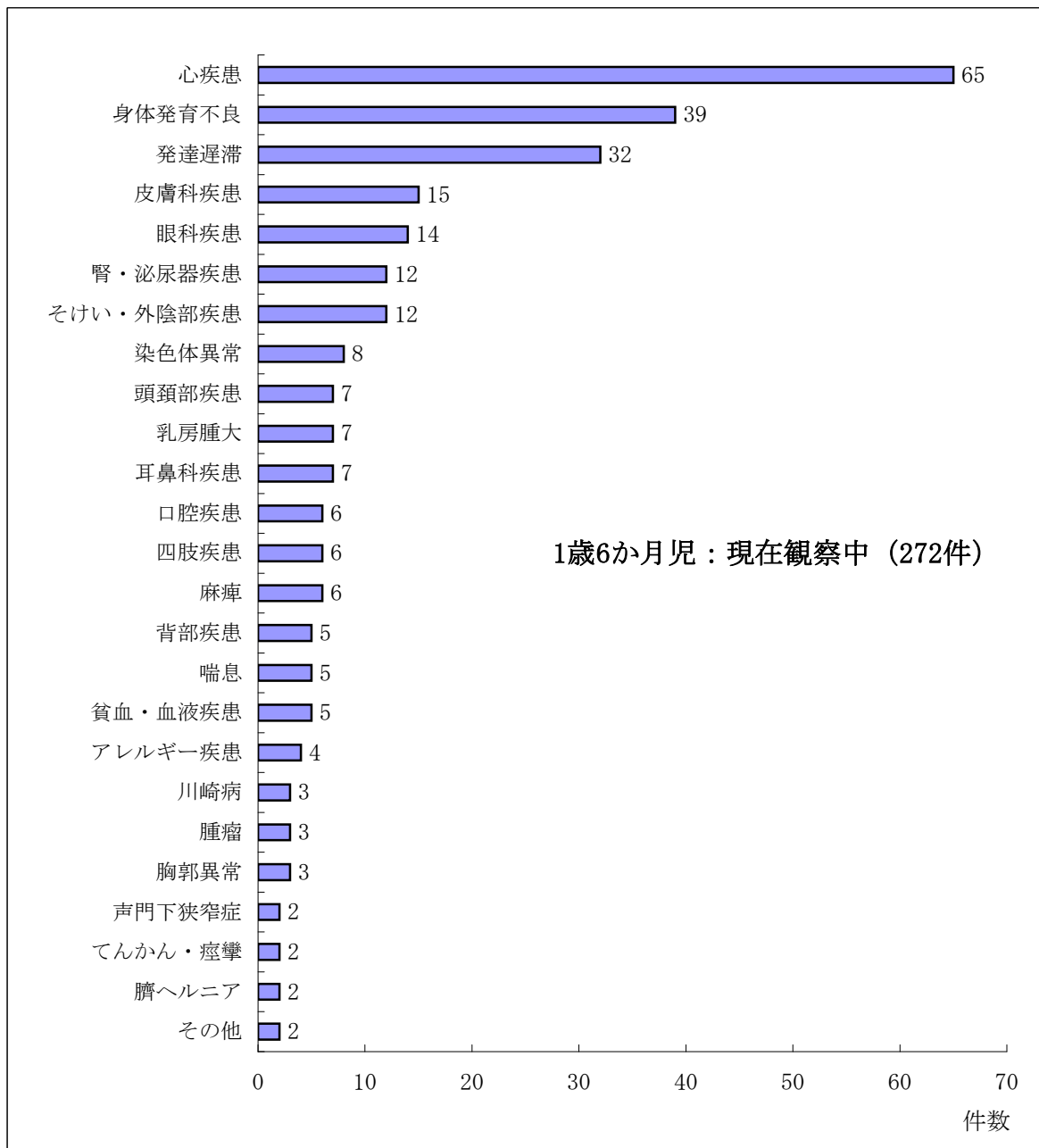


## 9-6 現在治療中について



注) その他に含まれる判定内容は、統計資料No. 17を参照

## 9-7 現在観察中について



注) その他に含まれる判定内容は、統計資料No. 17を参照

## II 歯科健診の部

### 受診状況

県内41市町村（受託29市町村、情報処理受託12市町村）のうち、平成20年4月1日から平成21年3月31日までに歯科健診を受診した14,071名の口腔状況である。

受診月齢は、1歳6か月が32.7%、1歳7か月が41.1%となっており、両月齢で73.8%となっている。受診率は86.3%で、19年度（85.3%）より1.0ポイント増加している。

（参照）統計資料No. 21～23 年次資料No. 13

1歳6か月児健康診査受診状況

単位：人

月齢	1歳										合計
	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	
男	-	1	1	215	2,295	3,025	1,268	220	120	80	7,225
女	-	1	3	195	2,299	2,754	1,142	252	109	91	6,846
合計	-	2	4	410	4,594	5,779	2,410	472	229	171	14,071
%	-	0.0	0.0	2.9	32.7	41.1	17.1	3.4	1.6	1.2	100.0

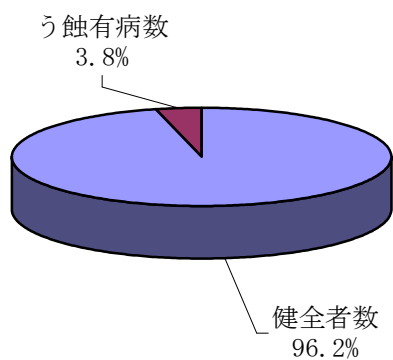
## 1 う蝕有病者率とう蝕の型別分類

平成20年度（41市町村）の1歳6か月児健康診査における、う蝕有病者率は3.8%で、平成19年度（4.2%）より0.4ポイント減少している。

市町村間では0%～14.3%（H19年度は0%～16.7%）と開きがある。

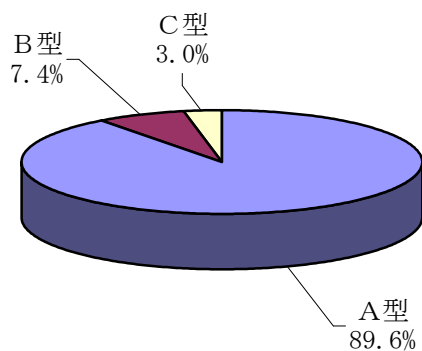
単位：人

受診者数 (%)	健全者数	う蝕有病者数
14,071	13,533	538
100.0	96.2	3.8



単位：人

う蝕有病者数 (%)	A型	B型	C型	記入もれ
538	482	40	16	0
100.0	89.6	7.4	3.0	0.0

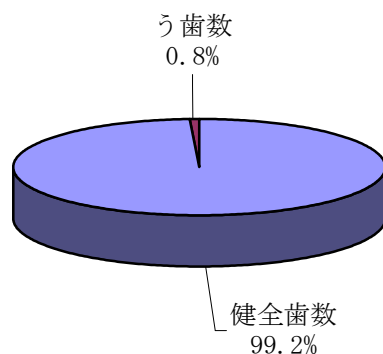


型別分類のそれぞれの割合は、前年度とほぼ同様である。

(参照) 統計資料No. 21 年次資料No. 14

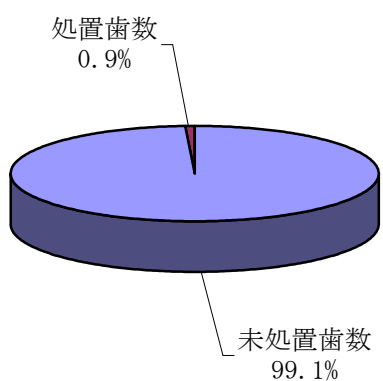
## 2 歯の状況

単位：本		
現在歯数 (%)	健全歯数	う歯数
202,592	201,066	1,526
100.0	99.2	0.8



う歯数の占める割合は0.8%（H19年度0.8%）で前年度と同様である。また、一人平均のう歯数は0.1本（H19年度0.1本）であり、健診時に萌出している乳歯は一人平均14.4本（H19年度14.3本）と、平成19年度とほぼ同じである。

単位：本		
う歯の内訳 う歯数 (%)	未処置歯数	処置歯数
1,526	1,512	14
100.0	99.1	0.9



むし歯になった歯のほとんどが未処置であるのは、毎年同じ状況である。

1歳6か月児では、むし歯の治療が困難であることが多く、そのほとんどは未処置であることが多い。未処置の中には、う蝕進行抑制剤であるサロライドを塗布した歯を含んでいる。

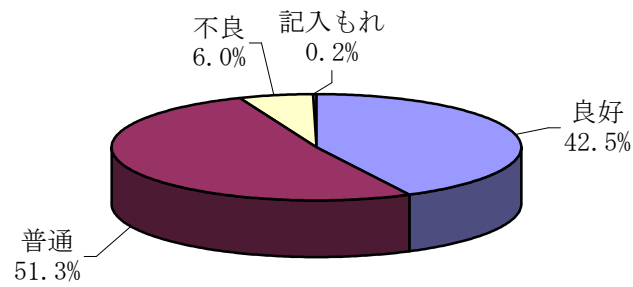
（参照）統計資料No. 21 年次資料No. 14



### 3 歯口清掃状態

単位：人

計 (%)	良好	普通	不良	記入もれ
14,071	5,977	7,219	851	24
100.0	42.5	51.3	6.0	0.2



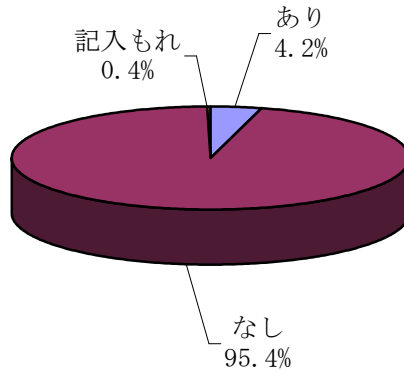
歯口清掃の状況は、良好が42.5%（H19年度41.2%）で前年度より増加し、不良が6.0%（H19年度6.8%）と、前年度より減少している。

（参照）統計資料No. 22

## 4 軟組織の疾患

単位：人

計 (%)	あり	なし	記入もれ
14,071	596	13,421	54
100.0	4.2	95.4	0.4

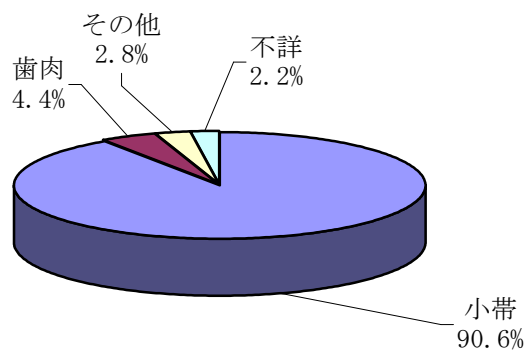


軟組織の疾患は4.2%（H19年度4.5%）で、前年度と同程度である。

### 軟組織の疾患の内訳

単位：本

計 (%)	小帯	歯肉	その他	不詳
596	540	26	17	13
100.0	90.6	4.4	2.8	2.2

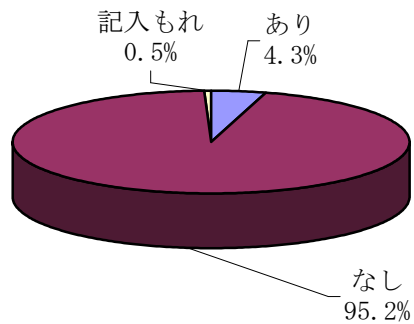


(参照) 統計資料No. 22

## 5 不正咬合

単位：人

計 (%)	あり	なし	記入もれ
14,071	611	13,394	66
100.0	4.3	95.2	0.5



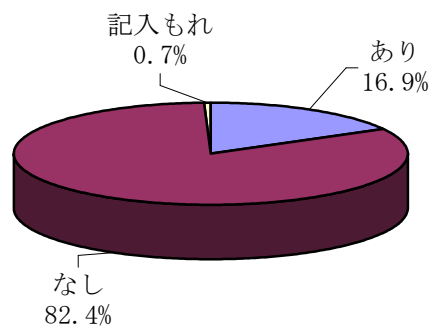
不正咬合に関しては、毎年同じような状況である。

1歳6か月児健診時点での乳歯列は未完成であり、不正咬合有無の診断は困難な場合が多い。また、不正咬合があったとしても、顎・顔面の発育にともない自然に治ることも多い。

## 6 口腔習癖

単位：人

計 (%)	あり	なし	記入もれ
14,071	2,374	11,600	97
100.0	16.9	82.4	0.7

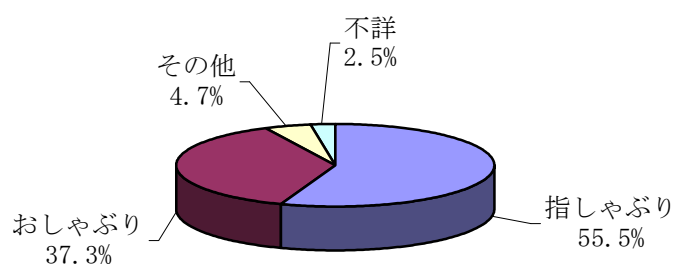


(参照) 統計資料No. 22

### 習癖の内訳

単位：人

計 (%)	指しゃぶり	おしゃぶり	その他	不詳
2,374	1,317	887	111	59
100.0	55.5	37.3	4.7	2.5

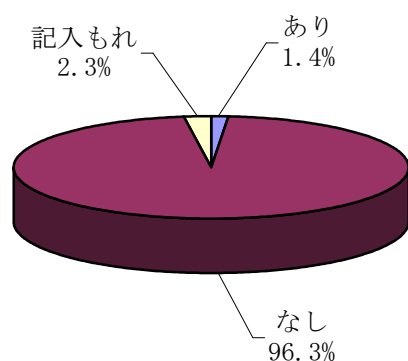


口腔習癖のある児の状況は全体の16.9%であり、前年度（H19年度17.2%）に比べ減少している。その内訳は、指しゃぶりとおしゃぶりが92.8%を占めており、指しゃぶりは55.5%（H19年度54.7%）で前年度より増加しているが、おしゃぶりは37.3%（H19年度38.8%）と前年度より減少している。

### 7 その他の異常

単位：人

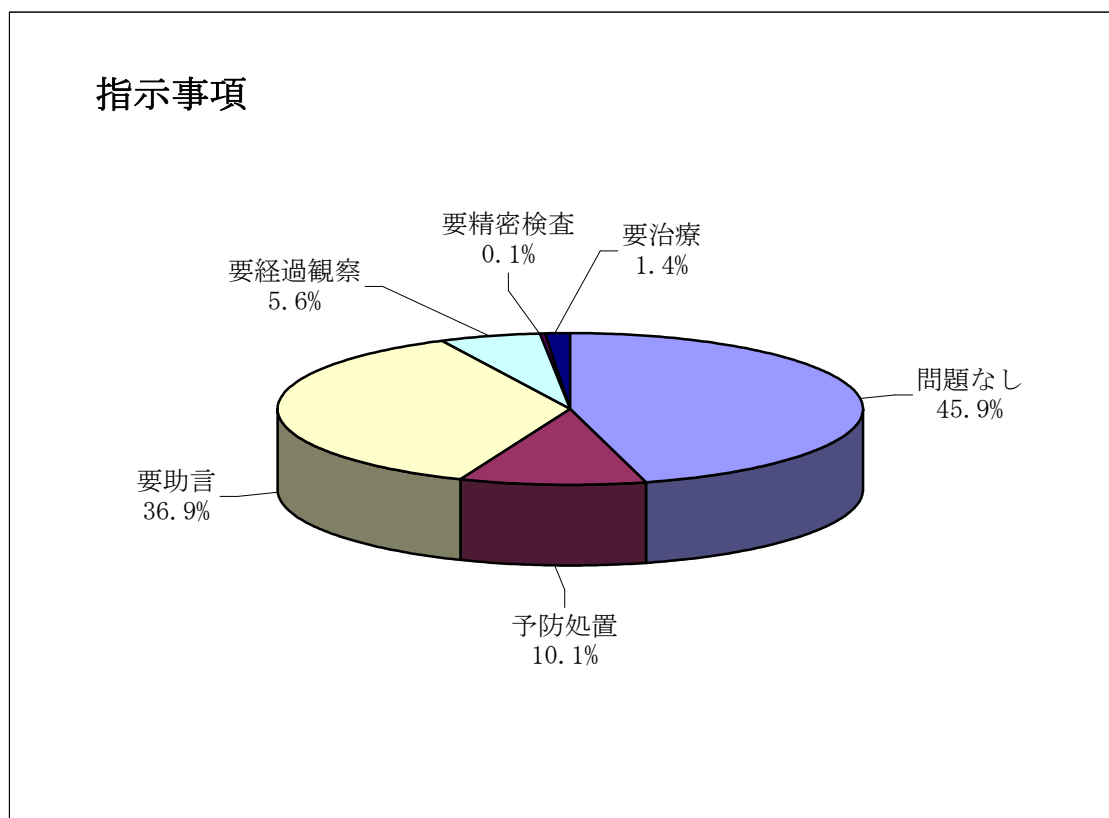
計 (%)	あり	なし	記入もれ
14,071	196	13,546	329
100.0	1.4	96.3	2.3



## 8 指示事項

単位：人

計 (%)	問題なし	予防処置	要助言	要経過観察	要精密検査	要治療
14,071	6,465	1,423	5,185	781	14	203
100.0	45.9	10.1	36.9	5.6	0.1	1.4



### 指示事項の内訳

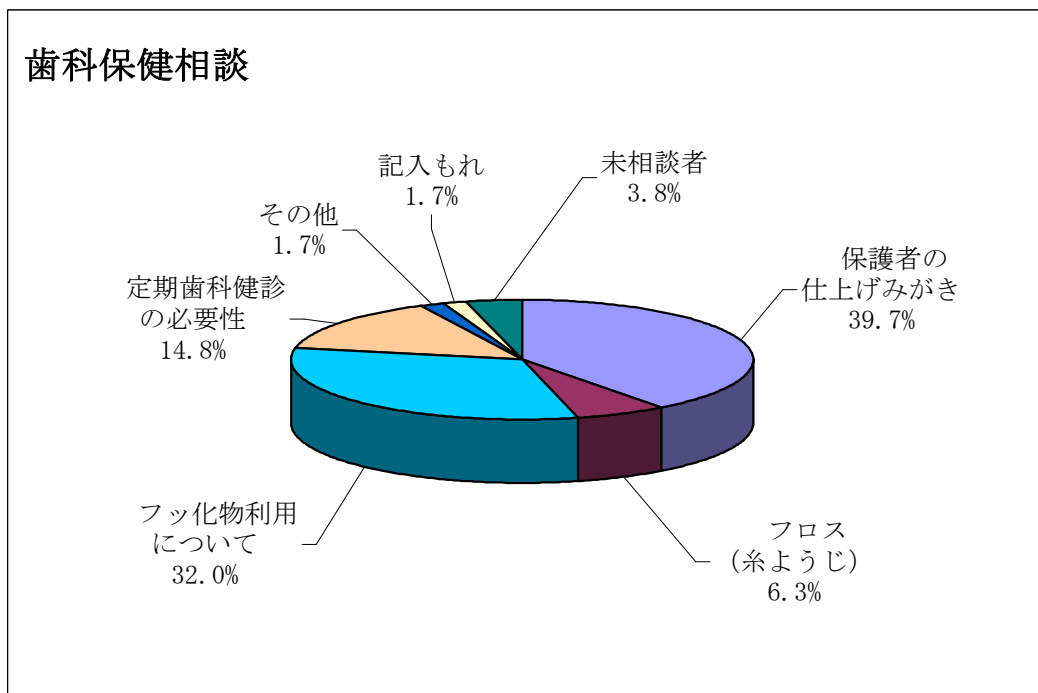
- 1 問題なしは45.9%（H19年度47.8%）で、前年度より減少している。
- 2 予防処置は10.1%（H19年度10.6%）で、前年度と同程度である。
- 3 要助言は36.9%（H19年度34.4%）で、前年度より増加しており、内容としては歯みがきが6割以上を占める。ついでフロス、食事指導の順となっている。
- 4 要経過観察は5.6%（H19年度5.3%）で、前年度と同程度である。内容としては不正咬合や軟組織の疾患が主である。
- 5 要精密検査については、昨年より増加をみせている。内容としては、「先天欠如歯」「虫歯」「反対咬合」が各2例、「口唇粘膜ポリープ」「乳中切歯・乳側切歯の舌側傾斜」が各1例、その他が6例で、計14例となっている。
- 6 要治療の大部分は、むし歯の治療となっている。

（参照）統計資料No. 23

## 9 歯科保健相談

相談項目を分類したものである。複数回答の場合は相談項目の4、3、2、1、5の順で優先とし、1人1項目選択とした。

項目	件数	%
1 保護者の仕上げみがき	5,584	39.7
2 フロス（糸ようじ）	881	6.3
3 フッ化物利用について	4,504	32.0
4 定期歯科健診の必要性	2,091	14.8
5 その他	234	1.7
記入もれ	238	1.7
未相談者	539	3.8
総計	14,071	100.0



# 10 1歳6か月児う蝕有病者率



(参照) 統計資料No. 21 年次資料No. 14

〈 3歳児健康診査の部 〉





# I 一般健診の部

## 1 実施状況

県内41市町村で、平成20年4月1日から平成21年3月31日までに、12,818人の3歳児が健康診査を受けた。

以下に、平成20年度の3歳児健康診査の結果をまとめる。

(参照) 統計資料 No. 42

## 2 受診状況

平成20年度は受診者数12,818人(H19年度12,534人)で、昨年度に比較し284人増加している。対象者数が16,067人であることから、受診率は79.8%(H19年度78.9%)で、昨年度より0.9ポイント増加している。

受診月齢をみると、3歳5か月～7か月の間に58.3%(7,479人)の児が受診している。

これまでは3歳6か月時点で受診数高値であったのが、7か月時点へ移行がみられる。

健診回数の少ない離島や児の数が少ない町村においては、受診月齢に極端なばらつきがみられる。

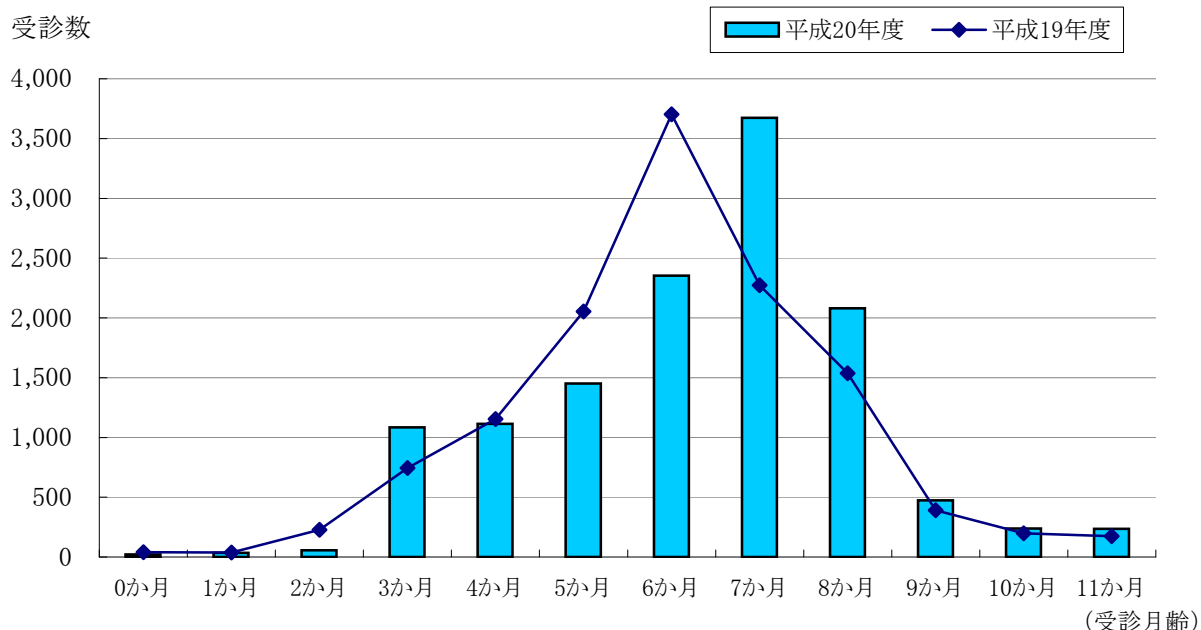
市町村別の受診月齢は統計資料に示す。

(参照) 統計資料 No. 42、45 年次資料 No. 1、21

3歳児健康診査月齢別受診状況

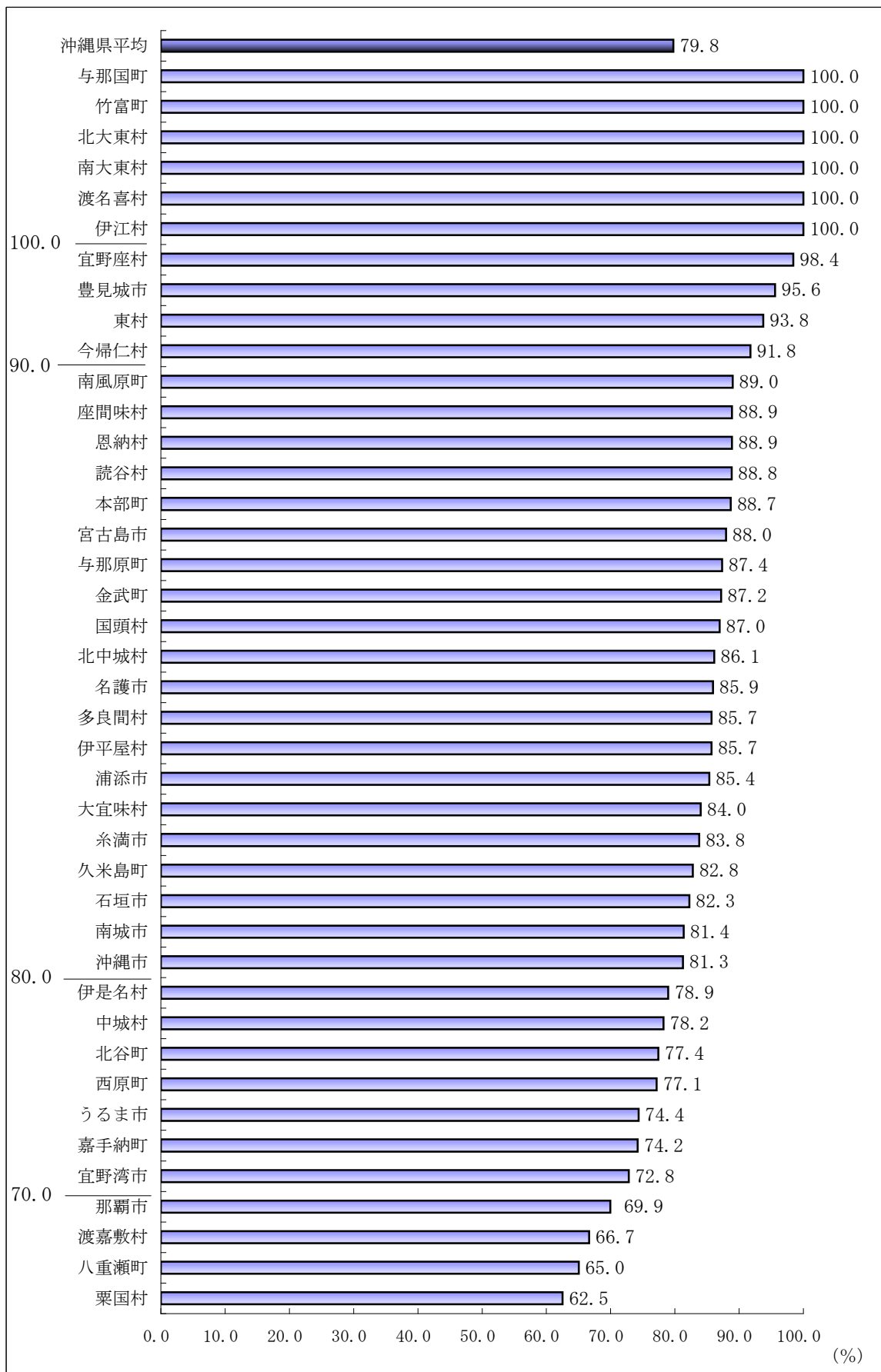
単位：人

月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計
男	9	15	33	570	576	746	1,195	1,875	1,098	258	119	114	6,608
女	13	21	22	513	539	705	1,159	1,799	982	216	120	121	6,210
総計	22	36	55	1,083	1,115	1,451	2,354	3,674	2,080	474	239	235	12,818
%				17.6			58.3			21.8			



三歳児問診

## 平成20年度 3歳児健康診査受診率



(参照) 統計資料 No. 42 年次資料 No.1、21

### 3 健診同伴者

3歳児健康診査における児の同伴者について、母親の同伴は90.4%（H19年度89.7%）、父親の同伴は11.2%（H19年度11.3%）となっている。

（参照）年次資料 No. 25

	母親	父親	祖父母	その他	集計対象数	記入もれ	受診総数
件数	11,317	1,397	500	375	12,513	305	12,818
集計対象数にしめる割合（%）	90.4	11.2	4.0	3.0	-	-	

同伴内訳	母親	父親	祖父母	その他	記入もれ	計
母親	<b>10,264</b>	616	135	302		11,317
父親	616	<b>766</b>	10	5		1,397
父親、祖父母	7					7
父親、兄弟姉妹	36					36
父親、祖父母、兄弟姉妹	1					1
祖父母	135	10	<b>347</b>	8		500
祖父母、兄弟姉妹	11					11
祖父母、おじ・おば	1					1
祖父母、おじ・おば、兄弟姉妹	1					1
兄弟姉妹	224	4	2			230
兄弟姉妹、おじ・おば	1					1
おじ・おば	10	1	6	40		57
いとこ、親戚等	7			2		9
施設職員	1			7		8
その他	2			11		13
記入もれ					305	305
計	11,317	1,397	500	375	305	13,894

※複数の同伴者あり

## 4 育児環境

### 4-1 保育状況

3歳児における主な保育者について、昼間の保育は保育所等の集団保育が全体の77.6%（H19年度77.5%）を占めている。平成19年度に比較すると集団保育は0.1ポイント増加し、母親の保育にも0.1ポイントの増加がみられた。年々集団保育は増加傾向にある。

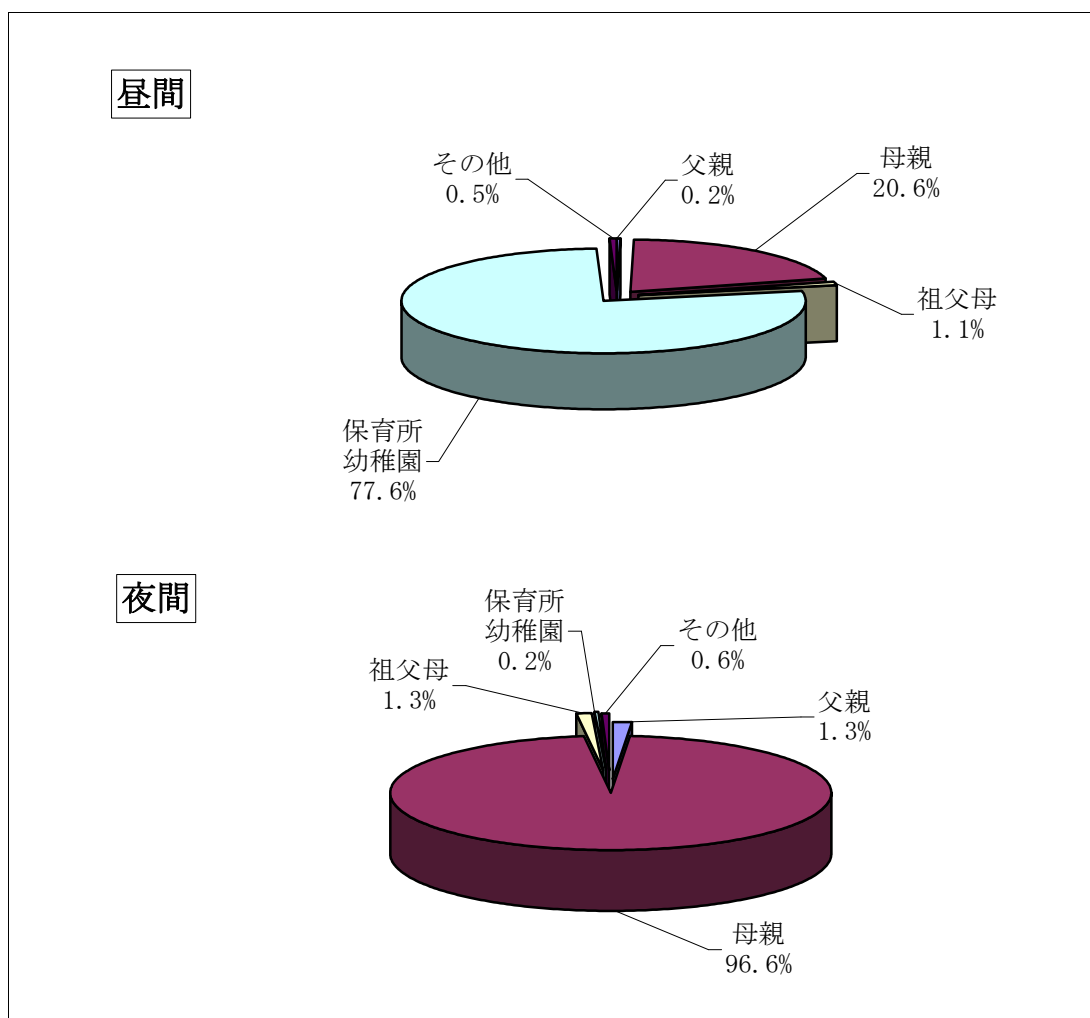
夜間の保育は、平成19年度に比較し、母親、父親ともに増減がなかった。

（参照）統計資料 No. 50 年次資料 No. 26

3歳児の主な保育者

単位：人

	父親	母親	祖父母	保育所 幼稚園	その他	小計	記入もれ	計
昼間	24	2,647	136	9,941	67	12,815	3	12,818
%	0.2	20.6	1.1	77.6	0.5	100.0	-	-
夜間	166	12,140	164	19	73	12,562	256	12,818
%	1.3	96.6	1.3	0.2	0.6	100.0	-	-



## 4-2 両親の喫煙

両親の喫煙率を年齢別にみると、父親48.0%(H19年度48.9%)、母親11.1%(H19年度12.1%)となっている。

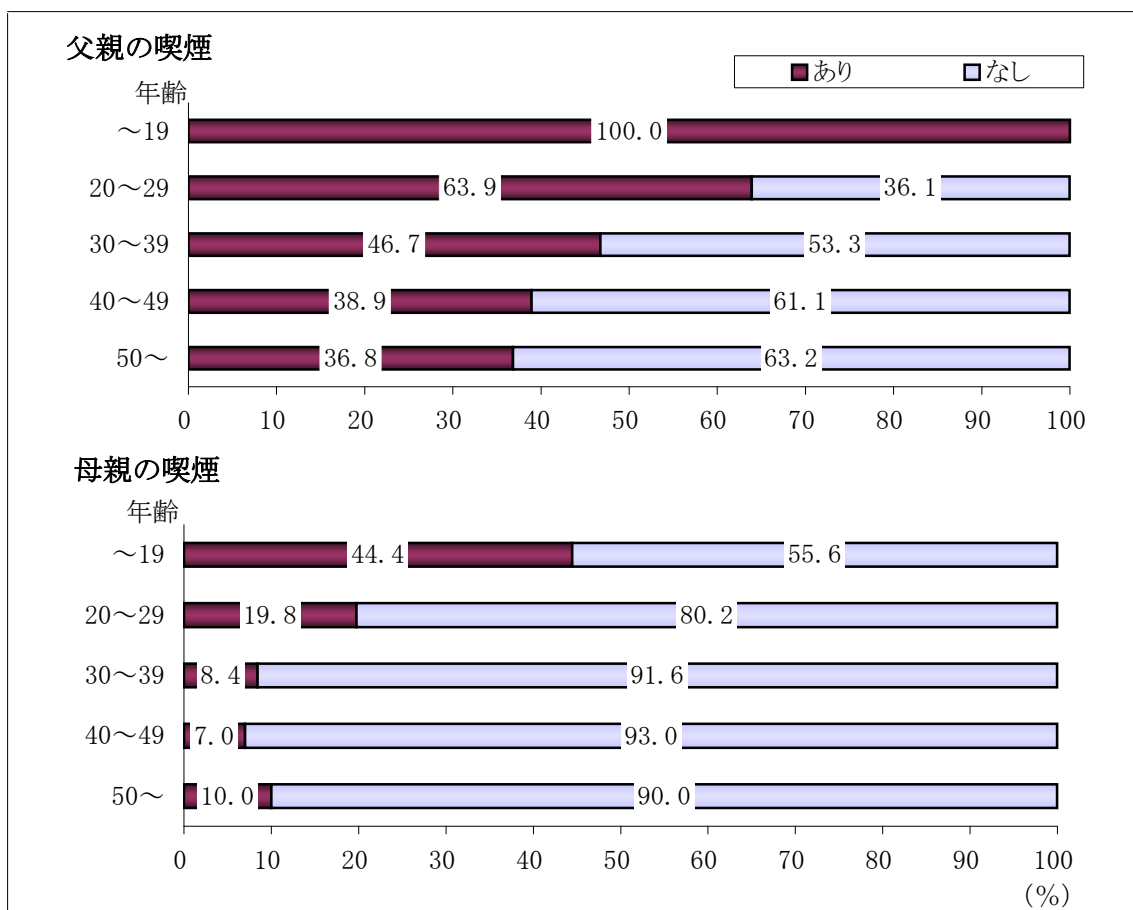
父親の喫煙率は年々減少傾向にある。

(参照) 統計資料 No. 51 年次資料 No. 27

### 3歳児の両親の喫煙

単位：人

年齢	父親の喫煙				母親の喫煙			
	あり	なし	記入もれ	総計	あり	なし	記入もれ	総計
～19	1	-	-	1	4	5	1	10
20～29	1,339	756	11	2,106	621	2,523	36	3,180
30～39	3,272	3,728	32	7,032	661	7,180	80	7,921
40～49	910	1,428	4	2,342	103	1,368	10	1,481
50～	102	175	2	279	1	9	-	10
小計	5,624	6,087	49	11,760	1,390	11,085	127	12,602
%	48.0	52.0	-	-	11.1	88.9	-	-
記入もれ	44	100	914	1,058	11	107	98	216
総計	5,668	6,187	963	12,818	1,401	11,192	225	12,818



\*喫煙率は、記入もれを除いての算出

### 4-3 子育てについて

#### ○育児不安の有無と子育ての楽しさとの関係

育児に不安がないと回答した人は、あると回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が30.5ポイント高くなっている。

(参照) 統計資料 No. 52～53

(参照) 年次資料 No. 28

育児に不安	回答者数	計	子育ては (記入もれ除く)	
			楽しい、 楽しい・大変の両方	どちらともいえない、 大変
ある	2,765	2,755	1,198	1,557
	%	100.0	43.5	56.5
ある・ない の両方	58	57	37	20
	%	100.0	64.9	35.1
ない	9,763	9,737	7,209	2,528
	%	100.0	74.0	26.0

#### ○育児不安の有無と育児の疲れとの関係

育児に不安があると回答した人は、ないと回答した人より育児の疲れの割合が高く、特に精神的疲れの方が高いことがわかる。

育児に不安	回答者数	計	育児は疲れが多い (記入もれ除く)			
			肉体的	肉体的・ 精神的の 両方	精神的	いいえ
ある	2,765	2,724	873	645	737	469
	%	100.0	32.0	23.7	27.1	17.2
ある・ない の両方	58	58	19	22	6	11
	%	100.0	32.8	37.9	10.3	19.0
ない	9,763	9,655	3,050	613	787	5,205
	%	100.0	31.6	6.3	8.2	53.9

## ○身近な相談者の有無と子育ての楽しさとの関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての楽しさを感じている割合が32.1ポイント高くなっている。

(参照) 統計資料 No. 52～53

(参照) 年次資料 No. 28

身近に相談者	回答者数	計	子育ては (記入もれ除く)	
			楽しい、 楽しい・大変の両方	どちらともいえない、 大変
いる	12,263	12,220	8,359	3,861
	%	100.0	68.4	31.6
いない	469	468	170	298
	%	100.0	36.3	63.7

※身近な相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

## ○身近な相談者の有無と育児不安との関係

身近に相談者がいると回答した人は、いないと回答した人より子育ての不安を感じている割合が22.6ポイント低くなっている。

身近に相談者	回答者数	計	育児に不安 (記入もれ除く)		
			ある	ある・ないの 両方	ない
いる	12,263	12,084	2,545	56	9,483
	%	100.0	21.0	0.5	78.5
いない	469	463	202	2	259
	%	100.0	43.6	0.4	56.0

※身近な相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

## ○育児不安の有無と育児疲れ、子育ての楽しさについて

子育てについて、育児に不安があるかないかを基に、育児の疲れと楽しさがどうかについて分類した。

育児に不安	育児は疲れが多い	回答者数	計	子育ては (記入もれ除く)			
				楽しい	楽しい・大変の両方	どちらともいえない	大変
ある	肉体的	873	870	360	101	158	251
	肉体的・精神的の両方	645	643	86	133	148	276
	精神的	737	734	113	68	219	334
	いいえ	469	468	285	38	90	55
	記入もれ	41	40	9	5	16	10
	小計	2,765	2,755	853	345	631	926
	%	21.6	100.0	31.0	12.5	22.9	33.6
ある・ない両方	肉体的	19	19	6	7	5	1
	肉体的・精神的の両方	22	21	1	12	4	4
	精神的	6	6	2	-	1	3
	いいえ	11	11	6	3	2	-
	記入もれ	-	-	-	-	-	-
	小計	58	57	15	22	12	8
	%	0.4	100.0	26.3	38.6	21.1	14.0
ない	肉体的	3,050	3,044	1,770	337	397	540
	肉体的・精神的の両方	613	612	151	153	131	177
	精神的	787	785	250	88	215	232
	いいえ	5,205	5,197	4,174	219	539	265
	記入もれ	108	99	50	17	16	16
	小計	9,763	9,737	6,395	814	1,298	1,230
	%	76.2	100.0	65.7	8.4	13.3	12.6
記入もれ	肉体的	63	62	19	14	15	14
	肉体的・精神的の両方	37	37	5	15	6	11
	精神的	34	34	8	5	10	11
	いいえ	22	22	14	3	5	0
	記入もれ	76	38	19	5	8	6
	小計	232	193	65	42	44	42
	%	1.8	100.0	33.6	21.8	22.8	21.8
合計	12,818	12,742	7,328	1,223	1,985	2,206	
%	100.0	100.0	57.5	9.6	15.6	17.3	

(参照) 統計資料 No. 52~53



## ○身近に相談者の有無と子育て支援センターの認知、 子育ての楽しさについて

子育てについて、身近に相談者がいるかいないかを基に、子育ては楽しいかについて分類した。

身近に 相談者	子育て支援 センターを 知っている	回答者数	計	子育ては (記入もれ除く)			
				楽しい	楽しい・ 大変の両方	どちらとも いけない	大変
いる	はい	11,193	11,157	6,603	1,076	1,663	1,815
	いいえ	998	992	533	103	164	192
	記入もれ	72	71	38	6	10	17
	小計	12,263	12,220	7,174	1,185	1,837	2,024
	%	95.7	100.0	58.7	9.7	15.0	16.6
いない	はい	363	362	106	21	99	136
	いいえ	105	105	34	9	34	28
	記入もれ	1	1	-	-	1	-
	小計	469	468	140	30	134	164
	%	3.6	100.0	29.9	6.4	28.6	35.1
記入もれ	はい	25	25	6	4	7	8
	いいえ	11	11	2	2	3	4
	記入もれ	50	18	6	2	4	6
	小計	86	54	14	8	14	18
	%	0.7	100.0	25.9	14.9	25.9	33.3
合計		12,818	12,742	7,328	1,223	1,985	2,206
%		100.0	100.0	57.5	9.6	15.6	17.3

※身近な相談者の有無で両方に○を付したものは、いないに含めた

(参照) 統計資料 No. 52~53

## 5 発育（やせと肥満）について

3歳児健康診査時におけるやせと肥満について集計することとしたが、「3歳児のやせ」は問題ないので、肥満度を算出した。

集計対象の条件として、健康診査時に身長と体重を測定した児で、出生体重が2,000g以上であることとした。

肥満度+15%以上の児は、男が全体の3.2%（H19年度3.4%）で、女が4.5%（H19年度5.0%）となり、男より女が1.3ポイント高い値を示した。

	受診総数	集計対象数
男	6,608	6,370
女	6,210	5,965
計	12,818	12,335

		男		女	
		件数	%	件数	%
肥満度	太り過ぎ (+30%≦～)	16	0.3	19	0.3
	やや太り過ぎ (+20%≦～<30%)	47	0.7	84	1.4
	太り気味 (+15%≦～<20%)	140	2.2	165	2.8
計		203	3.2	268	4.5
BMI	肥満 (18.0≦)	162	2.5	170	2.8

(参照) 統計資料 No. 54

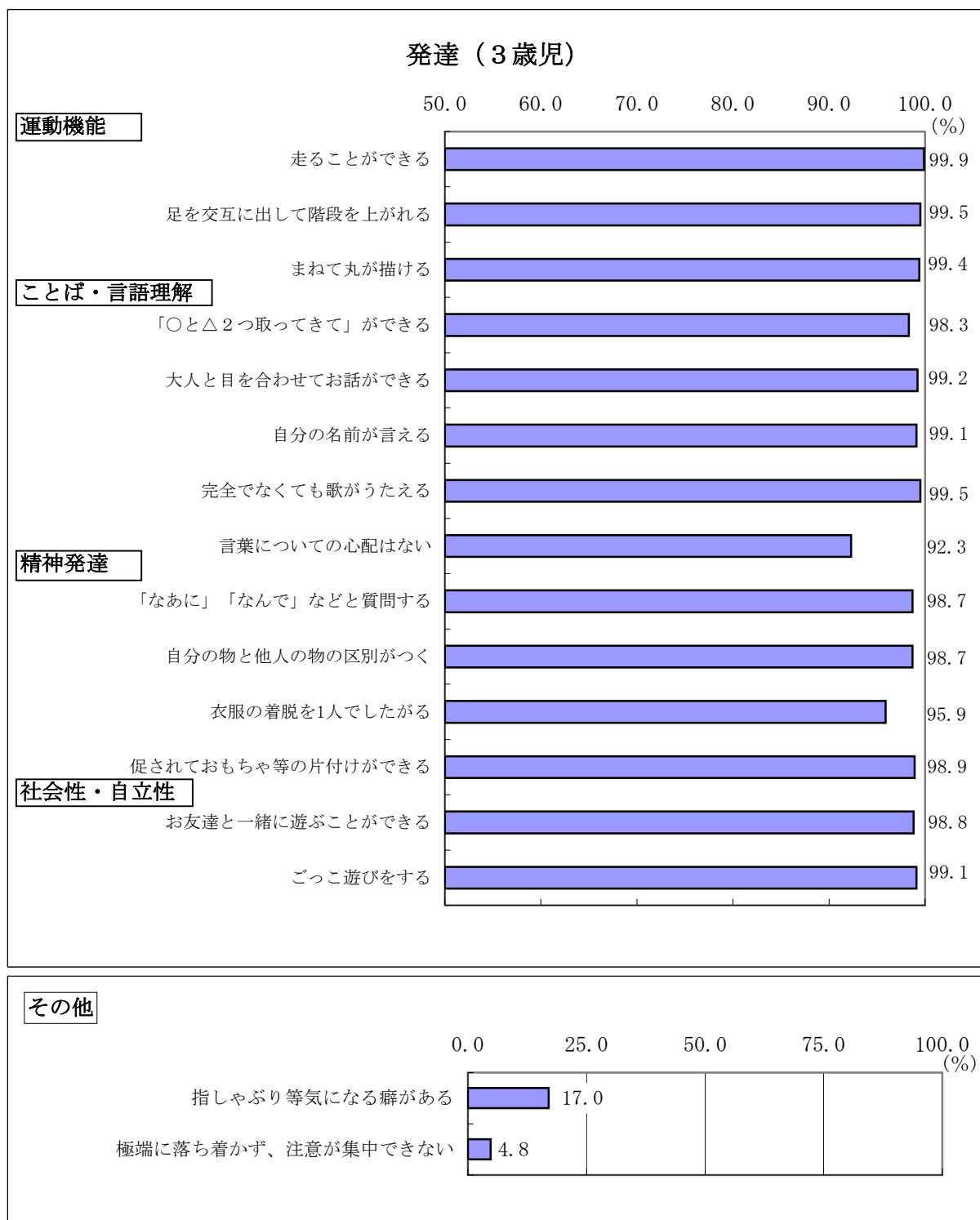
(参照) 年次資料 No. 29

## 6 発達について

下の図は、3歳児の運動・発達の通過率である。対象は3歳児健康診査時の月齢が3歳6か月児と7か月児6,028人とした。これらは受診総数の47.0%を占める。

発達に関する問診に対し、回答が「はい」の割合を示したものである。

(参照) 統計資料 No. 55 ~ 61

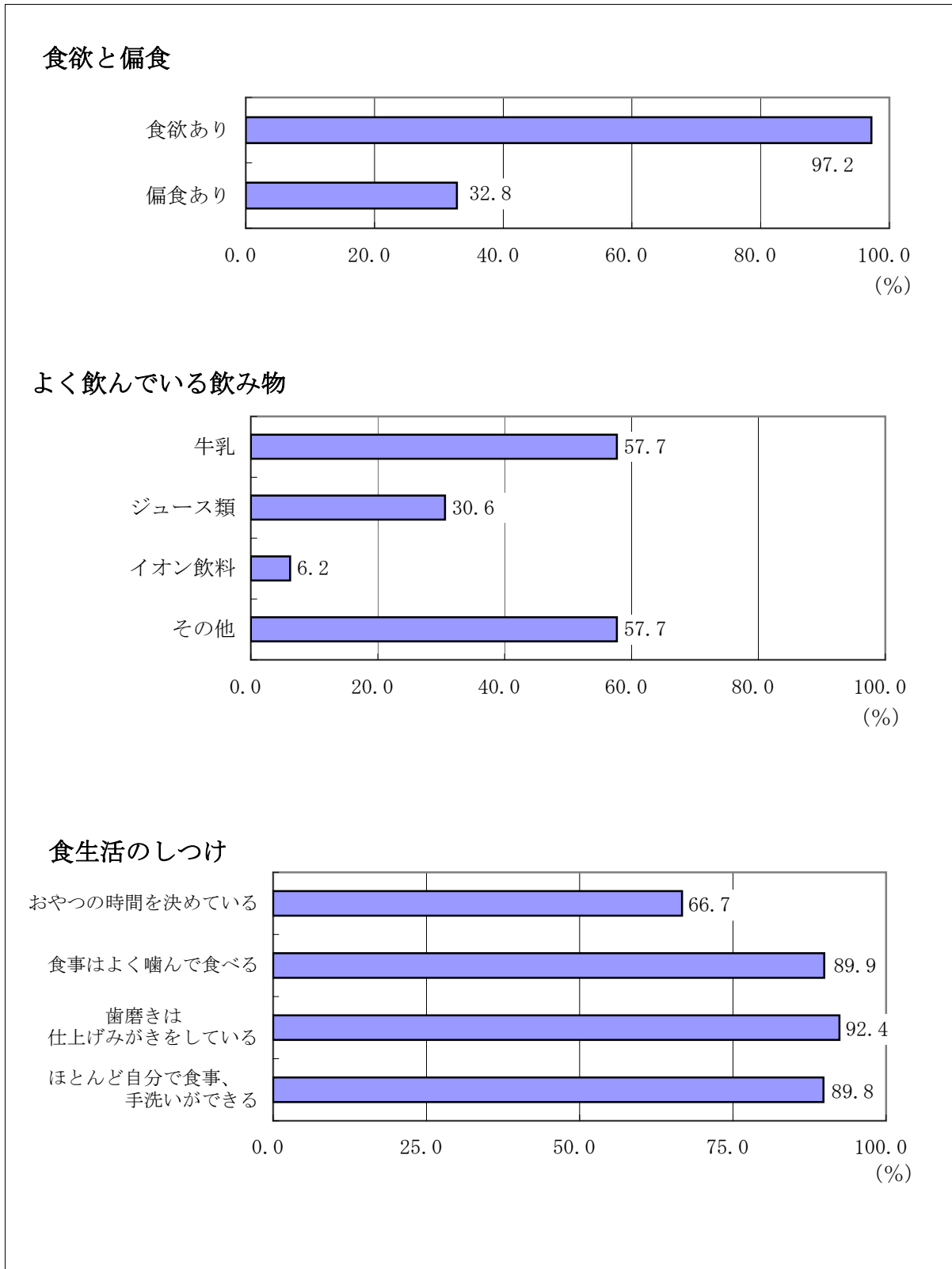


## 7 生活習慣について

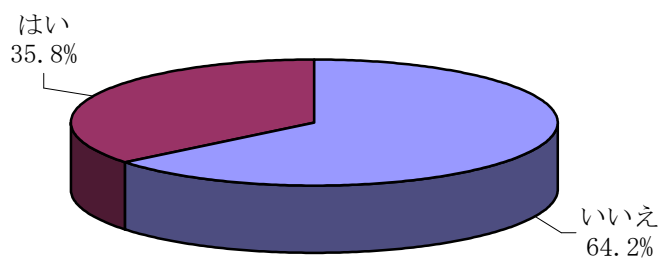
3歳児の生活習慣について項目別に集計した。

(参照) 統計資料 No. 62 ~64

### 7-1 食習慣について

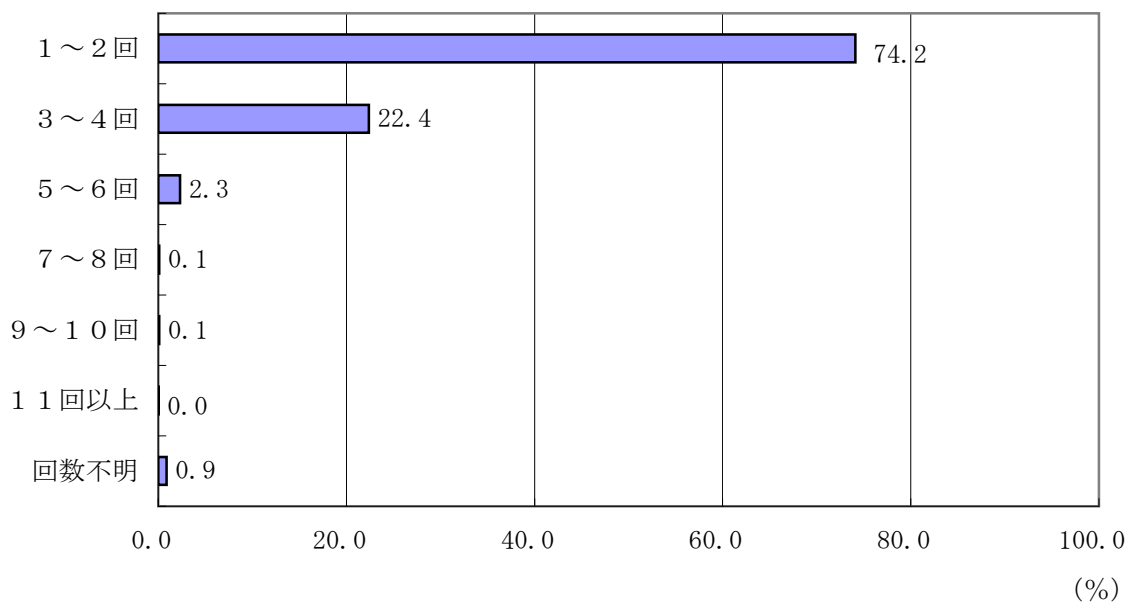


### ファーストフードの利用



### ファーストフードの利用回数

○回答「はい」の利用回数内訳（月 回）

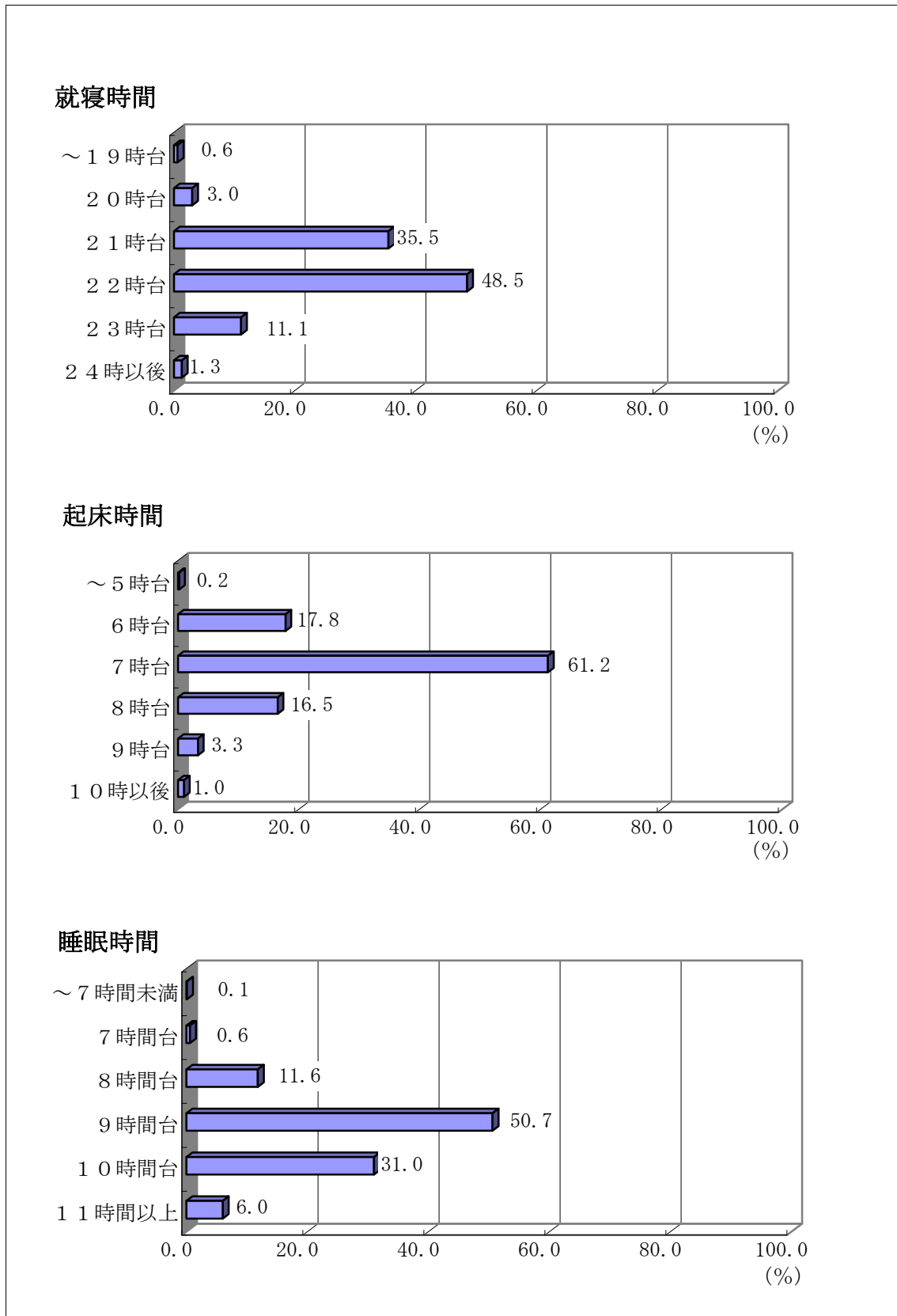


(参照) 統計資料 No. 65

## 7-2 睡眠について

3歳児の睡眠について項目別に集計した。

(参照) 統計資料 No. 66～ 68

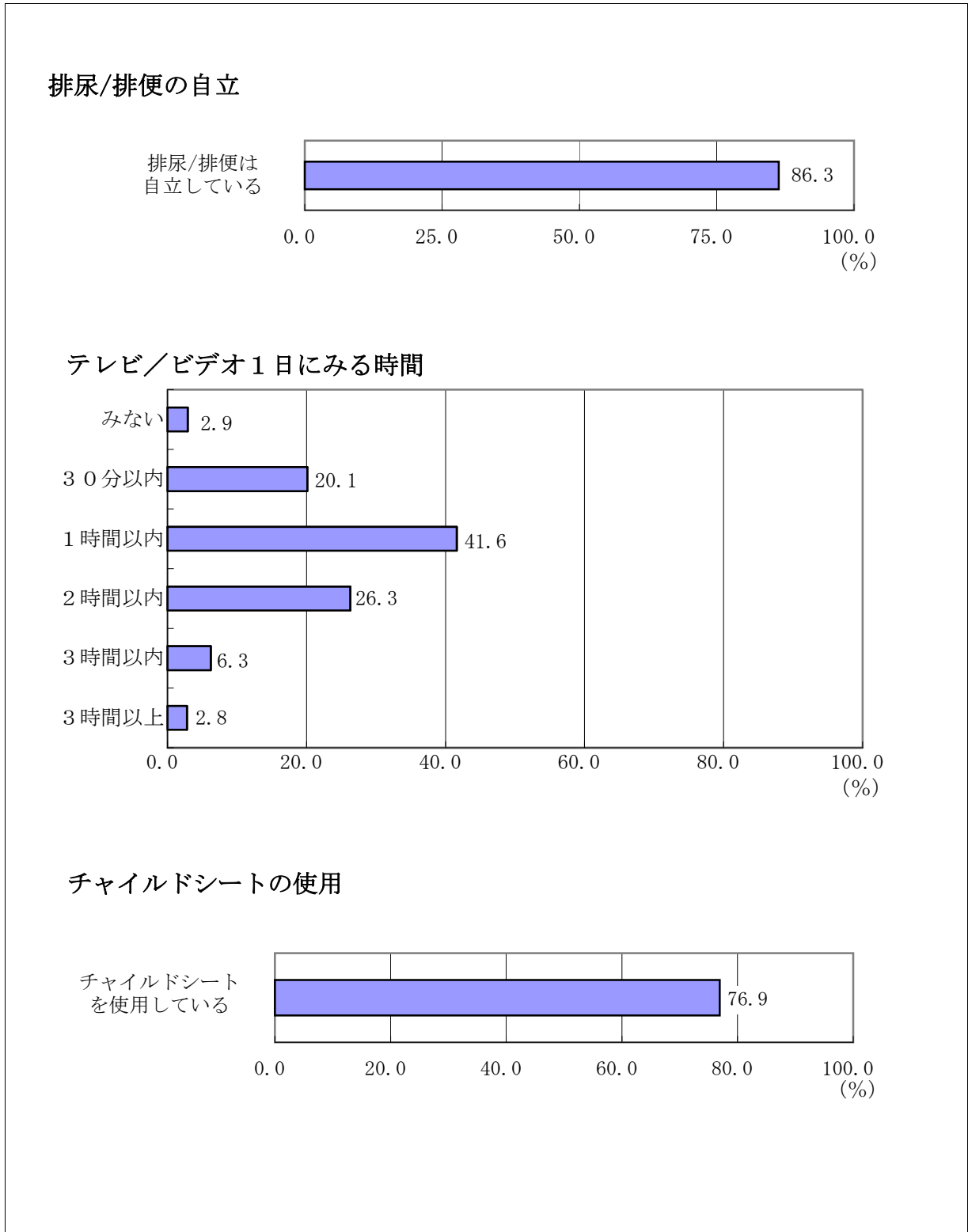


### 7-3 その他の習慣

3歳児のその他の習慣について集計した。

(参照) 統計資料 No. 69 ~ 71

(参照) 年次資料 No. 37



三歳児問診

## 8 予防接種の状況

### BCGの接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
接種	12,474	97.3
未接種	286	2.2
記入もれ	58	0.5
計	12,818	100.0

### ポリオの接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
2回接種	12,089	94.3
1回接種	464	3.6
未接種	150	1.2
記入もれ	115	0.9
計	12,818	100.0

### DPT 第1期の接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
3回接種	11,270	87.9
2回接種	696	5.4
1回接種	379	3.0
未接種	333	2.6
記入もれ	140	1.1
計	12,818	100.0

### 追加接種

	人数	割合（％）
	9,087	80.6
	222	31.9
	9,309	

注) 追加接種

第1期3回接種終了後、6か月以上の間隔をおいて追加接種

第1期2回接種終了後、3回接種をせずに追加接種

### 麻疹の接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
接種	12,441	97.0
未接種	253	2.0
罹患	8	0.1
接種と罹患	16	0.1
記入もれ	100	0.8
計	12,818	100.0

(参照) 統計資料 No. 72 ~ 74

(参照) 年次資料 No. 30 ~ 33



### 風疹の接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
接種	11,953	93.2
未接種	587	4.6
罹患	11	0.1
接種と罹患	14	0.1
記入もれ	253	2.0
計	12,818	100.0

### 日本脳炎の接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
2回接種	381	3.0
1回接種	106	0.8
未接種	11,289	88.1
罹患	-	-
記入もれ	1,042	8.1
計	12,818	100.0

### 水痘の接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
接種	1,588	12.4
未接種	4,092	31.9
罹患	6,449	50.3
接種と罹患	348	2.7
記入もれ	341	2.7
計	12,818	100.0

### 流行性耳下腺炎の接種状況（3歳児）

	人数	割合（％）
接種	1,582	12.3
未接種	9,803	76.5
罹患	710	5.5
接種と罹患	20	0.2
記入もれ	703	5.5
計	12,818	100.0

（参照）統計資料 No. 74 ～ 76  
 （参照）年次資料 No. 34 ～ 35

## 9 健診結果の内訳

3歳児健康診査受診総数12,818人、うち問題なし児が8,772人、健診での診察または検査結果の問題あり児を含め4,046人となっている。視力聴力検査結果の問題あり児272件、尿検査の問題あり児325件、有所見児3,390件で、延べ3,987件となっている。

(参照) 統計資料 No. 42

(検査及び診察所見の内訳)

合計	(1) 問診 視力聴力検査異常	(2) 検査 尿検査異常	(3) 診察 有所見 (延べ)
3,987	272	325	3,390

\* うち実人員 4,046人

(1) 視力聴力検査の結果

小計	視力検査	聴力検査
272	153	119

(2) 尿検査結果

小計	尿検査
325	325

\* 尿蛋白、潜血の項目で+以上、  
尿糖の項目で±以上の実人員

(3) 有所見 (延べ件数) (有所見内訳)

小計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・ 口腔	眼	耳鼻 咽喉
3,390	846	442	37	92	363	270

(有所見内訳)

胸部	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢
317	13	78	5	47

(有所見内訳)

神経・ 運動	精神 発達	言語	日常 習慣	その他
23	245	455	157	-

## 9-1 視力聴力検査結果

視力と聴力に関する保護者のアンケート調査に基づき、要精密検査となったもの。

(参照) 統計資料 No. 42

受診者数	視力	聴力
12,818	153	119
%	1.2	0.9

月齢	3歳												総計
	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	
視力	-	-	-	4	9	10	39	47	30	6	2	6	153
聴力	-	-	-	8	8	7	34	38	17	4	-	3	119
総計	-	-	-	12	17	17	73	85	47	10	2	9	272

(参考) 健診時に視力聴力検査が実施できず、再検査が必要となったもの。

月齢	3歳												総計
	0か月	1か月	2か月	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	11か月	
視力	2	4	2	42	31	27	35	55	39	13	2	2	254
聴力	-	1	1	9	5	7	15	10	6	3	3	2	62
総計	2	5	3	51	36	34	50	65	45	16	5	4	316
受診者数	22	36	55	1,083	1,115	1,451	2,354	3,674	2,080	474	239	235	12,818
%	9.1	13.9	5.5	4.7	3.2	2.3	2.1	1.8	2.2	3.4	2.1	1.7	2.5

※受診者数に対する率

## 9-2 尿検査結果

尿検査結果の異常（蛋白・潜血は+以上、糖は±以上）は、尿蛋白・潜血・糖の合計で329件となるが、実人員は325人である。受診児のうち822人（6.4%）が3項目とも未検査となっている。

尿蛋白	人数	割合 (%)
—	11,844	92.4
±	124	1.0
+ 以上	27	0.2
未検査	823	6.4
合計	12,818	100.0

尿潜血	人数	割合 (%)
—	11,061	86.3
±	633	4.9
+ 以上	300	2.4
未検査	824	6.4
合計	12,818	100.0

尿糖	人数	割合 (%)
—	11,993	93.6
±	1	0.0
+ 以上	1	0.0
未検査	823	6.4
合計	12,818	100.0

※未検査には、結果の不明等も含む

### 9-3 診察による有所見（診察所見について）

#### 有所見の内訳

受診総数12,818人、うち問題なし児8,772人、問題あり児が4,046人である。

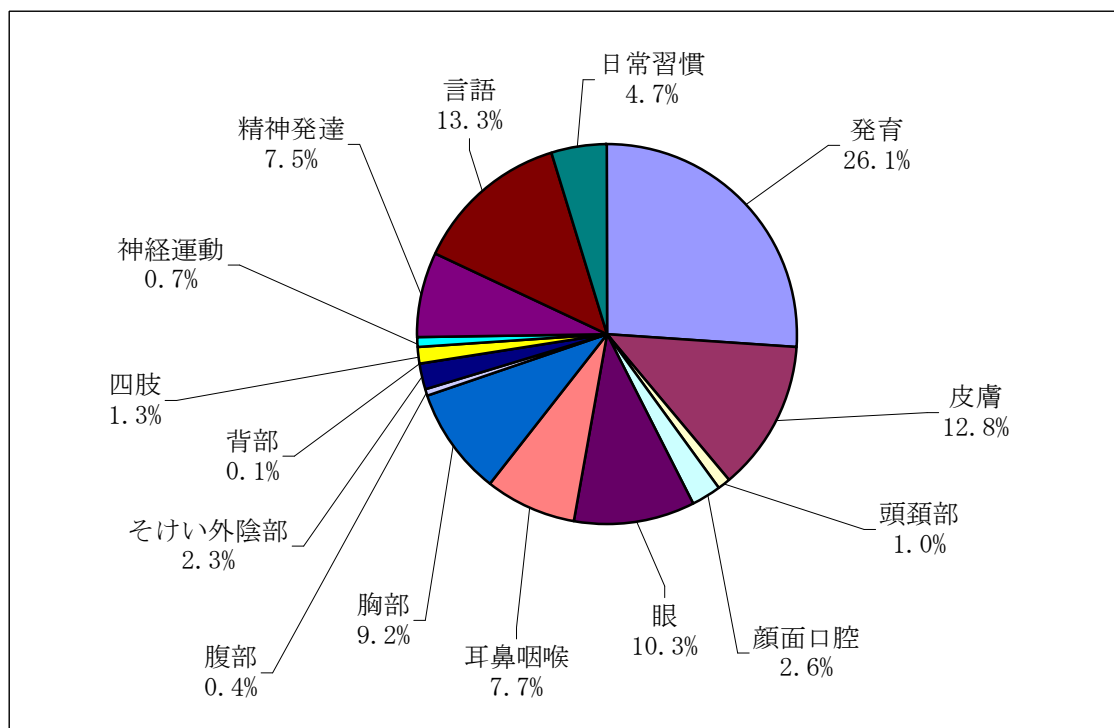
うち診察有所見の延べ3,390件について、複数の記入がある場合、同部位内については件数にカウントしていない。

再分類件数は、有所見の内訳を部位別、部位内の複数の記入すべてを含め分類したものである。

	合計	発育	皮膚	頭頸部	顔面 口腔	眼	耳鼻 咽喉	胸部
件数	3,390	846	442	37	92	363	270	317
再分類件数	3,556	928	454	37	93	366	275	326
%	100.0	26.1	12.8	1.0	2.6	10.3	7.7	9.2

	腹部	そけい 外陰部	背部	四肢	神経 運動	精神 発達	言語	日常 習慣
件数	13	78	5	47	23	245	455	157
再分類件数	14	81	5	48	26	265	472	166
%	0.4	2.3	0.1	1.3	0.7	7.5	13.3	4.7

注) 部位内複数記入含め再分類

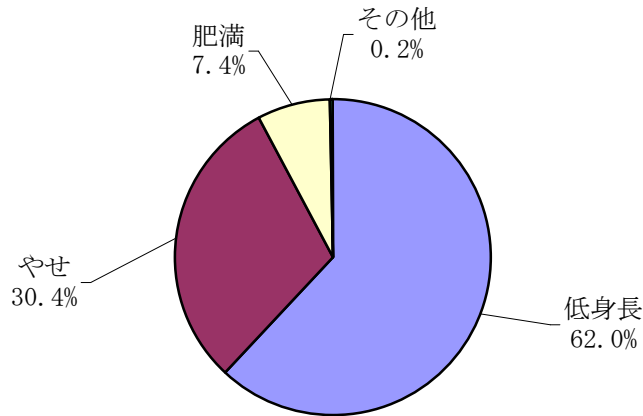


(参照) 統計資料 No. 42

①<発育>

単位：件

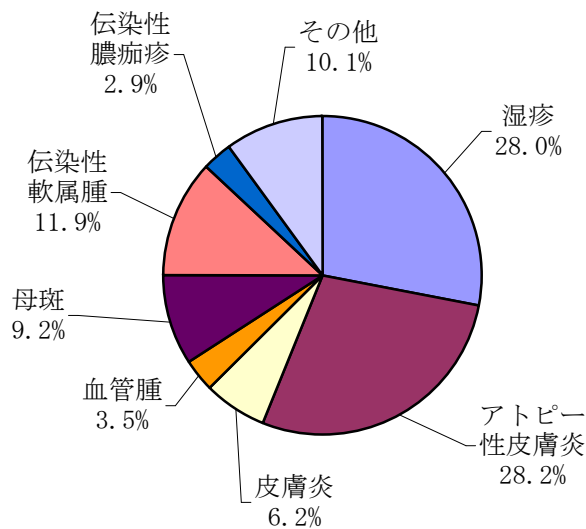
合計 (%)	低身長	やせ	肥満	その他
928	575	282	69	2
100.0	62.0	30.4	7.4	0.2



②<皮膚>

単位：件

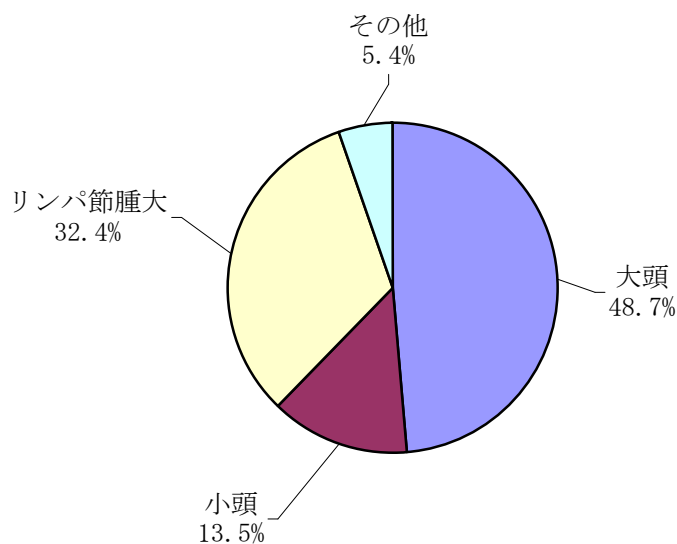
合計 (%)	湿疹	アトピー性皮膚炎	皮膚炎	血管腫	母斑	伝染性軟属腫	伝染性膿痂疹	その他
454	127	128	28	16	42	54	13	46
100.0	28.0	28.2	6.2	3.5	9.2	11.9	2.9	10.1



③<頭頸部>

単位：件

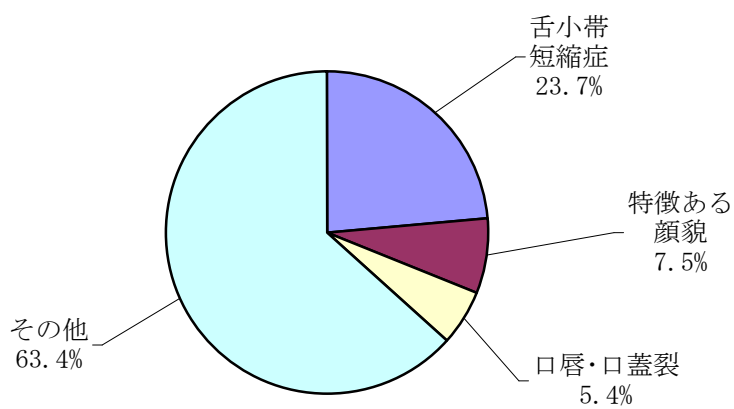
合計 (%)	大頭	小頭	リンパ節腫大	その他
37	18	5	12	2
100.0	48.7	13.5	32.4	5.4



④<顔面・口腔>

単位：件

合計 (%)	舌小帯短縮症	特徴ある顔貌	口唇・口蓋裂	その他
93	22	7	5	59
100.0	23.7	7.5	5.4	63.4

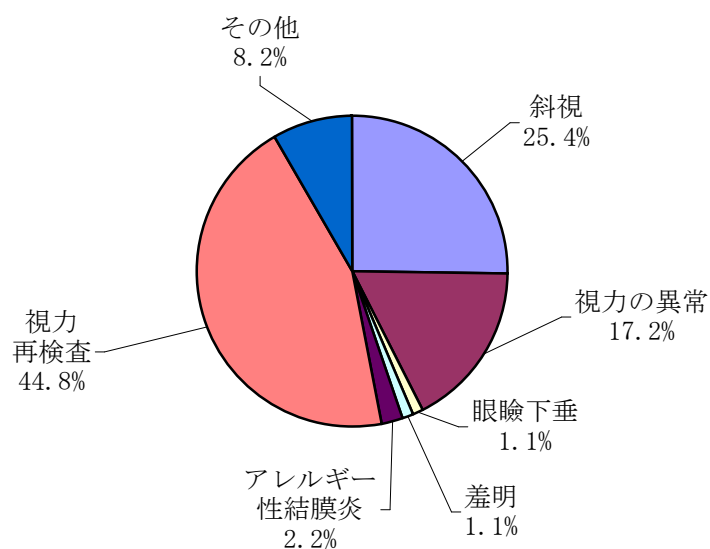


三歳児診察結果

⑤<眼>

単位：件

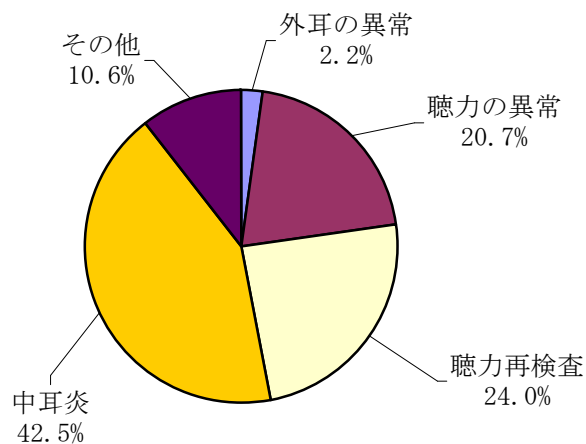
合計 (%)	斜視	視力の異常	眼瞼下垂	羞明	アレルギー性結膜炎	視力再検査	その他
366	93	63	4	4	8	164	30
100.0	25.4	17.2	1.1	1.1	2.2	44.8	8.2



⑥<耳鼻咽喉>

単位：件

合計 (%)	外耳の異常	聴力の異常	聴力再検査	中耳炎	その他
275	6	57	66	117	29
100.0	2.2	20.7	24.0	42.5	10.6

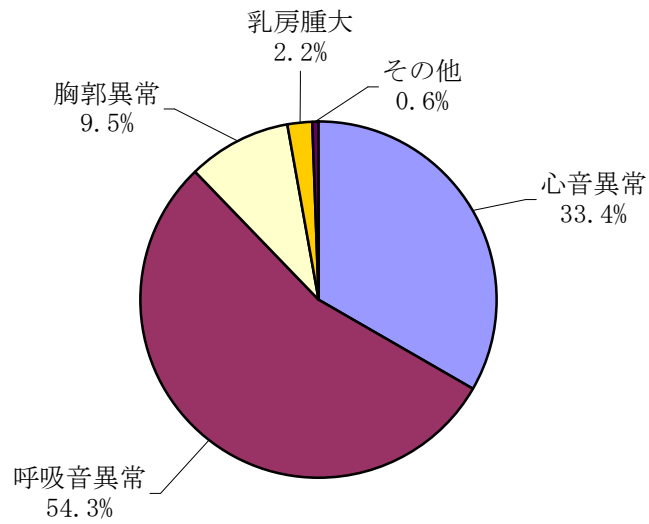




⑦<胸部>

単位：件

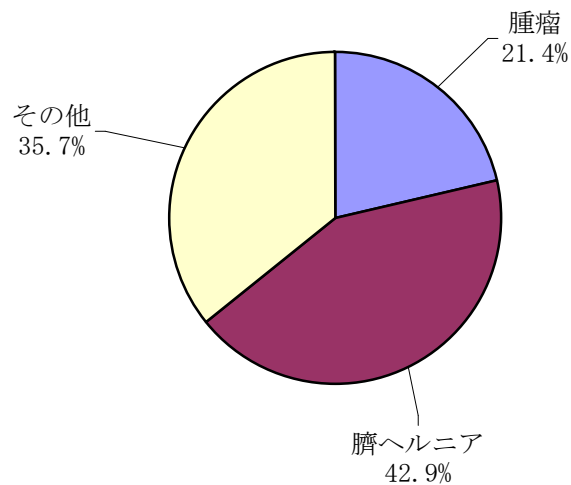
合計 (%)	心音異常	呼吸音異常	胸郭異常	乳房腫大	その他
326	109	177	31	7	2
100.0	33.4	54.3	9.5	2.2	0.6



⑧<腹部>

単位：件

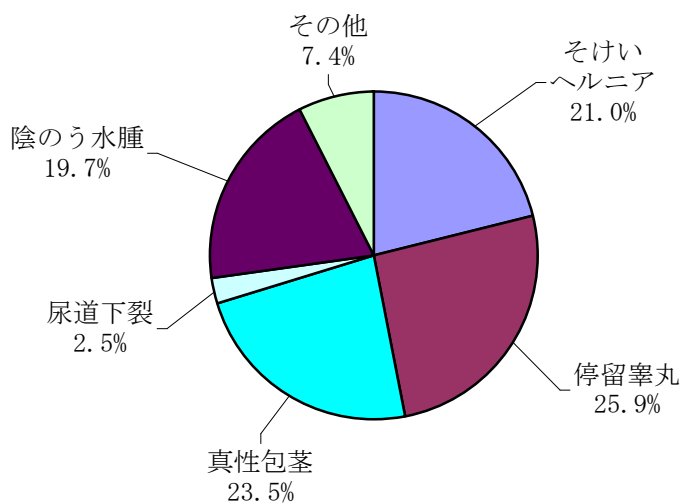
合計 (%)	腫瘍	臍ヘルニア	その他
14	3	6	5
100.0	21.4	42.9	35.7



⑨<そけい外陰部>

単位：件

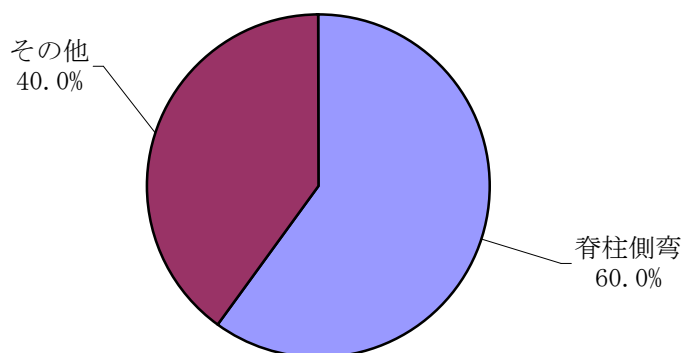
合計 (%)	そけいヘルニア	停留辜丸	真性包茎	尿道下裂	陰のう水腫	その他
81	17	21	19	2	16	6
100.0	21.0	25.9	23.5	2.5	19.7	7.4



⑩<背部>

単位：件

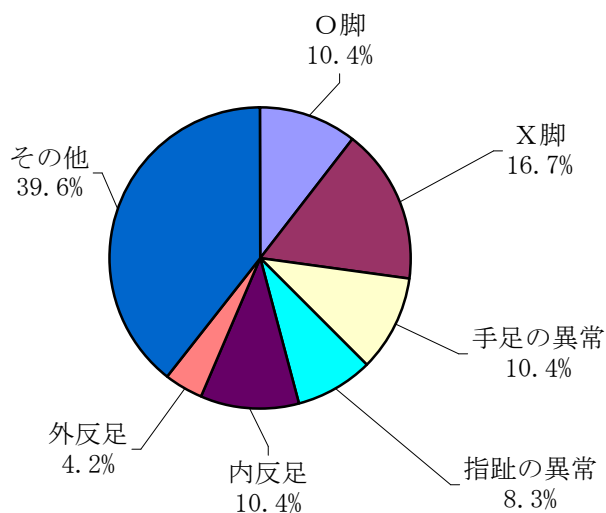
合計 (%)	脊柱側弯	その他
5	3	2
100.0	60.0	40.0



⑪<四肢>

単位：件

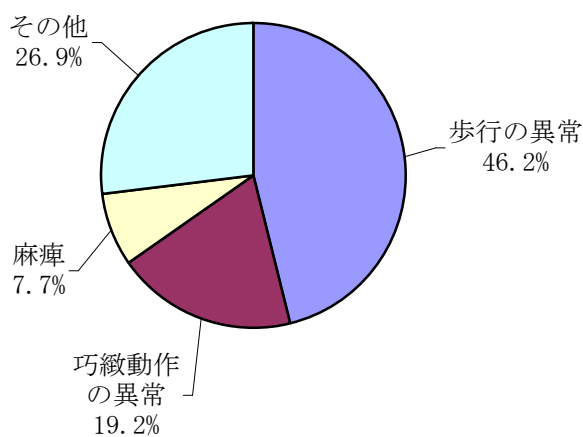
合計 (%)	○脚	X脚	手足の異常	指趾の異常	内反足	外反足	その他
48	5	8	5	4	5	2	19
100.0	10.4	16.7	10.4	8.3	10.4	4.2	39.6



⑫<神経・運動>

単位：件

合計 (%)	歩行の異常	巧緻動作の異常	麻痺	その他
26	12	5	2	7
100.0	46.2	19.2	7.7	26.9

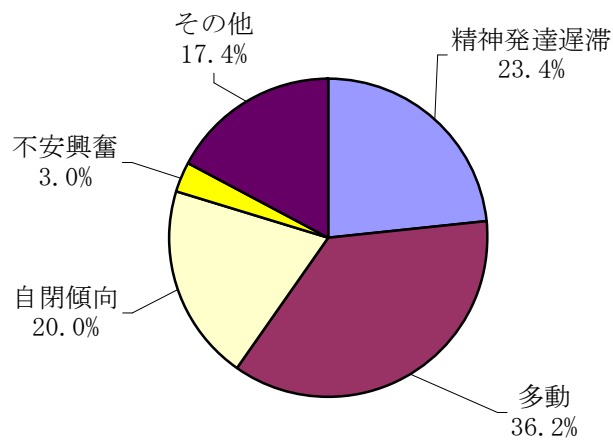


三歳児診察結果

⑬<精神発達>

単位：件

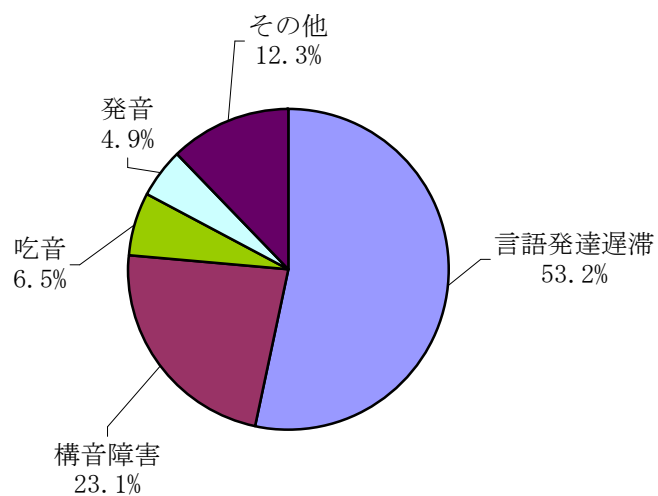
合計 (%)	精神発達遅滞	多動	自閉傾向	不安興奮	その他
265	62	96	53	8	46
100.0	23.4	36.2	20.0	3.0	17.4



⑭<言語>

単位：件

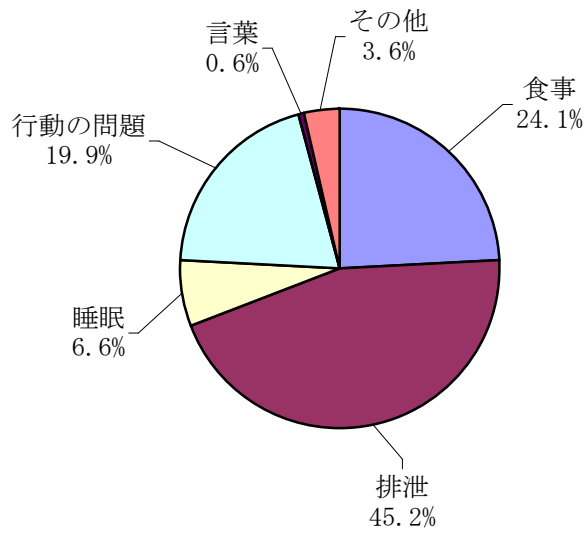
合計 (%)	言語発達遅滞	構音障害	吃音	発音	その他
472	251	109	31	23	58
100.0	53.2	23.1	6.5	4.9	12.3



⑮＜日常習慣＞

単位：件

合計 (%)	食事	排泄	睡眠	行動の問題	言葉	その他
166	40	75	11	33	1	6
100.0	24.1	45.2	6.6	19.9	0.6	3.6



## 10 総合判定（ICD-10分類）

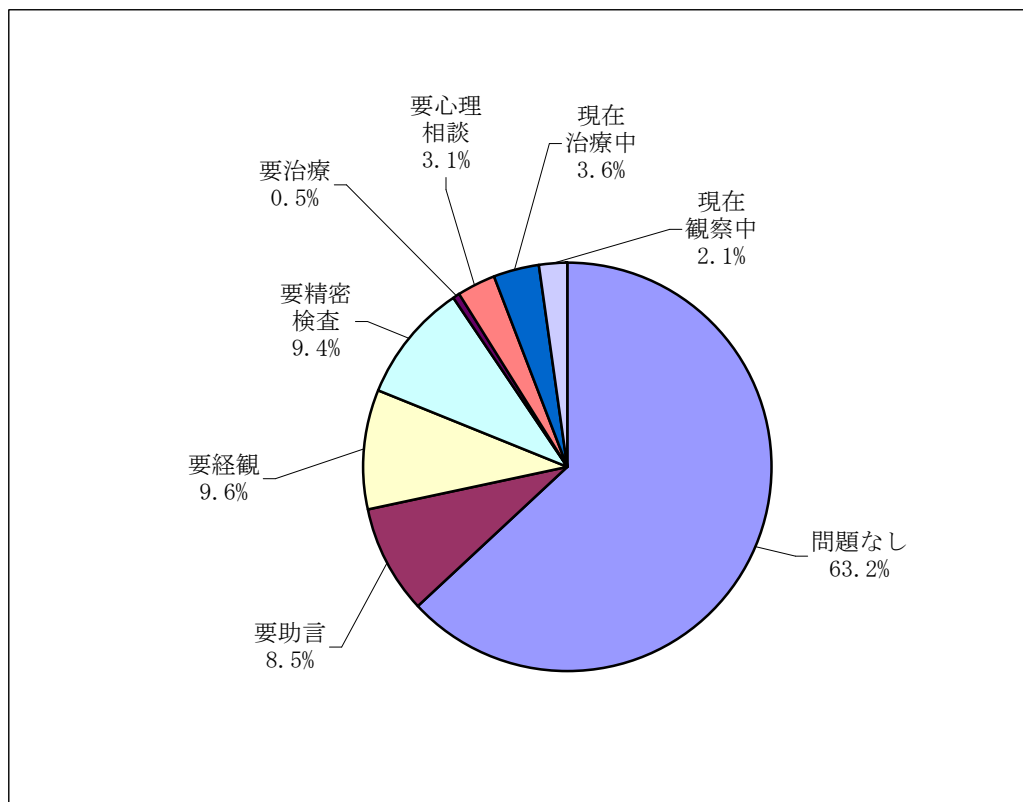
受診者総数12,818人、うち問題なし児が8,772人、判定結果問題ありの児が4,046人となっている。

判定延べ件数は、問題なし8,772件と、何らかの問題ありの4,789件とで、13,561件となっている。

延べ件数内訳は複数の記入がある場合、同項目内においては件数にカウントされていない。

項目内の複数記入のすべてを含め以下に分類した。

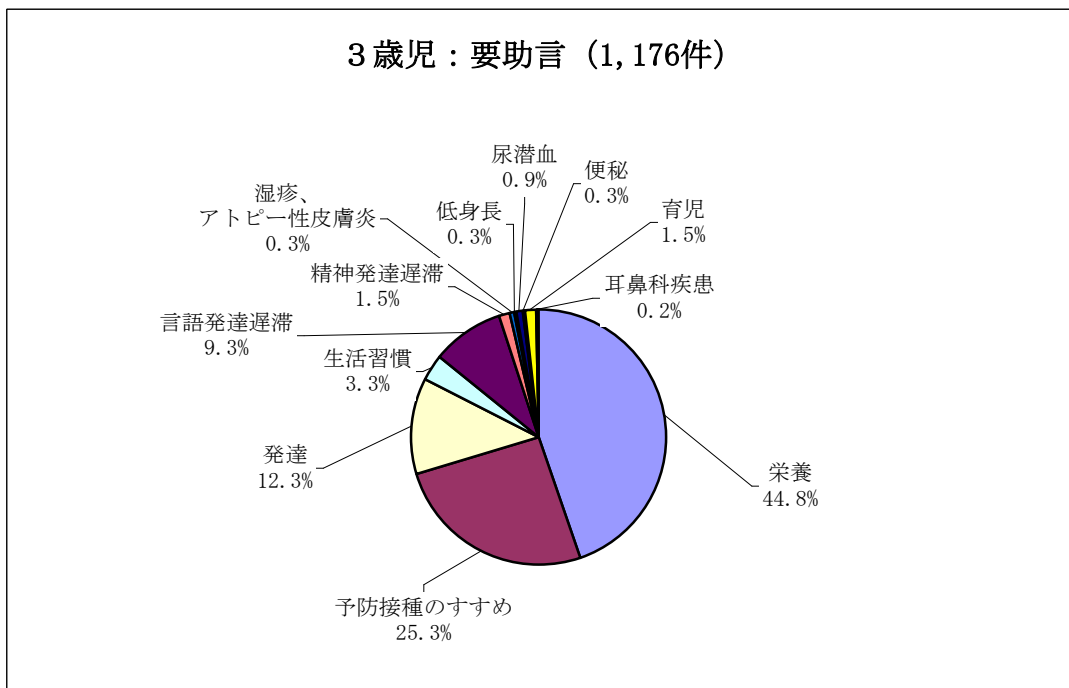
合 計		問題なし	判 定 結 果							小計
			要助言	要経観	要精密検査	要治療	要心理相談	現在治療中	現在観察中	
受診者数	12,818	8,772	703	1,124	1,210	50	283	434	242	4,046
%	100.0	68.4	5.5	8.8	9.4	0.4	2.2	3.4	1.9	
判 定	延べ 件数	8,772	1,104	1,274	1,210	58	397	474	272	4,789
	再分類 件数	8,772	1,176	1,334	1,307	60	433	503	293	5,106
	%	63.2	8.5	9.6	9.4	0.5	3.1	3.6	2.1	



(参照) 統計資料No. 42 ~ 43  
(参照) 年次資料No. 22

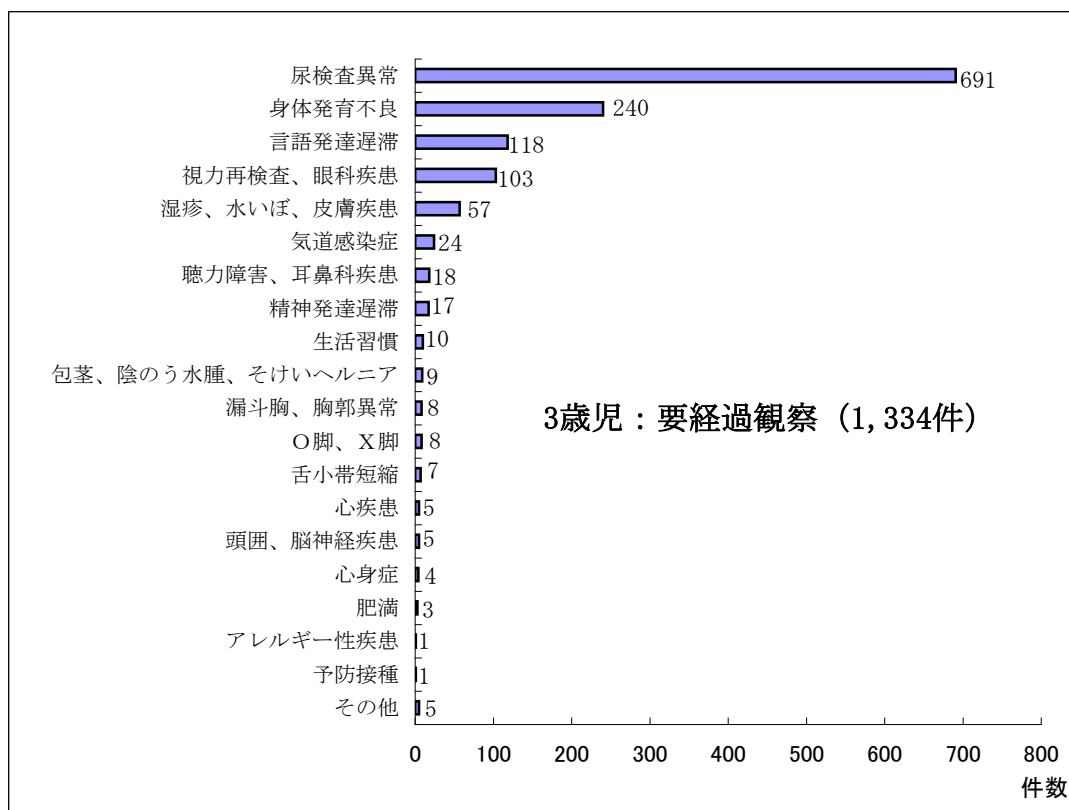
### 10-1 要助言について

栄養が44.8%（H19年度48.7%）、予防接種のすすめ25.3%（H19年度29.9%）となっている。

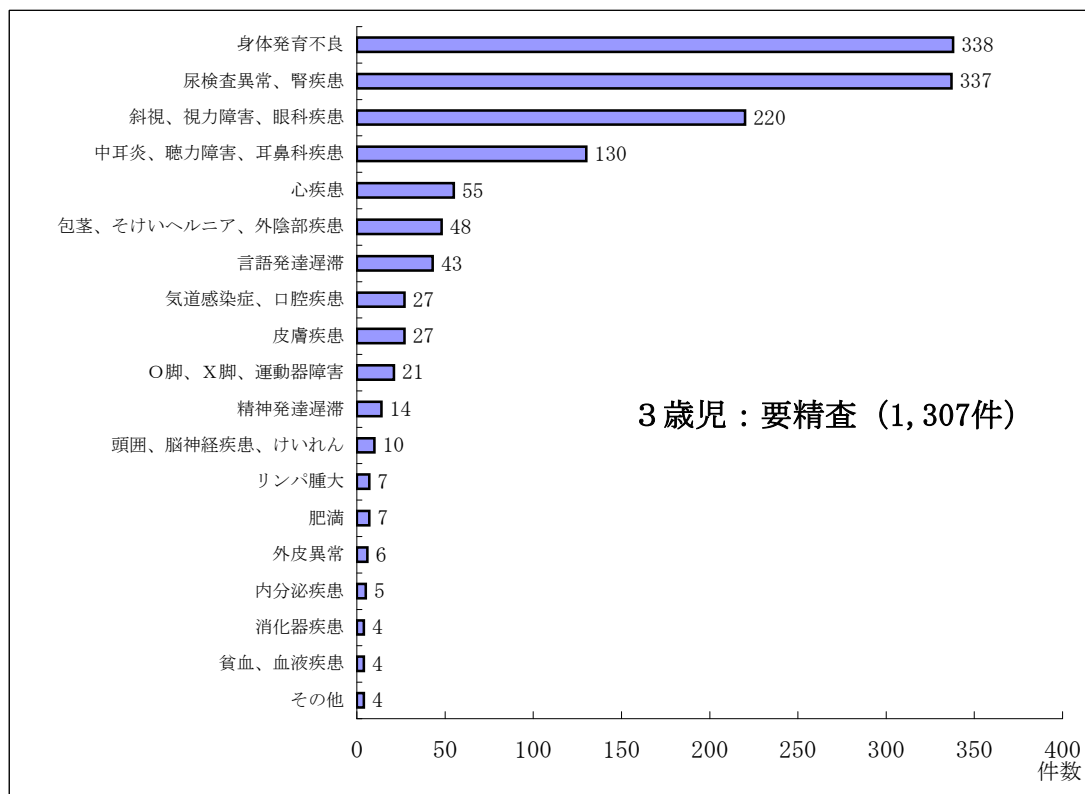


### 10-2 要経過観察について

尿検査異常と身体発育不良が目立つ。

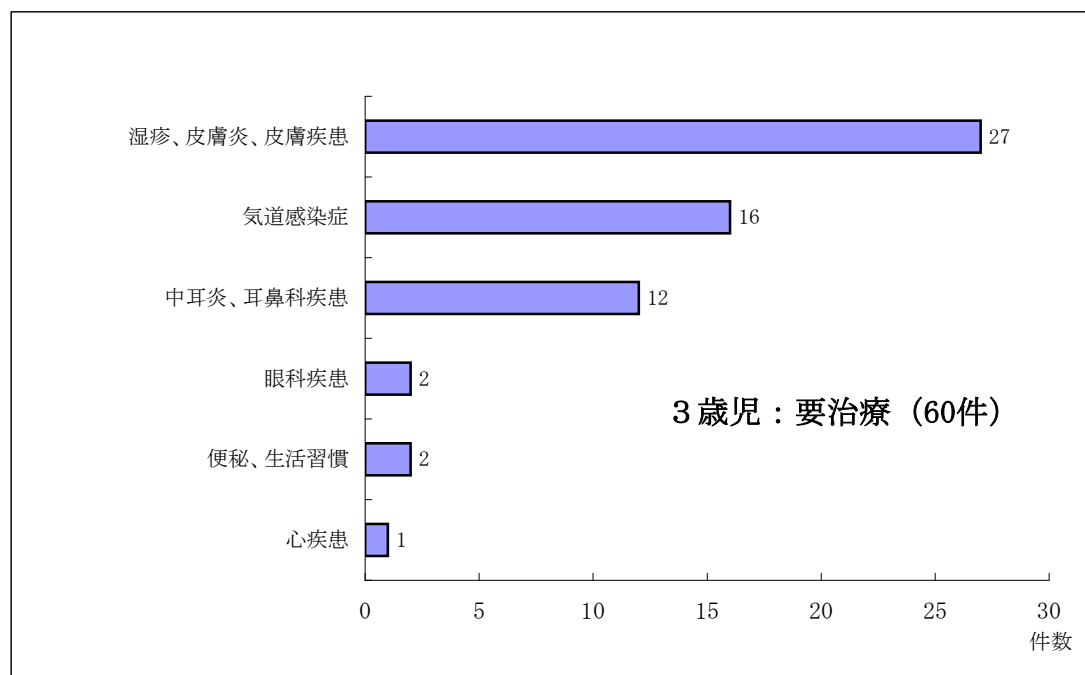


### 10-3 要精密検査について



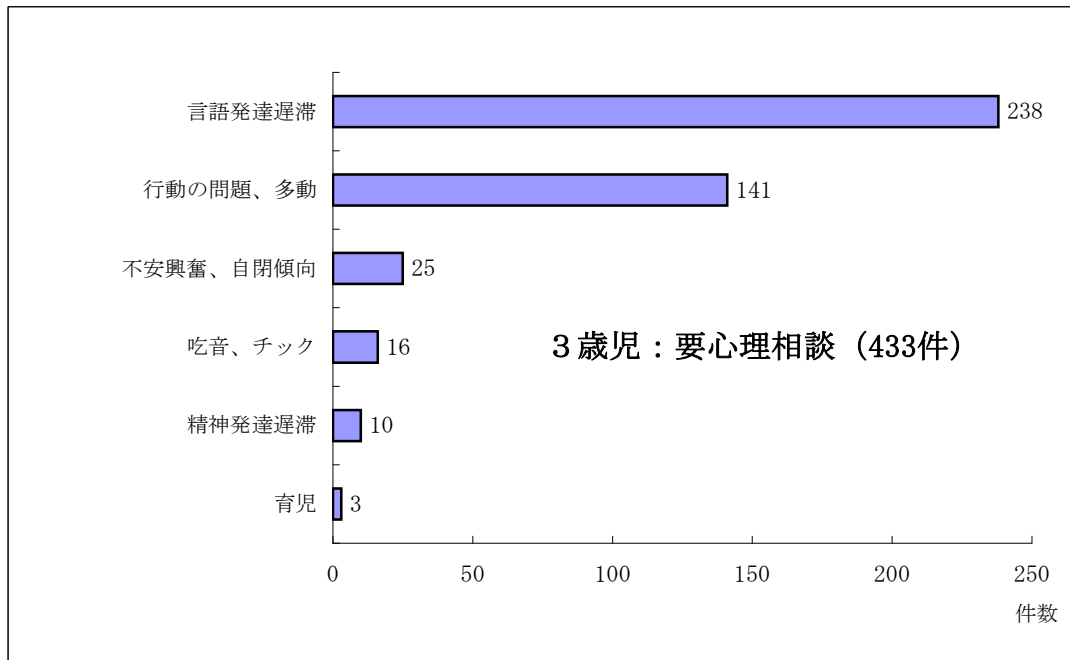
注) その他に含まれる判定内容は、統計資料 No. 44 を参照

### 10-4 要治療について

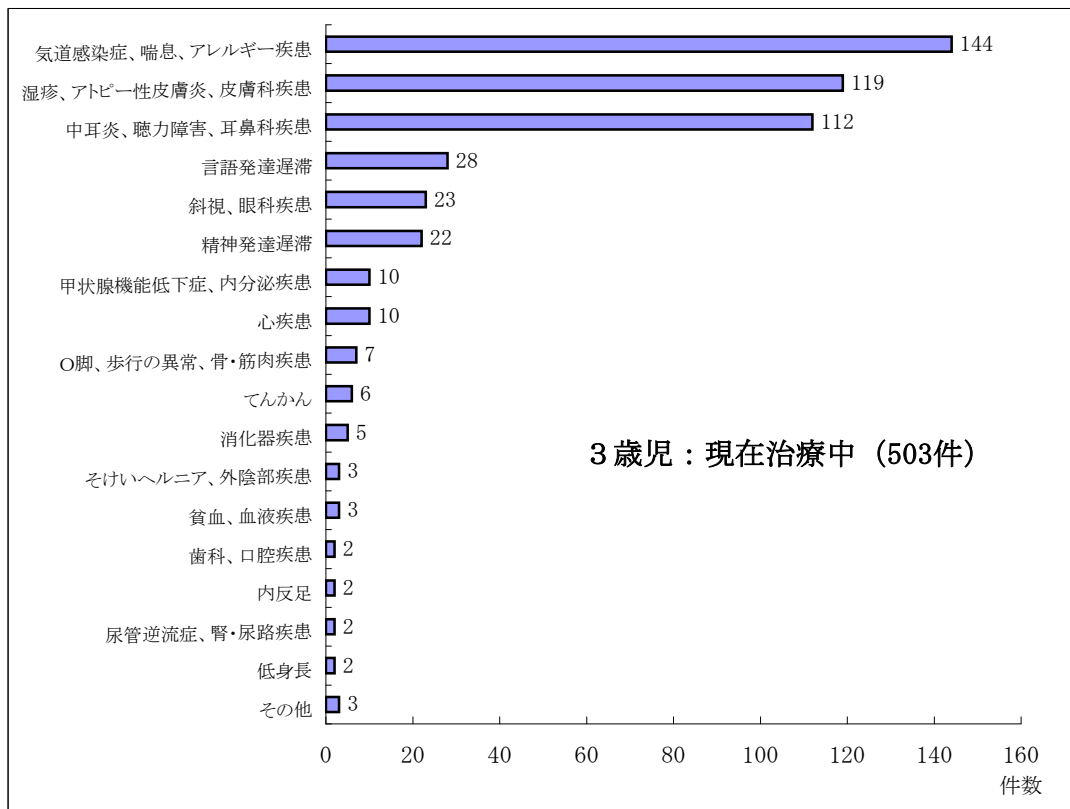




## 10-5 要心理相談について

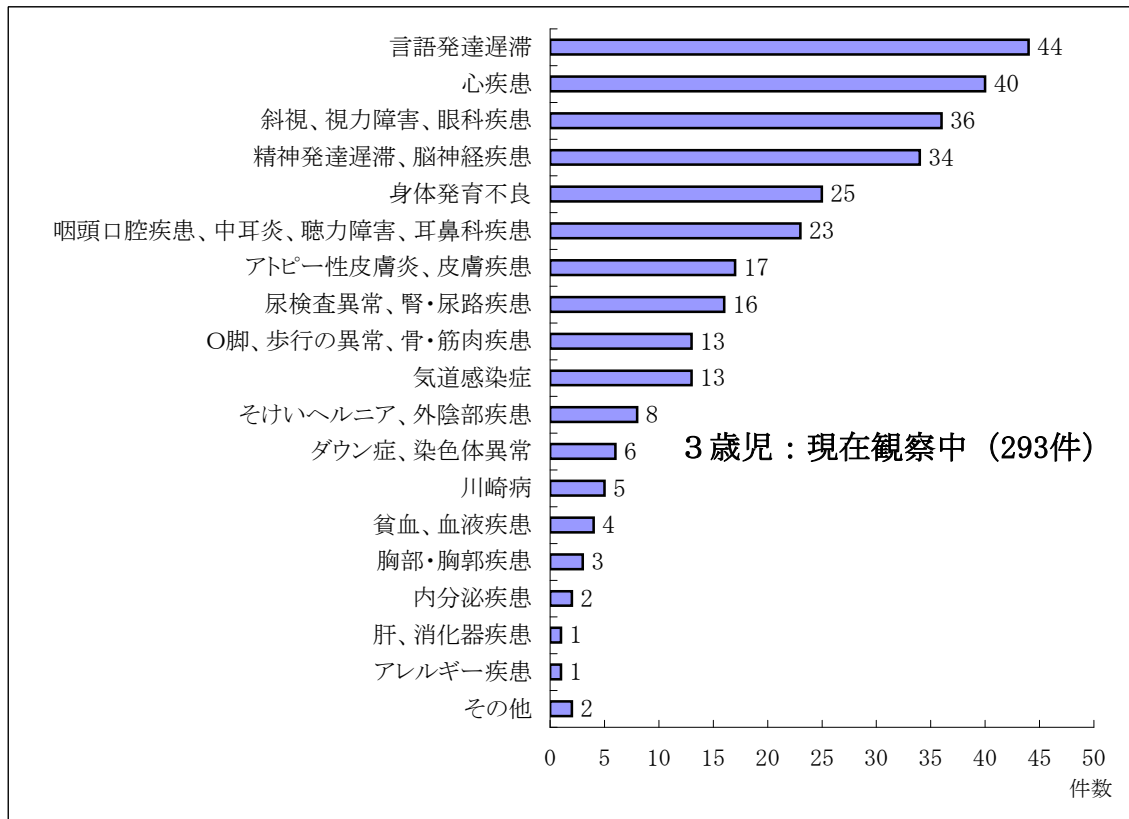


## 10-6 現在治療中について



注) その他に含まれる判定内容は、統計資料 No. 44 を参照

## 10-7 現在観察中について



注) その他に含まれる判定内容は、統計資料 No. 44 を参照

## Ⅱ 歯科健診の部 受診状況

県内41の全市町村において、平成20年4月1日から平成21年3月31日までに歯科健診を受診した、12,787人の口腔状況である。対象者数が16,067人であることから、受診率は79.6%（H19年度78.5%）であった。

受診月齢は、3歳7か月が最も多く28.7%、ついで3歳6か月が18.4%となっており、3歳5か月から7か月の受診が58.4%を占めている。

（参照）統計資料 No. 46 年次資料No.23

3歳児健康診査月齢別受診状況（歯科）

単位：人

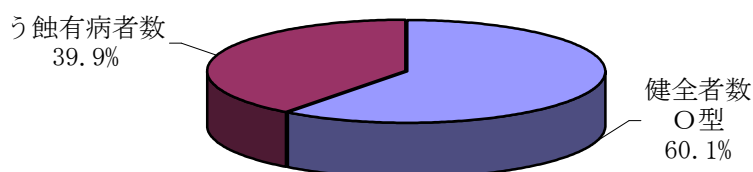
月齢	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	総計
男	9	15	33	569	572	745	1,192	1,869	1,098	256	119	114	6,591
女	13	21	22	512	538	702	1,157	1,798	979	214	120	120	6,196
総計	22	36	55	1,081	1,110	1,447	2,349	3,667	2,077	470	239	234	12,787
%	0.2	0.3	0.4	8.4	8.7	11.3	18.4	28.7	16.2	3.7	1.9	1.8	100.0

## 1 う蝕有病者率とう蝕の型別分類

### 受診者の状況

単位：人

受診者数 (%)	健全者数 O型	う蝕有病者数
12,787	7,691	5,096
100.0	60.1	39.9

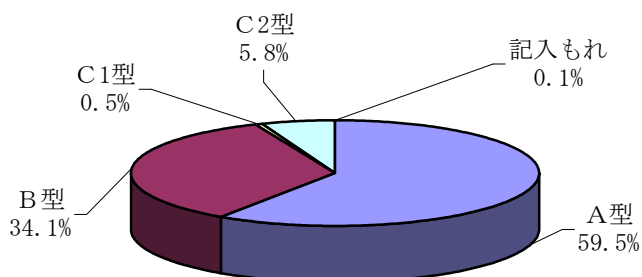


3歳児のう蝕有病者率は39.9%と平成19年度より3.0ポイント減少している。  
全国の状況は平成19年度で25.9%となっている。

### う蝕有病者の型別分類

単位：人

う蝕有病者数 (%)	A型	B型	C1型	C2型	記入もれ
5,096	3,034	1,738	27	294	3
100.0	59.5	34.1	0.5	5.8	0.1



型別分類での構成比は、平成19年度と同様である。

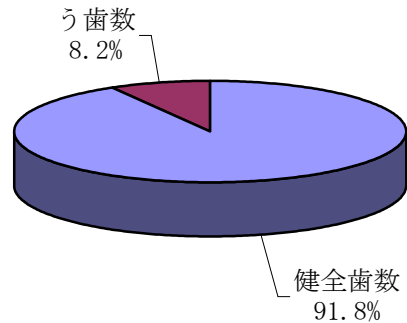
全国の場合（H19年度）は、A型が63.9%と多く、B型29.2%、C型6.7%であり、平成18年度に比べA型が増加している。

（参照）統計資料 No. 46 年次資料No.24

## 2 う蝕有病歯率

単位：本

現在歯数 (%)	健全歯数	う歯数
254,815	233,910	20,905
100.0	91.8	8.2



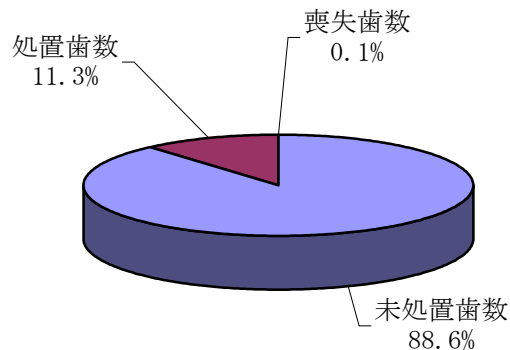
3歳児の口の中に萌出している歯のなかで、むし歯になっている歯の割合が8.2%（H19年度9.0%）と0.8ポイント減少した。

20本の乳歯のうち、1人平均むし歯の数は、1.6本（H19年度1.8本）となっており、毎年少しずつ減少してきている。しかし、全国の平成19年度におけるむし歯の平均数は1.01本であり、ひらきがある。

### う歯の内訳

単位：本

う歯数 (%)	未処置歯数	処置歯数	喪失歯数	不詳
20,905	18,523	2,371	11	—
100.0	88.6	11.3	0.1	—



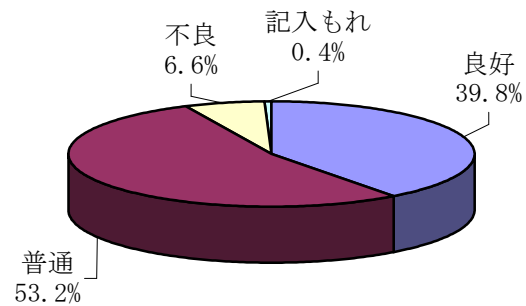
3歳児のむし歯の内訳は、前年と同様である。

(参照) 統計資料 No.46 年次資料No.24

### 3 歯口清掃状態

単位：人

受診者数 (%)	良好	普通	不良	記入もれ
12,787	5,084	6,807	838	58
100.0	39.8	53.2	6.6	0.4



歯口清掃状況は良好と普通で93.0%となっている。

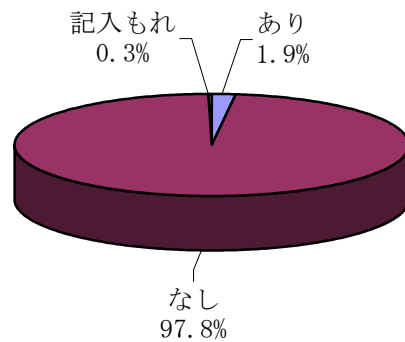
むし歯のない児の約半数（53.1%）は、歯口清掃状態が良好である。

（参照）統計資料 No. 47

#### 4 軟組織の疾患

単位：人

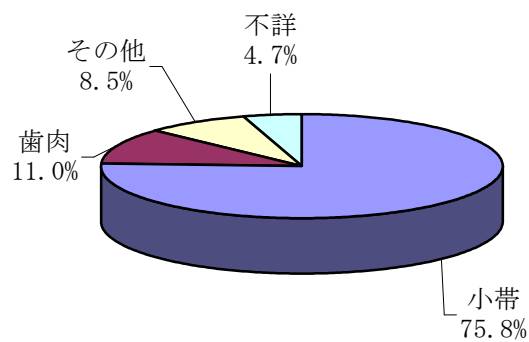
受診者数 (%)	あり	なし	記入もれ
12,787	236	12,510	41
100.0	1.9	97.8	0.3



#### 軟組織の疾患分類

単位：人

計 (%)	小帯	歯肉	その他	不詳
236	179	26	20	11
100.0	75.8	11.0	8.5	4.7



軟組織の疾患は1.8%である（H19年度1.9%）。

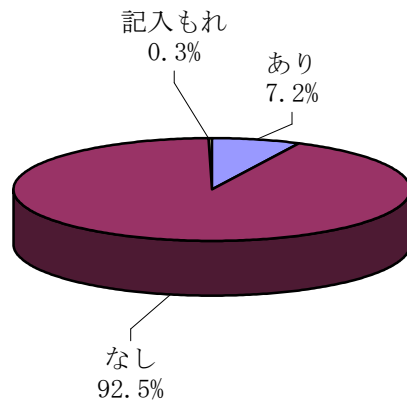
また、内訳は前年と同様に、舌小帯や上唇小帯の付着異常等が7割以上を占めている。

（参照）統計資料 No. 47

## 5 不正咬合

単位：人

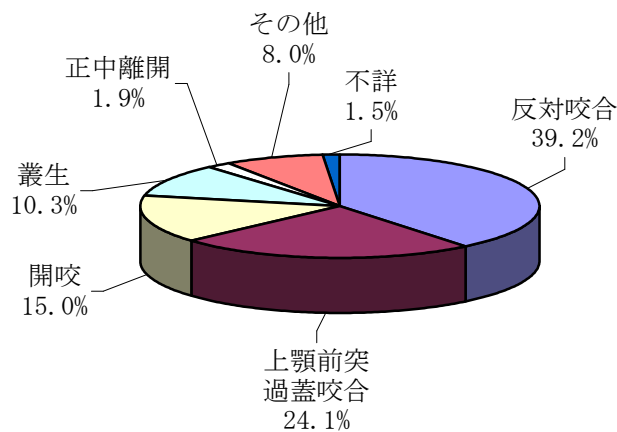
受診総数 (%)	あり	なし	記入もれ
12,787	929	11,824	34
100.0	7.2	92.5	0.3



### 不正咬合の内訳

単位：人

計 (%)	反対咬合	上顎前突 過蓋咬合	開咬	叢生	正中離開	その他	不詳
929	364	224	139	96	18	74	14
100.0	39.2	24.1	15.0	10.3	1.9	8.0	1.5



不正咬合は、「あり」は7.2%である（H19年度7.9%）。

不正咬合の内訳の構成比は、平成19年度と同じ傾向を示しているが、反対咬合と正中離開の割合が若干増加している。

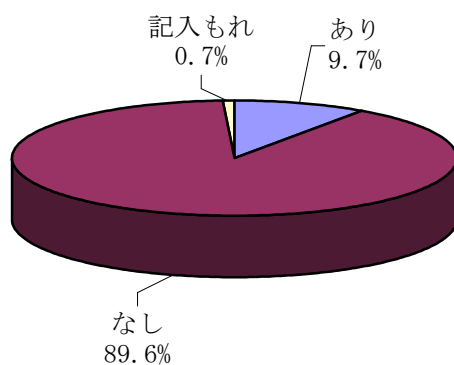
（参照）統計資料 No. 47



## 6 口腔習癖

単位：人

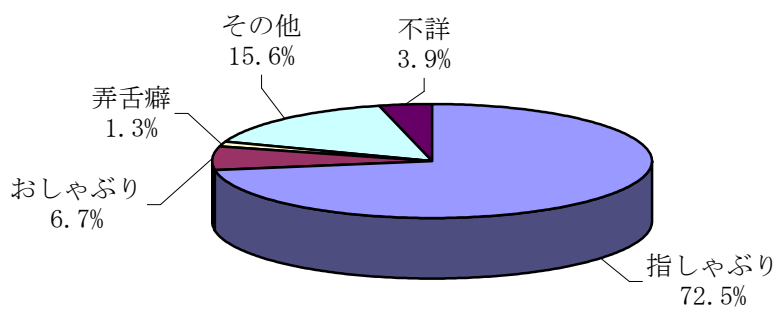
受診者数 (%)	あり	なし	記入もれ
12,787	1,241	11,457	89
100.0	9.7	89.6	0.7



### 習癖の内訳

単位：人

計 (%)	指しゃぶり	おしゃぶり	弄舌癖	その他	不詳
1,241	900	83	16	194	48
100.0	72.5	6.7	1.3	15.6	3.9



口腔習癖ありの割合は9.7%である。(H19年度11.2%)

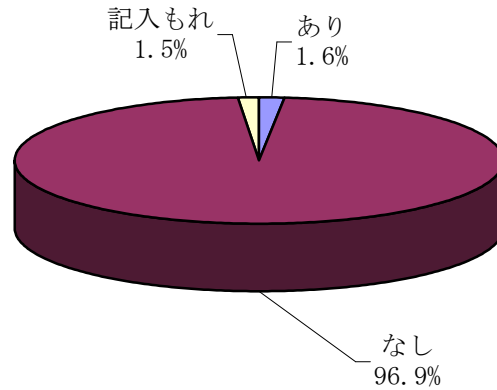
内訳も前年と同様である。

(参照) 統計資料 No. 47

## 7 その他の異常

単位：人

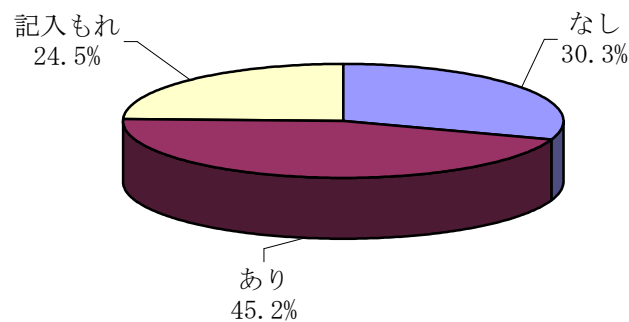
受診者数 (%)	あり	なし	記入もれ
12,787	199	12,395	193
100.0	1.6	96.9	1.5



## 8 母親のむし歯や抜いた歯について

単位：人

計 (%)	なし	あり	記入もれ
12,787	3,873	5,786	3,128
100.0	30.3	45.2	24.5



母と子のよい歯のコンクールの該当者をチェックするために、母親のむし歯の有無を問診項目として設けてある。

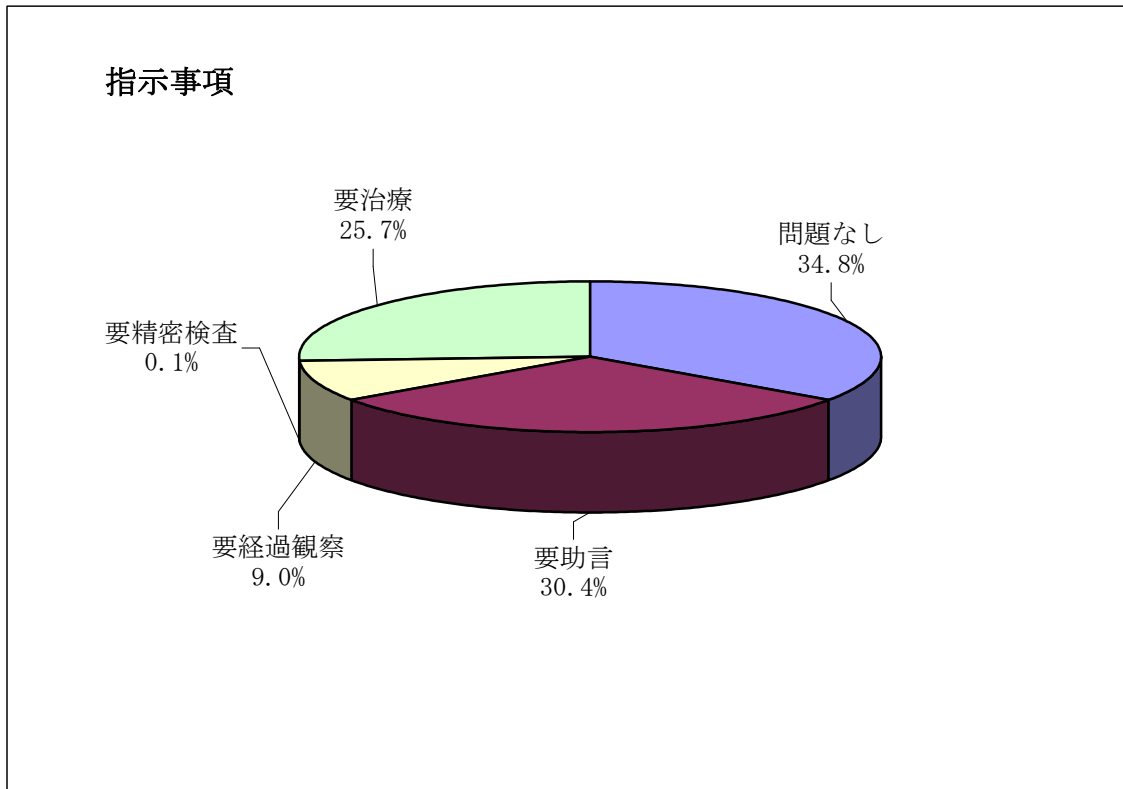
母親の半数近くがむし歯・抜いた歯をもっている。

(参照) 統計資料 No. 47～48

## 9 指示事項

単位：人

受診者数 (%)	問題なし	要助言	要経過観察	要精密検査	要治療
12,787	4,453	3,885	1,153	9	3,287
100.0	34.8	30.4	9.0	0.1	25.7



### 指示事項の内訳

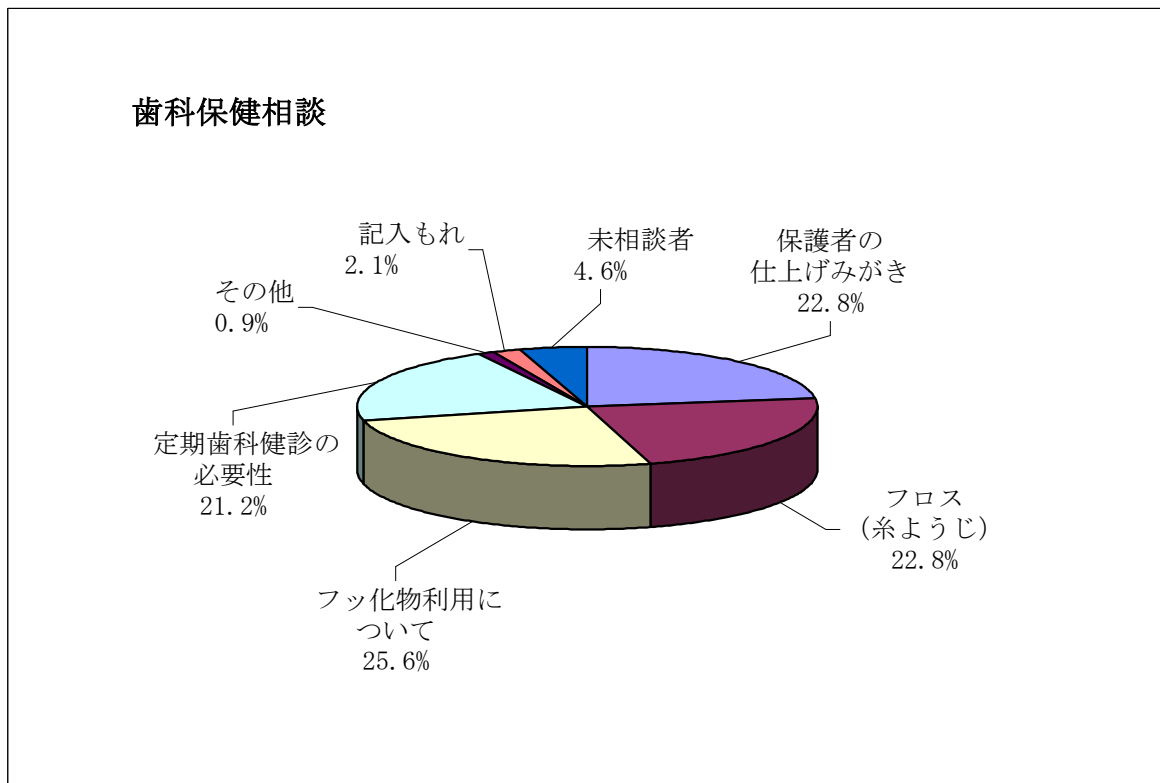
- 1 問題なしは34.8%（H19年度31.7%）で、前年度と同程度である。  
健全者数（むし歯なし＝O型）の7,691人の内、問題なし4,126人、残り3,565人は、むし歯はないが咬合その他の問題があると思われる。
- 2 要助言が全体の30.4%であるが、その中で歯みがき指導関連が62.1%を占める。
- 3 要経過観察では不正咬合、指しゃぶり、サホライド塗布などがあげられる。
- 4 要精密検査は9例で、交叉咬合、舌小帯異常、反対咬合、むし歯、癒合歯が各1例ずつ、その他4例である。
- 5 要治療の大部分は、むし歯の治療である。

（参照）統計資料 No. 48

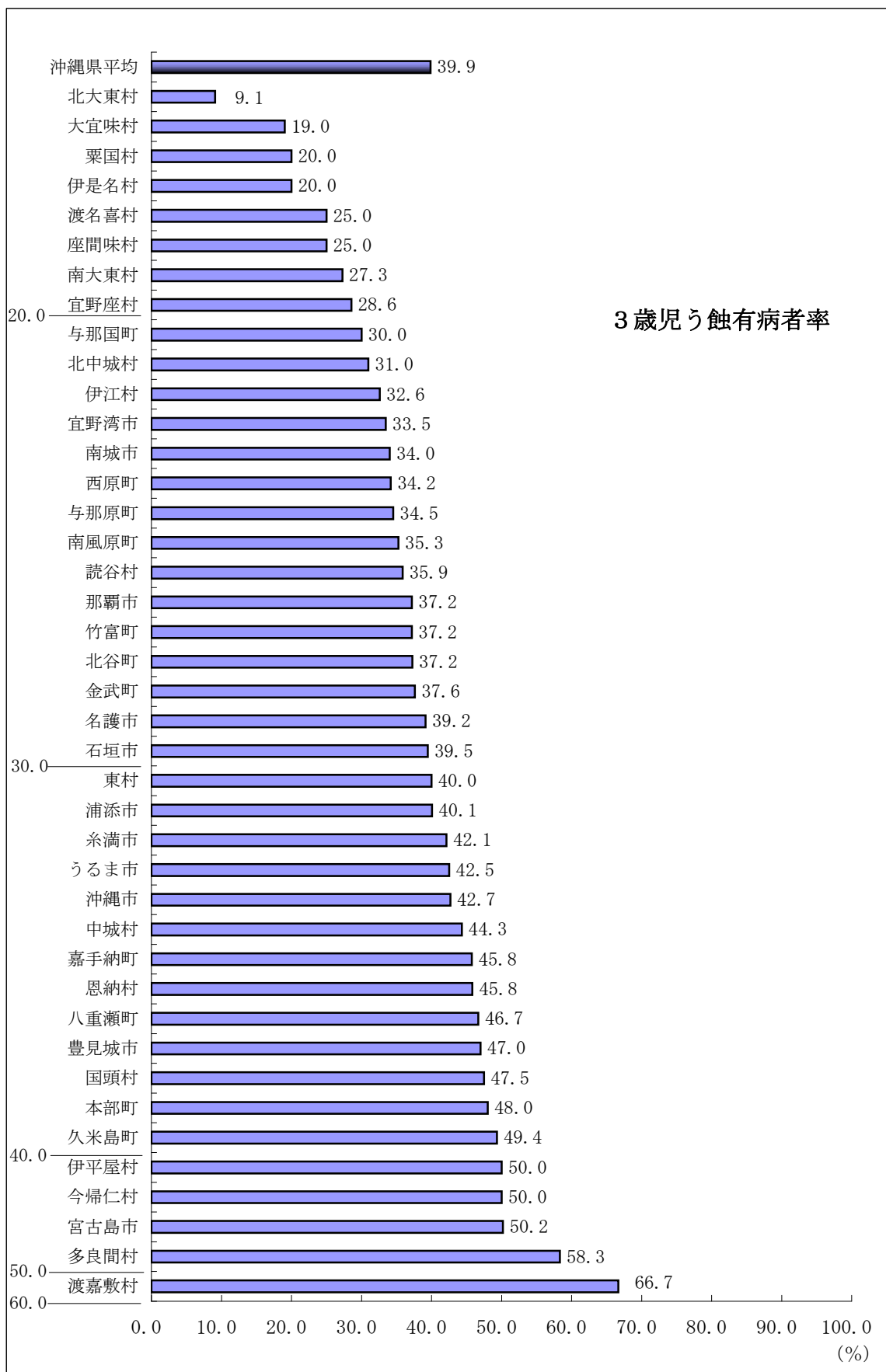
## 10 歯科保健相談

相談項目を分類したものである。複数回答の場合は、保健相談項目の4、3、2、1、5の順で優先し、1人1項目選択とした。

相談項目	件数	%
1 保護者の仕上げみがき	2,913	22.8
2 フロス（糸ようじ）	2,912	22.8
3 フッ化物利用について	3,275	25.6
4 定期歯科健診の必要性	2,709	21.2
5 その他	120	0.9
記入もれ	266	2.1
未相談者	592	4.6
総計	12,787	100.0

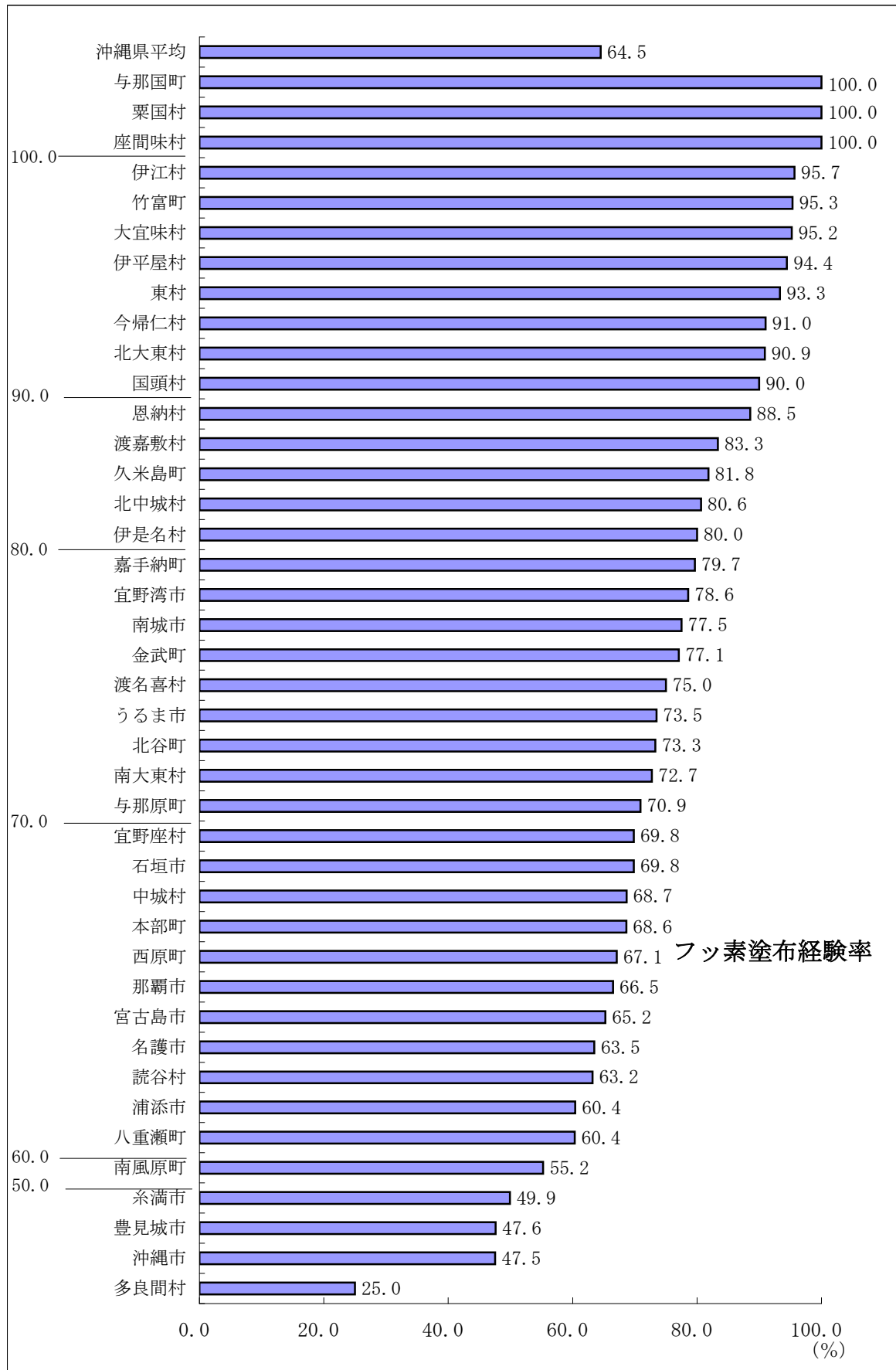


# 1 1 3 歳児う蝕有病者率



(参照) 統計資料 No. 46  
 (参照) 年次資料 No. 24

## 1 2 フッ素塗布経験率



(参照) 統計資料 No. 49

(参照) 年次資料 No. 36

(付録) う蝕（むし歯）についての主な用語

1 う蝕の主な数値

$$(1) \text{う蝕有病者率 (\%)} = \frac{\text{未処置歯} \cdot \text{処置歯} \cdot \text{喪失歯のいずれかを1歯以上もつ者の数}}{\text{被検者数}} \times 100$$

$$(2) \text{う蝕有病歯率 (\%)} = \frac{\text{未処置歯} \cdot \text{処置歯} \cdot \text{喪失歯の合計}}{\text{被検歯数}} \times 100$$

$$(3) \text{一人平均萌出歯数 (本)} = \frac{\text{被検者全員の健全歯} \cdot \text{未処置歯} \cdot \text{処置歯} \cdot \text{喪失歯の合計}}{\text{被検者数}}$$

$$(4) \text{一人平均う蝕歯数 (本)} = \frac{\text{被検者全員の未処置歯} \cdot \text{処置歯} \cdot \text{喪失歯の合計}}{\text{被検者数}}$$

2 A・B・C型別分類

(1) 3歳児健康診査

		判定区分	現症および予後の推測
O 型		う蝕がない	
A 型		上顎前歯部のみ、または臼歯部のみにう蝕がある	う蝕罹患型からみると、比較的程度の軽いものである
B 型		臼歯部および上顎前歯部にう蝕がある	上下左右の臼歯部すべてにう蝕がある場合は、う蝕感受性がかなり高く将来C2型に移行する可能性が高い
C 型	C <sub>1</sub> 型	下顎前歯部のみにう蝕がある	
	C <sub>2</sub> 型	下顎前歯部を含む他の部位にう蝕がある	う蝕感受性はきわめて高い

(2) 1歳6か月児健康診査

		判定区分	予後の推測
型	O <sub>1</sub> 型	う蝕もなく、かつ口腔環境がよい（危険因子が少ない）	う蝕感受性は低いものと思われる
	O <sub>2</sub> 型	う蝕はないが、口腔環境が悪い（危険因子が多い）	近い将来、う蝕発生の可能性が高いと思われる
A 型		上顎前歯部のみ、または臼歯部のみにう蝕がある	う蝕感受性は低い
B 型		臼歯部および上顎前歯部にう蝕がある	う蝕感受性は高く、広範性う蝕になる可能性もある
C 型		臼歯部および前歯部すべてにう蝕がある（下顎前歯部のみにう蝕を認める場合も含む）	う蝕感受性は著しく高く、広範性う蝕になる可能性が高い

\* O<sub>1</sub>、O<sub>2</sub>型の判定は、危険因子が多い場合をO<sub>2</sub> とする